

1.クラス1機器供用期間中検査 SNI-1(保全重要度:高)
(1)原子炉容器(1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SAI/SA2	備考
								24	25	26	27		
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%	3ヶ所	水中UT(内面)	100%	100%				SA1 SA2	
		上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT(内面)	100%	100%				SA1 SA2	
B2.111	B-B	下部胴とドレンツェンリングの周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT(内面)	100%	100%				SA1 SA2	
		ドレンツェンリングと下部鏡板の周溶接継手	体積	100%	1ヶ所	水中UT(内面)	100%	100%				SA1 SA2	
B3.105	B-C	上部胴と上部胴フレンジの溶接継手	体積	100%(可能範囲)	1ヶ所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)	100%				SA1 SA2	
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋フレンジの溶接継手	体積	100%(可能範囲)	1ヶ所	UT	100%(可能範囲)					SA1 SA2	第19回定検上蓋取替により第20回定検以降対象箇所なし
		冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)	100%				SA1 SA2	
B3.10	B-D	冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)	100%				SA1 SA2	
B3.20	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	100%(可能範囲)	6箇所	水中UT(内面)	100%(可能範囲)	100%				SA1 SA2	
		呼び径100A以上の管台とセーフティの溶接継手										-	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフティの溶接継手	体積及び表面	100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面) PT	100%(可能範囲)	3箇所	A	B	C	SA1 SA2	UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)
		冷却材出口管台とセーフティの溶接継手		100%(可能範囲)	3箇所	水中UT(内面) PT	100%(可能範囲)	3箇所	A	B	C	SA1 SA2	
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58個	VT-1	100%(58個)	14個	14個	10個	10個	SA1 SA2	第19回定検上蓋取替
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%	58本	UT	100%(58本)	14本	14本	10本	10本	SA1 SA2	第19回定検上蓋取替
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58箇所	UT	100%(58箇所)	14箇所	14箇所	10箇所	10箇所	SA1 SA2	
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャ	VT-1	100%	58個	VT-1	100%(58個)	14個	14個	10個	10個	SA1 SA2	第19回定検上蓋取替

※ 第26回定検以降は維持規格「JISME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む)」を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
 (1)原子炉容器(2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)					SA/7s	備考
								定期検査の回数(起点となる回数:24回)						
								24	25	26	27	28		
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	3組	VT-1	25% (1組)						—	
		T/Cハウジングのクランプ								1組			SA1 SA2	第19回定検上蓋取替
B14.10	B-O	制御棒駆動装置ハウジングの溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%	19箇所(最外周)	PT	最外周の25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所		2箇所	SA1 SA2	第19回定検上蓋取替
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	100%	SA1 SA2	
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100% (可能範囲)	1基	VT-3 (水中レベル)	100% (可能範囲)	100%					SA1 SA2	
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100% (可能範囲)	4箇所	VT-3 (水中レベル)	100% (可能範囲)		100%				SA1 SA2	下部炉心構造物取外し時に実施
		内部取付け物 炉心支持構造物											—	
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)	1基	VT-3 (水中レベル)	100% (可能範囲)		100%				SA1 SA2	
		下部炉心支持構造物	VT-3	100% (可能範囲)	1基	VT-3 (水中レベル)	100% (可能範囲)		100%				SA1 SA2	下部炉心構造物取外し時に実施
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25% (可能範囲)	6箇所	VT-3	25% (2箇所) (可能範囲)	1箇所				1箇所	SA1 SA2	但し、目視可能な範囲とする

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
 (2)加圧器(1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SA/7s	備考
						検査範囲	24	25	26		
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	UT	5%				SA1 SA2
		下部胴と下部鏡板の周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	UT	5%				SA1 SA2
B2.12	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ヶ所	UT	(A) 10%		(B) 10%		SA1 SA2
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%	2ヶ所	UT	(A) 10%		(B) 10%		SA1 SA2
B2.13	B-B	上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%	1ヶ所	UT		5%			SA1 SA2
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手			6箇所						-
		サージ用管台と容器との溶接継手			1箇所				1箇所		SA1 SA2
		スプレイ用管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%	1箇所	UT		1箇所			SA1 SA2
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手			1箇所						SA1 SA2
		安全弁用管台と容器との溶接継手			3箇所						SA1 SA2
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分			6箇所						-
		サージ用管台内面の丸みの部分			1箇所				1箇所		SA1 SA2
		スプレイ用管台内面の丸みの部分	体積	管台数の25%	1箇所	UT		1箇所			SA1 SA2
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分			1箇所						SA1 SA2
		安全弁用管台内面の丸みの部分			3箇所						SA1 SA2

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
(2)加圧器(2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)					SA/7s	備考		
							定期検査の回数(起点となる回数:24回)								
								24	25	26	27	28			
B5.40	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%	1箇所	PT	1箇所							SA1 SA2	UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応)
		チーン管台とセーフエントの溶接継手※2													
		スプレイ用管台とセーフエントの溶接継手※2													
		逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2													
		安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2													
B7.20	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	16本	VT-1	100% (16本)		8本						
B8.20	B-H	容器の支持部材取付け溶接継手	表面	7.5%	1ヶ所	PT	7.5%								
B15.20	B-P	スカーフ取付け溶接継手	表面	7.5%	1ヶ所	PT	7.5%								
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)								
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	25% (可能範囲)	1箇所	VT-3	25% (可能範囲)								

※2 第20回定期検査管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
 (3)蒸気発生器(1/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第1号機検査計画 (7年間)				SAI/AS	備考		
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数: 24回)				
						24	25	26	27	28		
B2.40	B-B	管板と水室鏡板の固溶接継手	体積	代表1基の25%	17-φ/基×3基	(A) 5%	(A) 10%	(A) 5%	(A) 5%		SA1 SA2	
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%	2箇所/基×3基				(A入口) 1箇所		SA1 SA2	
B5.70	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフティの溶接継手 冷却材出入口管台とセーフティの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手の25%	2箇所/基×3基	UT (垂直) UT (縦横斜角) PT		C入口 C入口 C入口			SA1 SA2	・ UT及びPTについてはNi基合金使用部位に係る検査対象(亀裂の解釈(※1)対応) ・ 超音波探傷試験の代替試験必要箇所
B7.30	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部 マンホール取付けボルト	VT-1	代表1基の25%	16本×2箇所/基×3基	VT-1					SA1 SA2	
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%	4箇所×3基	PT			A 1箇所		SA1 SA2	
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%	3基	ECT					SA1 SA2	別要領書により実施
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2				100%	SA1 SA2	
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚ベースプレート、基礎ボルト含む)	VT-3	代表1基の25%(可能範囲)	4箇所/基×3基	VT-3			A 1箇所		SA1 SA2	但し、目視可能な範囲とする

注: 第19回定期検査蒸気発生器取替 (690系Ni基合金化)

1.クラス1機器供用期間中検査 SNI-1(保全重要度:高)

(3) 蒸気発生器 (2/2)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基金合使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲 代表1基の溶接継手数の25%	設備数	検査方法 UT (垂直) UT (縦波斜角) PT	検査範囲 代表1基の溶接継手数の25%	検査度 7年間	川内原子力発電所第1号機検査計画										備考				
									定期検査の回数(起点となる回数:24回)														
									13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		23	24	25	26
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	2箇所/基×3基	UT (垂直) UT (縦波斜角) PT	代表1基の溶接継手数の25%	7年間	B出口	C入口	C入口	C出口	A入口 B入口 A出口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	SA1 SA2	・至近2定検での要求に対しては、Cについては16回で実施済。(入口) ・至近3定検での要求に対しては、Bについては13回で実施済。(出口) ・超音波探傷試験の代替試験必要箇所 SA1 SA2 所
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	100% (可能範囲)	2箇所/基×3基	ベアメタル検査	100% (可能範囲)	7年間	B出口	C入口	C入口	C出口	A入口 B入口 A出口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	C入口	SA1 SA2	・至近2定検での要求に対しては、Bについては17回の定期事業者検査においてUT (垂直、縦波斜角) にて対応。(入口) ・至近3定検での要求に対しては、Cについては16回、Aについては17回の定期事業者検査においてUT (垂直、縦波斜角) にて対応。(出口) ・第19回定検蒸気発生器取替 (690系Ni基金合金化) により第20回定検以降検査対象外 クラス1機器供用期間中検査にて実施

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲 UT実施箇所100%	設備数 2箇所/基×3基	検査方法 ECT	検査範囲 UT実施箇所100%	検査度 UT実施時	川内原子力発電所第1号機検査計画										備考					
									定期検査の回数															
									13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		23	24	25	26	27
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積	UT実施箇所100%	2箇所/基×3基	ECT	UT実施箇所100%	UT実施時															SA1 SA2	超音波探傷試験を行う場合の代替試験 (亀裂の観察(※1)対応)

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
 (4)1次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SA75S	備考	
								定期検査の回数(起点となる回数:24回)						
								24	25	26	27	28		
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%	24本×3台	UT	代表1台の25% (6本)	(A) 2本	(A) 2本	(A) 2本	(A) 2本	SA1 SA2		
B6.190	B-G-1	フランジ表面 (ボルト穴廻り)	VT-1	代表1台の25%	24箇所×3台	VT-1	代表1台の25% (6箇所)	(C) 6箇所				SA1 SA2	インターナル分解時に実施	
B6.200	B-G-1	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%	各24個×3台	VT-1	代表1台の25% (各6個)	(C) 各6個				SA1 SA2	インターナル分解時に実施	
B7.60	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	12本×3台	VT-1	代表1台の100% (12本)	(A) 12本				SA1 SA2		
B12.10	B-L-1	ポンプケーシングの耐圧部分の溶接継手	体積又は表面	代表1台の溶接継手長さ又は溶接継手数の25%	1箇所×3台	PT	代表1台の溶接継手長さの25%	(A) 25%				SA1 SA2		
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%	3台	VT-3	代表1台の100%	(C) 100%				SA1 SA2	インターナル分解時に実施	
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査時100%	1式	VT-2	漏えい検査時100% (可能範囲)	100%	100%	100%	100%	SA1 SA2		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、スグレット、基礎等を含む)	VT-3	代表1台の25% (1箇所) (可能範囲)	3箇所×3台	VT-3	代表1台の25% (1箇所) (可能範囲)			(A) 1箇所		SA1 SA2	但し、目視可能な範囲とする	

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
(5)弁(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SAクラス	備考						
						定期検査の回数(起点となる回数:24回)											
						24	25	26	27	28							
B6.210	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部(ボルト,種込ダボ,ナット)	体積	代表1台の25%	4台	UT					-						
													RHRS高温側出口ライク	1台(001A)			
													IV-RH-001A, 001B				
													余熱除去ポンプ入口ライク	1台(003A)			
B6.220	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部(フレンジ表面)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1				-		分解時に実施					
													RHRS高温側出口ライク	1台(001A)			
													IV-RH-001A, 001B				
													余熱除去ポンプ入口ライク	1台(003A)			
B6.230	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部(ナット, フレンジ, フランジ)	VT-1	代表1台の25%	2台	VT-1				-		分解時に実施					
													RHRS高温側出口ライク	1台(001A)			
													IV-RH-001A, 001B				
													余熱除去ポンプ入口ライク	1台(003A)			
B 7.70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%	36台	VT-1				-		分解時に実施					
													加圧器速がシライク	1台(054B)			
													(1V-RC-054A, 054B)				
													加圧器速がシライク	1台(454C)			
													(1-PCV-454C, 455)				
													加圧器速がシライク	1台(053)			
													(1V-RC-053)				
													加圧器安全弁ライク	1台(056)			
													(1V-RC-055~057)				
													加圧器7ライク	1台(454A)			
													(1-PCV-454A, 454B)				
													加圧器補助7ライク	1台(225)			
(1V-CS-225)																	
CVCS再生熱交換器胴側入口ライク	1台(452)																
(1-LCV-451, 452)																	
クロスバードレグドレライク	1台(017)																
(1V-RC-017)																	

1.クラス1機器供用期間中検査.SN1-1(保全重要度:高)
(5)弁(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所 用弁・封筒付け部	検査範囲	検査方法	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SA75	備考	
								24	25	26	27			28
B 7.70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用弁・封筒付け部 クローズド・レゾナンス (IV-RC-019A~C) CVCS再生熱交換器出口~RCS低温側充てんライン (IV-CS-228, 229) SIS蓄圧注入口ライン (IV-SI-134A~C, 136A~C) SIS高温側低圧注入ライン (IV-SI-208A, 208B, 209A, 209B) SIS低温側低圧注入ライン (IV-SI-202A~C, 203A~C) SIS高温側補助注入ライン (IV-SI-088)	代表1台の25%	VT-1	36台	VT-1	代表1台の100%	24	25	26	27	28	—	
					3台			1台(019C)						
					2台			1台(228)						
					6台			1台(134C)						
					4台						1台(209B)			
					6台						1台(203A)			
					1台						1台(088)			
					18台									
					0台									
					6台						1台(275B)			
B12.30	B-M-1	呼び径100A未満の弁箱の溶接継手 加圧器補助スプレッド (IV-CS-226) 封水注入ライン (IV-CS-275A~C, 276A~C) SIS高温側補助注入ライン (IV-SI-087A~C, 106A~C) SIS低温側補助注入ライン (IV-SI-099A~C) SISほう酸注入ライン RCS低温側注入ライン (IV-SI-048A~C)	代表1台の溶接継手長さの25%	表面	6台	PT	代表1台の溶接継手長さの100%						—	—
					6台									
					3台			1台(099B)						
					3台			1台(048B)						
					24台									
					3台									
					2台						1台(001A)			
					24台									
					3台						1台(056)			
					2台									
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱) 加圧器安全弁ライン (IV-RC-055~057) RHRS高温側出口ライン (IV-RH-001A, 001B)	代表1台	VT-3	3台	VT-3	代表1台					—	—	
					2台									

・第20回定検弁取替により第21回以降検査対象外

分解除時に実施

分解除時に実施

分解除時に実施

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
(6)配管(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SAM7s	備考					
							24	25	26	27			28				
B 7.50	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	3箇所	VT-1	1箇所				28	-					
		封水注入ライン			3箇所		1箇所								SA1 SA2		
B 9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A以上)	体積	25%	271箇所	UT	72箇所						-				
		一次冷却材管			40箇所		25% (10箇所)	2箇所	1箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	SA1 SA2		
		加圧器サブライン			7箇所		25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2		
		加圧器安全弁ライン			30箇所		25% (8箇所)	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2		
		加圧器逃がしライン			10箇所		25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2		
		加圧器スプレイン			51箇所		25% (13箇所)	2箇所	2箇所	3箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	-		
		RURS高温側出口ライン			10箇所		25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
		余熱除去ボンプ入口ライン			26箇所		25% (7箇所)	1箇所	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		RCPB範囲拡大に伴う追加
		SIS蓄圧タタ出口ライン			34箇所		25% (9箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	SA1 SA2		
		SIS高温側低圧注入ライン			24箇所		25% (6箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2		
B 9.21	B-J	SIS低温側低圧注入ライン	表面	25%	33箇所	PT	25% (9箇所)	2箇所	3箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA1 SA2				
		SIS高温側補助注入ライン			6箇所		25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2				
		配管の同種金属溶接継手(呼び径100A未満)			110箇所		30箇所							-			
		加圧器逃がしライン			18箇所		25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2			
B 9.21	B-J	加圧器補助スプレイン	表面	25%	12箇所	PT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	-					
		クロスオーバーレグ分岐管閉止キャップ			6箇所		25% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA2					
		クロスオーバーレグドレンライン			29箇所		25% (8箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	SA2			

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
(6)配管(3/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SM7ス	備考			
								24	25	26	27			28		
B 9. 40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ケット溶接継手)	表面	25%	58箇所	PT	17箇所	24	25	26	27	28	-			
		封水注入ライン			2箇所			2箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
		SISほう酸注入ケタ/RCS低温側注入ライン			3箇所											
		SIS高温側補助注入ライン			15箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
		SIS低温側補助注入ライン			3箇所											
B10. 20	B-K	耐圧部分への支持部材の取付け溶接継手	表面	7.5%	1箇所	PT	1箇所						-			
		余熱除去ポンプ投入ライン			1箇所							1箇所			RCPB範囲拡大に伴う追加	
B15. 50	B-P	圧力保持範囲	VT-2	漏えい検査 100% 時	1式	VT-2	91箇所	100%	100%	100%	100%	100%	SA1 SA2			
		支持構造物			1箇所											
F 1. 10	F-A	加圧器ケーシングライン	VT-3	支持構造物 全数の25%	342箇所	VT-3	支持構造物 全数の25% (17箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	SA1 SA2			
		加圧器逃がしライン														
		加圧器スプレイン			3箇所			2箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
		加圧器補助スプレイン			1箇所			1箇所	2箇所	3箇所	2箇所					
		加圧器補助スプレイン			AN:1箇所											
		加圧器補助スプレイン			HS:4箇所			1箇所								
		加圧器補助スプレイン			MS:1箇所											
		加圧器補助スプレイン			RH:12箇所			1箇所	2箇所	1箇所	1箇所					
		加圧器補助スプレイン			SH:2箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
		加圧器補助スプレイン			HS:6箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所					
加圧器補助スプレイン	MS:4箇所															
加圧器補助スプレイン	RH:15箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所											
加圧器補助スプレイン	SH:1箇所															
加圧器補助スプレイン	RH:3箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所											
加圧器補助スプレイン	HS:1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所											
加圧器補助スプレイン	RH:1箇所															

1.クラス1機器供用期間中検査 SN1-1(保全重要度:高)
(6)配管(4/4)

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SM7ス	備考	
								24	25	26	27			28
F 1.10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の25%	342箇所	VT-3	支持構造物 全数の25%	24	25	26	27	28	SA1 SA2	RCPPB範囲拡大に伴う追加
		封水注入7ヶ所			1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		RHRS高温側出口7ヶ所			1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		余熱除去ポンプ入口7ヶ所			2箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		SIS蓄圧タリ出口7ヶ所			2箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		SIS高温側低圧注入7ヶ所			1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		SIS低温側低圧注入7ヶ所			3箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		SISほう酸注入タリ〜RCS 低圧側注入7ヶ所			2箇所			2箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		SIS高温側補助注入7ヶ所			2箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			
		SIS低温側補助注入7ヶ所			1箇所			1箇所	1箇所	1箇所	1箇所			

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)				SM7ス	備考			
						24	25	26	27			28		
-	-	余熱除去ポンプ入口7ヶ所 配管と管台との溶接継手	表面	100%	4箇所	PT	100% (4箇所)	24	25	26	27	28	SA2	RCPPB範囲拡大に伴う追加

2.クラス2機器供用期間中検査 SN1-5(保全重要度:高)
(1)容器(1/2)

蒸気発生器

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)					備考		
								定期検査の回数(起点となる回数:22回)	22	23	24	25		26	27
C1.10	C-A	上部胴と円錐胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ノム/基×3基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	22	23	24	25	26	27	—	
C1.10	C-A	円錐胴と中間胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ノム/基×3基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%								
C1.10	C-A	中間胴と下部胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ノム/基×3基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%								
C1.20	C-A	上部鏡と上部胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ノム/基×3基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%								
C1.30	C-A	下部胴と管板の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	1ノム/基×3基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%								
C2.21	C-B	給水入口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	1箇所/基×3基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)								第5検査間隔から検査計画策定(※1)
C2.21	C-B	蒸気出口管台と容器との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	1箇所/基×3基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)								
C2.22	C-B	給水入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	1箇所/基×3基	UT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)								
C2.22	C-B	蒸気出口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の管台数の7.5%	1箇所/基×3基	UT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)								
C3.10	C-C	上部胴とサポート用ラジの溶接継手	表面	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所×4箇所/基×3基	PT	代表1基の溶接継手長さの7.5%(1箇所)								

※ 第26回定検以降は維持規格JISME S NA1-2012(2013,2014年追補含む)を適用

※1 本範囲は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」の改正(クラス2機器非破壊免除規定の適用除外)に伴い追加された検査対象箇所であり、追加時期が第4検査間隔の第3検査時期であることから維持規格「IA-2320(6)c」に従い、第5検査間隔より実施する。

2.クラス2機器供用期間中検査 SN1-5(保全重要度:高)
(1)容器(2/2)

余熱除去冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)						SA77s	備考
								定期検査の回数(起点となる回数:22回)							
								22	23	24	25	26	27		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	17-M/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2%	(A) 3%	(A) 26	(A) 27	2.5%	SA2		
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	17-M/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2%	(A) 3%	(A) 26	(A) 27	2.5%	SA2		
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴の溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×2基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)	(A) 2%	(A人口) 1箇所	(A) 26	(A) 27	2.5%	SA2		

格納容器スプレイ冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)						SA77s	備考
								定期検査の回数(起点となる回数:22回)							
								22	23	24	25	26	27		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	17-M/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	17-M/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		

ぼう酸注入タンク

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)						SA77s	備考
								定期検査の回数(起点となる回数:22回)							
								22	23	24	25	26	27		
C1.20	C-A	胴と上部鏡板との溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	17-M×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		
C1.20	C-A	胴と下部鏡板との溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	17-M×1基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		
C2.21	C-B	管台と胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2箇所×1基	UT・PT	代表1基の管台数の7.5%(1箇所)	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		
C3.10	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	溶接継手数の7.5%	1箇所×1基	PT	溶接継手数の7.5%(1箇所)	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		
C4.10	C-D	ボルト及び締込みボルト	体積	代表1基の7.5%(2本)	16本×1基	UT	代表1基の7.5%(2本)	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		
F1.43	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の7.5%(1箇所)	1箇所×1基	VT-3	代表1基の7.5%(1箇所)	(A) 2%	(A) 7.5%	(A) 26	(A) 27	7.5%	SA2		

第5検査間隔から検査計画策定(※1)

2.クラス2機器供用期間中検査SN1-5(保全重要度:高)
(2)配管(5/7)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)				川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							SA75	備考														
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	22	23	24	25	26			27													
F 1. 21	F-A	支持構造物			682箇所	66箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	—	SA2													
		SIS高温側補助注入ライン			114箇所 RH 92箇所 HS 8箇所 AN 14箇所	7.5% (9箇所)	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	2箇所	1箇所	1箇所	—			SA2											
		SIS低温側補助注入ライン			53箇所 RH 38箇所 HS 9箇所 SH 1箇所 AN 5箇所	7.5% (4箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—					SA1 SA2									
		SIS低温側低圧注入ライン		VT-3	49箇所 RH 19箇所 HS 28箇所 SH 2箇所	7.5% (4箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—							SA2							
		SIS低温側ほう酸注入ライン			16箇所 RH 12箇所 HS 1箇所 AN 3箇所	7.5% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—									SA2	第5検査間隔から検査計画策定(※1)				
		SISほう酸注入タンク~RCS低温側注入ライン			45箇所 RH 36箇所 HS 5箇所 AN 4箇所	7.5% (4箇所)	1箇所	2箇所	2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—											SA2			
		格納容器再循環サブ出口ライン (RHR)			4箇所 RH 3箇所 HS 1箇所	7.5% (1箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	—													SA2	

2.クラス2機器供用期間中検査 SNI-5(保全重要度:高)
(2)配管(6/7)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)				川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (10年間)							備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	22	23	24	25	26		27				
F 1. 21	F-A	支持構造物			682箇所	VT-3	66箇所								—			
		燃料取替用水クック出口ライン			30箇所 RH 21箇所 HS 6箇所 SH 1箇所		7.5% (3箇所)	1箇所		1箇所								
		格納容器スプレッド心注ライン			3箇所 RH 3箇所		7.5% (1箇所)						1箇所					
		充てん/高圧注水ポンプ入口ライン			19箇所 RH 14箇所 HS 3箇所 AN 2箇所		7.5% (2箇所)											
		格納容器スプレッド冷却器定格流量測定ライン			15箇所 RH 11箇所 HS 2箇所 AN 2箇所		7.5% (2箇所)											
		主蒸気ライン			37箇所 RH 14箇所 HS 19箇所 MS 1箇所 SH 3箇所		7.5% (3箇所)											
		タービン動補給水ポンプ連絡ライン			13箇所 RH 8箇所 HS 5箇所		7.5% (1箇所)											
		第5検査間隔から検査計画策定(※1)																
															SA2			
															SA2			

2.クラス2機器供用期間中検査 SNI-5(保全重要度:高)
 (2)配管(7/7)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (10年間)							SA775	備考						
	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:22回)										
F 1. 21	F-A	支持構造物	VT-3	7.5%	682箇所	VT-3	66箇所	22	23	24	25	26	27	—	—		
		主給水ライン			18箇所			RH 3箇所 HS 11箇所 MS 1箇所 SH 3箇所	7.5% (2箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		—	
		C/Vバウダリ配管1次冷却材ポンプ冷却水出入口ライン			4箇所			RH 3箇所 HS 1箇所	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—		—	—
		C/Vバウダリ配管1次冷却材ポンプ冷却水出入口ライン			3箇所			RH 3箇所	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—		—	—
		C,D格納容器再循環エント冷却水出入口ライン			1箇所			RH 1箇所	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—		—	—
		格納容器再循環エント冷却水出入口ライン			4箇所			RH 4箇所	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—		—	—
		格納容器再循環サブ出入口ライン(C/VX7レイ)			18箇所			RH 12箇所 HS 4箇所 SH 2箇所	7.5% (2箇所)	1箇所	—	—	—	—		—	—
		格納容器サブレイポンプ出入口ライン			22箇所			RH 16箇所 HS 4箇所 SH 2箇所	7.5% (2箇所)	—	1箇所	—	—	—		—	—
		格納容器サブレイ冷却器出入口ライン			26箇所			RH 21箇所 HS 2箇所 SH 3箇所	7.5% (2箇所)	1箇所	—	—	—	—		—	—
		原子炉キャビティ浄化ライン格納容器出入口ライン			3箇所			RH 3箇所	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—		—	—
		格納容器圧力逃がし装置ライン			5箇所			RH 5箇所	7.5% (1箇所)	—	—	—	—	—		—	—

2.クラス2機器供用期間中検査 SN1-5(保全重要度:高)
(4)ポンプ(1/1)

余熱除去ポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)						SA7s	備考
								定期検査の回数 (起点となる回数: 22回)							
								22	23	24	25	26	27		
C6.10	C-G	ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	2箇所 ×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)					(A) 1箇所		SA2	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	(A) 1箇所						SA2	

充てん/高圧注入ポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)						SA7s	備考
								定期検査の回数 (起点となる回数: 22回)							
								22	23	24	25	26	27		
C3.30	C-C	ケーシングと支持脚との取付け溶接継手	表面	代表1台の7.5%	4箇所 ×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	(A) 1箇所						SA2	
C4.30	C-D	ケーシングボルト	体積	代表1台の7.5%	16本 ×3台	UT	代表1台の7.5% (2本)	(A) 1本				(A) 1本		SA2	
C6.10	C-G	ケーシングと吸込みフランジとの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所 ×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	(A) 1箇所						SA2	
		外部ケーシングの溶接継手	表面	代表1台の7.5%	1箇所 ×3台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	(A) 1箇所						SA2	
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所 ×3台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)				(A) 1箇所			SA2	

格納容器スブレイポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)						SA7s	備考
								定期検査の回数 (起点となる回数: 22回)							
								22	23	24	25	26	27		
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所 ×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)			(A) 1箇所				SA2	

2.クラス2機器供用期間中検査 SNI-5(保全重要度:高)
 (5)クラス2機器漏えい検査(1/6)

項目番号		カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)							SAクラス	備考
		系統名	ライン名称		定期検査の回数(起点となる回数:22回)								
					22	23	24	25	26	27			
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	体積制御タンク及びび出入ロライン	体積制御タンク及びび出入ロライン						○		SA2	
C7.10 C7.50	C7.30 C7.70	C-H	A 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	A 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン					○			SA2	
C7.30 C7.70	C7.50	C-H	B 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	B 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン			●					SA2	
C7.10 C7.50	C7.30 C7.70	C-H	C 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	C 充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン					○			SA2	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	ほう酸注入カク廻りライン	ほう酸注入カク廻りライン					○			SA2	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	冷却材フィルタ及びび出入ロライン (VCタンク人口)	冷却材フィルタ及びび出入ロライン (VCタンク人口)					○			—	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	抽出ライン (1)	抽出ライン (1)						○		—	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	抽出ライン (2)	抽出ライン (2)						○		—	
C7.30	C7.70	C-H	抽出ライン (3)	抽出ライン (3)						○		—	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	A ほう酸タンク及びび出入ロライン	A ほう酸タンク及びび出入ロライン							●	SA2	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	B ほう酸タンク及びび出入ロライン	B ほう酸タンク及びび出入ロライン							●	SA2	
C7.10 C7.50	C7.30 C7.70	C-H	A ほう酸ポンプ出口ロライン (ほう酸混合器)	A ほう酸ポンプ出口ロライン (ほう酸混合器)				●				SA2	
C7.30 C7.70	C7.50	C-H	B ほう酸ポンプ出口ロライン	B ほう酸ポンプ出口ロライン				●				SA2	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	A 蓄圧タンク及びび出入ロライン	A 蓄圧タンク及びび出入ロライン							●	SA1 SA2	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	B 蓄圧タンク及びび出入ロライン	B 蓄圧タンク及びび出入ロライン							●	SA1 SA2	
C7.10 C7.70	C7.30	C-H	C 蓄圧タンク及びび出入ロライン	C 蓄圧タンク及びび出入ロライン							●	SA1 SA2	

2.クラス2機器供用期間中検査 SNI-5(保全重要度:高)
 (5)クラス2機器漏えい検査(2/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)	SAクラス	備考
		系統名	ライン名称			
C7.30	C-H	安全注入系統	RCS充てん安全注入ライン(1)	定期検査の回数(起点となる回数:22回)	SA1 SA2	
C7.30	C-H		RCS充てん安全注入ライン(2)	22	SA2	
C7.30	C-H		RCS充てん安全注入ライン(3)	23	SA2	
C7.30	C-H		RCS充てん安全注入ライン(4)	24	SA2	
C7.30	C-H	安全注入系統	RCS充てん安全注入ライン(1)(RH R・P)	25	SA2	
C7.30	C-H		RCS充てん安全注入ライン(2)(RH R・P)	26	SA2	
C7.30	C-H	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ入口ライン	27	SA2	
C7.30	C-H		B余熱除去ポンプ入口ライン	27	SA2	
C7.10 C7.50	C-H	余熱除去系統	A余熱除去ポンプ出口ライン		SA2	
C7.10 C7.50	C-H		B余熱除去ポンプ出口ライン		SA2	
C7.30	C-H	燃料取替用水系統	格納容器再循環ポンプ出口ライン(1)		SA2	
C7.30	C-H		格納容器再循環ポンプ出口ライン(2)		SA2	
C7.30	C-H	格納容器スプレイ系統	#A 格納容器再循環ポンプ出口ライン		SA2	
C7.30	C-H		#B 格納容器再循環ポンプ出口ライン		SA2	
C7.30	C-H	格納容器Aスプレイポンプ入口ライン			SA2	

2.クラス2機器供用期間中検査 SNI-5(保全重要度:高)
 (5)クラス2機器漏えい検査(3/6)

項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)	SAクラス	備考		
		系統名	ライン名称					
C7.30	C-H	格納容器A プレイ系統	格納容器Bスプレイポンプ入口ライン	定期検査の回数(起点となる回数:22回)	SA2			
C7.10	C-H		格納容器Aスプレイポンプ出口ライン	22			26	27
C7.50	C-H		格納容器Bスプレイポンプ出口ライン	22			25	27
C7.10	C-H	よう素除去薬品タンク及びび出入ロライン	よう素除去薬品注入ライン(A)	定期検査の回数(起点となる回数:22回)	—			
C7.50	C-H		よう素除去薬品注入ライン(B)	22			26	27
C7.70	C-H		よう素除去薬品注入ライン(B)	22			25	27
C7.30	C-H	給水系統	A 蒸気発生器給水入口ライン	定期検査の回数(起点となる回数:22回)	SA2			
C7.10	C-H		B 蒸気発生器給水入口ライン	22			26	27
C7.70	C-H		C 蒸気発生器給水入口ライン	22			25	27
C7.10	C-H	主蒸気及び再熱蒸気系統、再熱蒸気トリップ系統	A 蒸気発生器蒸気出口ライン	定期検査の回数(起点となる回数:22回)	SA2			
C7.30	C-H		B 蒸気発生器蒸気出口ライン	22			26	27
C7.70	C-H		C 蒸気発生器蒸気出口ライン	22			25	27
C7.30	C-H	1次冷却材系統	加圧器逃しタンクPMW供給ライン	定期検査の回数(起点となる回数:22回)	—			
C7.10	C-H		R C P 封水注入戻りライン	22			26	27
C7.70	C-H		蓄圧タンクN2供給ライン	22			25	27
C7.30	C-H	安全注入系統	蓄圧タンクテストライン	定期検査の回数(起点となる回数:22回)	—			
C7.70	C-H		蓄圧タンクテストライン	22			26	27

2.クラス2機器供用期間中検査 SNI-5(保全重要度:高)
 (5)クラス2機器漏えい検査(4/6)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)						SAクラス	備考		
		試験対象箇所	ライン名称	定期検査の回数(起点となる回数:22回)									
		系統名		検査方法	22	23	24	25	26	27			
C7.30	C7.70	C-H	安全注入系統	蓄圧タンク充てんライン	VT-2	●					-		
C7.30	C7.70	C-H	燃料取替用水系統	原子炉キヤピテイ浄化入口ライン	VT-2				○		-		
C7.30	C7.70	C-H		原子炉キヤピテイ浄化出口ライン	VT-2					○		-	
C7.30	C7.70	C-H	液体廃棄物処理系統	格納容器冷却材ドレンタンク出口ライン	VT-2			●			-		
C7.30	C7.70	C-H		格納容器サンプポンプ出口ライン	VT-2			●				-	
C7.30	C7.70	C-H	蒸気発生器プロダクトソノ及びヒートリンガ系統	A 蒸気発生器プロダクトライン	VT-2	●					-		
C7.30	C7.70	C-H		B 蒸気発生器プロダクトライン	VT-2	●						-	
C7.30	C7.70	C-H		C 蒸気発生器プロダクトライン	VT-2	●						-	
C7.30	C7.70	C-H	蒸気発生器サンプルライン	A 蒸気発生器サンプルライン	VT-2		●				-		
C7.30	C7.70	C-H		B 蒸気発生器サンプルライン	VT-2		●					-	
C7.30	C7.70	C-H		C 蒸気発生器サンプルライン	VT-2		●					-	
C7.30	C7.70	C-H	原子炉補給水系統	原子炉補給水ライン(DW)	VT-2	●					-		
C7.30	C7.70	C-H	所内用空気系統	所内用空気ライン	VT-2				○		-		
C7.30	C7.70	C-H	補助蒸気系統	補助蒸気ライン	VT-2				○		-		
C7.30	C7.70	C-H	消火装置系統	消火装置ライン	VT-2			●			-		
C7.30	C7.70	C-H		R C PC02, 消火装置ライン	VT-2			●				-	

2.クラス2機器供用期間中検査 SNI-5(保全重要度:高)
 (5)クラス2機器漏えい検査(6/6)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)						SAクラス	備考		
項目番号	カテゴリ	試験対象箇所		定期検査の回数(起点となる回数:22回)							
		系統名	ライン名称	22	23	24	25	26	27	—	
C7.30	C-H	原子炉補機冷却水系統	制御棒駆動装置冷却水入口ライン				●			—	
C7.30	C-H		制御棒駆動装置冷却水出口ライン(A)			●				—	
C7.30	C-H		制御棒駆動装置冷却水出口ライン(B)			●				—	
C7.30	C-H		格納容器冷却材ドレン冷却器冷却水出口ライン					●			—
C7.30	C-H	制御用空気系統	制御用空気Aヘッダーライン					○		SA2	
C7.30	C-H		制御用空気Bヘッダーライン						○		SA2
C7.30	C-H	I次冷却材系統	加圧器圧力校正ライン		●					—	

3. クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査 SNI-99 (保全重要度: 高)
 クラス2管特別検査 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所1号機検査計画 (10年間)							SAクラス	備考	
								定期検査の回数 (起点となる回数: 20回)									
								20	21	22	23	24	25	26			
		配管の円周方向溶接部															
		抽出ライン	体積	25%	18箇所	UT	25% (5箇所)	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
		充てんライン	体積	25%	44箇所	UT	25% (11箇所)	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所			
		再生熱交換器連絡管															
		抽出ライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)	1箇所	1箇所	1箇所			1箇所	1箇所			
		充てんライン連絡管	体積	25%	12箇所	UT	25% (3箇所)		1箇所			1箇所	1箇所	1箇所			

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN1-200(保全重要度:高)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012(※)		川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (7年間)		備考
項目番号	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	
		VT-1	25%	
		体積又は表面	最外周の25%	
		VT-3	100% (可能範囲)	
		VT-3	100% (可能範囲)	
		VT-3	100% (可能範囲)	
		VT-3	100% (可能範囲)	
		VT-3	25% (可能範囲)	

クラス1機器供用期間中検査で管理

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN1-200(保全重要度:高)



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考
			体積, 表面及びベアスタル検査	100% (可能範囲)	クラス1機器供用期間中検査で管理	
			体積, 表面及びベアスタル検査	100% (可能範囲)		
			ベアスタル検査	100% (可能範囲)		
			ベアスタル検査	100% (可能範囲)		

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SNI-200(保全重要度:高)

項番	目号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012(※)		川内原子力発電所第1号機検査計画 (7年間)	備考
				検査方法	検査範囲		
				体積	5%		
				体積	5%		
				体積	10%		
				体積	10%		
				体積	5%		
				体積	管台数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
				体積	管台数の25%		

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN1-200(保全重要度:高)



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考			
			体積, 表面及びベアメタル 検査	溶接継手 (管台) 数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理				
				100%					
			体積, 表面及びベアメタル 検査	溶接継手 (管台) 数の25%					
				100%					
			体積, 表面及びベアメタル 検査	溶接継手 (管台) 数の25%					
				100%					
			体積, 表面及びベアメタル 検査	溶接継手 (管台) 数の25%					
				100%					

※2 第20回定検管台とセーフエンドの溶接継手取替 (690系Ni基合金化)

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN1-200(保全重要度:高)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012(※)		川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (7年間)	備考
			検査方法	検査範囲		
			体積	代表1基の25%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
			体積	代表1基の25%		
			体積及び表面	代表1基の溶解継手数の25%		
			VT-1	代表1基の25%		
			表面	代表1基の7.5%		
			体積	100%		
			VT-3	代表1基の25% (可能範囲)		

注：第19回定検蒸気発生器取替（690系Ni基合金化）

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN1-200(保全重要度:高)



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考
			体積、表面及びベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
				100%		



項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考
			体積	UT対象箇所100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SNI-200(保全重要度:高)

項番	目号	カテゴリ	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2012(※)		川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (7年間)	備考
				検査方法	検査範囲		
				体積	代表1台の25%		
				VT-1	代表1台の25%		
				VT-1	代表1台の25%		
				VT-1	代表1台の25%		
				体積又は表面	代表1台の溶接継手長さ又は溶接継手数の25%		
				VT-3	代表1台の100%		
				VT-3	代表1台の25% (可能範囲)		

クラス1機器供用期間中検査で管理

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査SNI-200(保全重要度:高)

項番	目号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2012(※)			川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	26	27	28	29		30	31	32		
			表面	7.5%													
			表面	7.5%													
			表面	7.5%													
			VT-3	7.5%													

クラス2機器供用期間中検査で管理

4.重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN1-200(保全重要度:高)

項番	カテゴリー	検査の対象箇所	発電用原子力設備規格 JSME S NAI-2012(※)		川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							備考		
			検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数:26回)						
							26	27	28	29	30	31	32	
			表面	代表1台の7.5% (1箇所)	12箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)	(A) 1箇所						
			体積	代表1台の7.5% (1本)	12本×2台	UT	代表1台の7.5% (1本)		(A) 1本					
			表面	代表1台の7.5% (1箇所)	1箇所×2台	PT	代表1台の7.5% (1箇所)					(A) 1箇所		
			VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5% (1箇所)						(A) 1箇所	

4. 重大事故等クラス1機器供用期間中検査 SN1-200 (保全重要度：高)



項目番号	カテゴリー	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所1号機検査計画 (10年間)							備考			
					設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数 (起点となる回数：26回)							
			VT-4	25%	56箇所	VT-4	100% (56箇所)	26	27	28	29	30	31	32	
										56箇所					

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (1)原子炉容器(1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)	備考
B1.102	B-A	炉心領域にある胴の長手溶接継手	体積	100%	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
		上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	100%		
B2.111	B-B	下部胴とトランジションの周溶接継手	体積	100%		
		トランジションと下部鏡板の周溶接継手	体積	100%		
B3.105	B-C	上部胴と上部胴トランジの溶接継手	体積 (可能範囲)	100%		
B3.106	B-C	上部鏡板と上部蓋トランジの溶接継手	体積 (可能範囲)	100%		
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴の溶接継手	体積 (可能範囲)	100%		
B3.20	B-D	冷却材出口管台と胴の溶接継手	体積 (可能範囲)	100%		
		冷却材出入口管台内面の丸み部分	体積 (可能範囲)	100%		
		呼び径100A以上の管台とセメントの溶接継手	体積及び表面	100% (可能範囲)		
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセメントの溶接継手				
		冷却材出口管台とセメントの溶接継手	体積	100% (可能範囲)		
B6.10	B-G-1	ナット				VT-1
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積	100%		
B6.40	B-G-1	フランジネジ穴のネジ部	体積	100%		
B6.50	B-G-1	上蓋用ワッシャー	VT-1	100%		

※ 第26回定検以降は維持規格JISME S NAI-2012 (2013, 2014年追補含む) を適用

※1 平成26年8月以降は「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」を適用

※3 本範囲は、「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈(平成26年8月6日 原規技発第1408063号)」の改正(クラス2機器非破壊免除規定の適用除外)に伴い追加された検査対象箇所であり、追加時期が第1検査間隔の第3検査時期であることから維持規格「IA-2320(6)c」に従い、第2検査間隔より実施する。

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (1)原子炉容器(2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)	備考
B7.10	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部 T/Cハジツク [®] のテラプ	VT-1	25%		
B14.10	B-O	制御棒駆動装置ハジツク [®] の溶接継手(上部及び下部)	体積又は表面	最外周の25%		
G1.10	G-P-1	原子炉容器の内部	VT-3	100% (可能範囲)		
G1.40	G-P-1	内部取付け物	VT-3	100% (可能範囲)		
		内部取付け物 炉心支持構造物				
G1.40 G1.50	G-P-1 G-P-2	上部炉心支持構造物 下部炉心支持構造物	VT-3 VT-3	100% (可能範囲) 100% (可能範囲)		
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	25% (可能範囲)		

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)

(1)原子炉容器(3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考
-	-	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びビベアメタル検査	100% (可能範囲)	クラス1 機器供用期間中検査で管理	
-	-	冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びビベアメタル検査	100% (可能範囲)		
-	-	原子炉容器上蓋の表面	ビエム検査	100% (可能範囲)		
-	-	原子炉容器底部の表面	ビエム検査	100% (可能範囲)		

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
(2)加圧器(1/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲
B2.11	B-B	上部鏡板と上部胴の周溶接継手	体積	5%
B2.12	B-B	下部胴と下部鏡板の周溶接継手	体積	5%
B2.13	B-B	上部胴の長手溶接継手	体積	10%
		下部胴の長手溶接継手	体積	10%
		上部胴と下部胴の周溶接継手	体積	5%
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積	管台数の25%
		カーブ用管台と容器との溶接継手		
		スプレイ用管台と容器との溶接継手		
		逃がし弁用管台と容器との溶接継手		
		安全弁用管台と容器との溶接継手		
B3.40	B-D	管台内面の丸み部分	体積	管台数の25%
		カーブ用管台内面の丸みの部分		
		スプレイ用管台内面の丸みの部分		
		逃がし弁用管台内面の丸みの部分		
		安全弁用管台内面の丸みの部分		
川内原子力発電所第1号機検査計画 (7年間)				
クラス1 機器供用期間中検査で管理				
備考				

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
(2)加圧器(2/3)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)	備考
B5.40	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフエントの溶接継手	体積及び表面	溶接継手(管台)数の25%		
		マンホール取付ボルト				
		容器の支持部材取付け溶接継手				
		スカート取付け溶接継手				
B7.20	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト縮付け部	VT-1	25%		
B8.20	B-H	安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	表面	7.5%		
F1.41	F-A	支持構造物(スカート、基礎ボルト含む)	VT-3	25%(可能範囲)		

クラス1機器供用期間中検査で管理

※2 第20回定検管台とセーフエントの溶接継手取替(690系Ni基合金化)

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)

(2)加圧器(3/3)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧力バウンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考
-	-	サブ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		
-	-	スプレ用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		
-	-	逃がし弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		
-	-	安全弁用管台とセーフエントの溶接継手※2	体積、表面及びベアメタル検査	溶接継手(管台)数の25%		
				100%		

クラス1 機器供用期間中検査で管理

※2 第20回定検管台とセーフエントの溶接継手取替 (690系Ni基合金化)

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (3)蒸気発生器(1/2)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (7年間)	備考
B2.40	B-B	管板と水室鏡板の周溶接継手	体積	代表1基の25%		
B3.60	B-D	冷却材出入口管台内面の丸みの部分	体積	代表1基の25%		
B5.70	B-F	呼び径100A以上の管台とセーフドの溶接継手	体積及び表面	代表1基の溶接継手数の25%		
		冷却材出入口管台とセーフドの溶接継手				
B7.30	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1基の25%		
		マンホール取付けボルト				
B8.30	B-H	一体溶接された容器支持部	表面	代表1基の7.5%		
B16.20	B-Q	伝熱管(インコネル690)	体積	100%		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚ベースプレート、基礎等)を含む	VT-3	代表1基の25%(可能範囲)		

注：第19回定期検査蒸気発生器取替(690系Ni基合金化)

クラス1 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)

(3) 蒸気発生器 (2/2)

加圧水型軽水炉の一次冷却材圧カバワンダリにおけるNi基合金使用部位に係る検査計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積、表面及びベアメタル検査	代表1基の溶接継手数の25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
				100%		

構造上接近又は検査が困難であるとして試験が行われていない箇所の代替試験計画

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画	備考
-	-	冷却材出入口管台とセーフエントの溶接継手	体積	UT表層部所100%	クラス1機器供用期間中検査で管理	

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SNI-201(保全重要度:高)
 (4)1次冷却材ポンプ(1/1)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画 (7年間)	備考
		直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部				
B6.180	B-G-1	主フランジボルト	体積	代表1台の25%		
B6.190	B-G-1	フランジ表面 (ボルト穴廻り)	VT-1	代表1台の25%		
B6.200	B-G-1	ナット及びワッシャ	VT-1	代表1台の25%		
		直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部				
B7.60	B-G-2	シールハウジング用ボルト	VT-1	代表1台の25%		
B12.10	B-L-1	ポンプケーシングの耐圧部分の溶接継手	体積又は表面	代表1台の溶接手長さ又は溶接継手数の25%		
B12.20	B-L-2	ポンプケーシングの内表面	VT-3	代表1台の100%		
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、スラット、基礎等、付合えり)	VT-3	代表1台の25% (可能範囲)		

クラス1 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (5)クラス1弁(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)	備考
B6.210	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部(ボルト、植込みボルト)	体積	代表1台の25%		
		RHRS高温側出口ロライ				
		IV-RH-001A, 001B 余熱除去ポンプ入口ロライ IV-RH-003A, 003B				
B6.220	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部(フレンジ表面)	VT-1	代表1台の25%		
		RHRS高温側出口ロライ				
		IV-RH-001A, 001B 余熱除去ポンプ入口ロライ IV-RH-003A, 003B				
B6.230	B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部(ナット、アッシング、ワッシャ)	VT-1	代表1台の25%		クラス1 機器供用期間中検査で管理
		RHRS高温側出口ロライ				
		IV-RH-001A, 001B 余熱除去ポンプ入口ロライ IV-RH-003A, 003B				
B 7.70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%		
		加圧器逃がしロライ (IV-RC-054A, 054B)				
		加圧器逃がしロライ (1-PCV-454C, 455) 加圧器逃がしロライ (IV-RC-053) 加圧器安全弁ロライ (IV-RC-055~057) CVCS再生熱交換器側 入口ロライ (1-LCV-451, 452) クロスオーバーレグドレンロライ (IV-RC-017)				

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (5)クラス1弁(2/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)	備考
B 7.70	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	代表1台の25%		
		カストパレグドレライ (1V-RC-019A～C)				
		CVCS再生熱交換器出口～RCS低温側充てんライ (1V-CS-228, 229)				
		SIS蓄圧カク出口ライ (1V-SI-134A～C, 136A～C)				
		SIS高温側低圧注入ライ (1V-SI-208A, 208B, 209A, 209B)				
		SIS低温側低圧注入ライ (1V-SI-202A～C, 203A～C)				
		SIS高温側補助注入ライ (1V-SI-088)				
		呼び径100A未満の弁箱の溶接継手				
		封水注入ライ (1V-CS-275A～C, 276A～C)				
		B12.30				
SIS低温側補助注入ライ (1V-SI-099A～C)						
SISほう酸注入カク～RCS低温側注入ライ (1V-SI-048A～C)						
弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱)						
B12.50	B-M-2	加圧器安全弁ライ (1V-RC-055～057)	VT-3	代表1台		
		RHRS高温側出口ライ (1V-RH-001A, 001B)				

クラス1機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (5)クラス1弁(3/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)	備考
B12.50	B-M-2	弁本体の内表面 (呼び径100Aを超える弁箱)	VT-3	代表1台		
		余熱除去ポンプ入口ライン (1V-RH-003A, 003B) SIS蓄圧びく出口ライン (1V-SI-134A~C, 136A~ C) SIS高温側低圧注入ライン (1V-SI- 208A, 208B, 209A, 209B) SIS低温側低圧注入ライン (1V-SI-202A~C, 203A~ C) SIS高温側補助注入ライン (1V-SI-088)				
F1.41	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物全数の25%		
		加圧器安全弁ライン (1V-RC-055~057)				
		加圧器逃がしライン (1V-RC-054A, 054B)				
		加圧器逃がしライン (1-PCV-454C, 455)				

クラス1 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (5)クラス1弁 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (7年間)		備考
項目番号	検査の对象箇所	検査方法	検査範囲	
F1.41	支持構造物	VT-3	支持構造物全数の25%	
	CVCS再生熱交換器胴側入口パイプ			
	(1-LCV-451, 452)			
	RHRS高温側出口パイプ			
	(1V-RH-001A, 001B)			
	余熱除去ポンプ入口パイプ (1V-RH-003A, 003B)			

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SNI-201(保全重要度:高)
 (6)クラス1配管(1/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(7年間)	備考
B 7.50	B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部	VT-1	25%	クラス1機器供用期間中検査で管理	
		封水注入ライン				
B 9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A以上)	体積	25%		
		一次冷却材管				
		加圧器サージライン				
		加圧器安全弁ライン				
		加圧器逃がしライン				
		RHRS高温側出口ライン				
		余熱除去ポンプ入口ライン				
		SIS蓄圧タンク出口ライン				
		SIS高温側低圧注入ライン				
		SIS低温側低圧注入ライン				
SIS高温側補助注入ライン						
B 9.21	B-J	配管の同種金属溶接継手(呼び径100A未満)	表面	25%		
		加圧器逃がしライン				
		クロスオーバーバレー分岐管閉止キャップ				
		クロスオーバーバレードレナライン				

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SNI-201(保全重要度:高)
 (6)クラス1配管 (3/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (7年間)		備考
					発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012(※)		
B 9.40	B-J	母管と管台との溶接継手 (ワット溶接継手)	表面	25%			
		封水注入ライン					
		SISほう酸注入ライン RCS低温側注入ライン					
		SIS高温側補助注入ライン					
		SIS低温側補助注入ライン					
B10.20	B-K	耐圧部分への支持部材の 取付け溶接継手	表面	7.5%			
		余熱除去ポンプ入口ライン					
		支持構造物					
F 1.10	F-A	加圧器サージライン	VT-3	支持構造物 全数の 25%			
		加圧器逃がしライン					
		クロスオーバー・レフト・レフトライン					
		CVCS再生熱交換器側 入口ライン					
		CVCS再生熱交換器出口 ～RCS低温側充てんライン					

クラス1 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SNI-201(保全重要度:高)
 (6)クラス1配管 (4/4)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画 (7年間)		備考
					検査方法	検査範囲	
F 1.10	F-A	支持構造物	VT-3	支持構造物 全数の 25%	クラス1機器供用期間中検査で管理		
		封水注入ライン					
		RHRS高温側出口ライン					
		余熱除去ポンプ入口ライン					
		SIS蓄圧タンク出口ライン					
		SIS高温側低圧注入ライン					
		SIS低温側低圧注入ライン					
		SISほう酸注入タンクへ RCS低温側注入ライン					
		SIS高温側補助注入ライン					
		SIS低温側補助注入ライン					

原子炉冷却材圧力バウンダリ拡大に伴う追加検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画 (7年間)		備考
-	-	余熱除去ポンプ入口ライン 配管と管台との溶接継手	表面	100%	クラス1機器供用期間中検査で管理		

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
(7)容器(2/3)

余熱除去冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)					備考	
								21	22	23	24	25		26
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%							
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%							
C2.21	C-B	管側出入口管台と管側胴の溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%	2	VT-3	代表1基の管台数の7.5%							

クラス2機器供用期間中検査で管理

原子炉補機冷却水冷却器(胴側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)					備考	
								21	22	23	24	25		26
C1.10	C-A	胴側胴と胴側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%							
C1.10	C-A	胴側胴の周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2箇所/基×2基	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%			(A) 7.5%				
C3.10	C-C	胴と当板脚の溶接継手	表面	代表1基の7.5%	9箇所×2基	PT	代表1基の7.5%(1箇所)				1箇所			
F1.43	F-A	当板脚	VT-3	代表1基の7.5%	3箇所×2基	VT-3	代表1基の7.5%(1箇所)				1箇所			

格納容器スプレイ冷却器(管側)

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)					備考	
								21	22	23	24	25		26
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%							
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との周溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%	2	UT	代表1基の溶接継手長さの7.5%							

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-20I(保全重要度:高)
(7)容器(3/3)

ほう酸注入タンク

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							備考			
					設備数	検査方法	検査範囲	21	22	23	24		25	26	27
C1.20	C-A	胴と上部鏡板との溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											SA2
C1.20	C-A	胴と下部鏡板との溶接継手	体積	代表1基の溶接継手長さの7.5%											SA2
C2.21	C-B	管台と胴(鏡板)との溶接継手	体積及び表面	代表1基の管台数の7.5%											SA2
C3.10	C-C	支持部材取付け溶接継手	表面	溶接継手数の7.5%											SA2
C4.10	C-D	ボルト及び締込みボルト	体積	代表1基の7.5%											SA2
F1.43	F-A	支持構造物	VT-3	代表1基の7.5%											SA2

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (8)配管(1/5)

項目番号	カテゴリー	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)		川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (10年間)							備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:21回)								
								21	22	23	24	25	26	27		
C-3.20	C-C	配管支持部材取付け溶接継手														
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(C/Vスプレイ)														
		SIS高温側低圧注入ライン														
		SIS低温側低圧注入ライン														
		余熱除去冷却器出口ライン														
		余熱除去ポンプ 出口ライン														
		余熱除去ポンプ 入口ライン														
		充てん/高圧注入ポンプ 出口ライン														
		SISほう酸注入タンク～RCS低温側注入ライン														
		SIS高温側補助注入ライン		表面												
		SIS低温側補助注入ライン														
		SIS補助注入ライン														
		SIS低温側ほう酸注入ライン														
		燃料取替用水タンク出口ライン														
主蒸気ライン																
タービン動補助給水ポンプ連絡ライン																
主給水ライン																
タービン動補助給水ポンプ入口ライン																
				4箇所	PT	7.5% (1箇所)	第2検査間隔から検査計画策定(※3)									

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
(8)配管(2/5)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)				川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:21回)									
								21	22	23	24	25	26	27			
C 5.11	C-F	配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)															
		主蒸気逃がしライン															
		タービン動補助給水ポンプ入口ライン															
		タービン動補助給水ポンプ出口ライン															
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(C/VX7レイ)															
		余熱除去ポンプ入口ライン															
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(RHR)															
		主蒸気ライン															
		タービン動補助給水ポンプ連絡ライン															
		配管溶接継手(呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手)															
		余熱除去ポンプ入口ライン															
		SIS高温側低圧注入ライン															
SIS低温側低圧注入ライン																	
充てん/高圧注入ポンプ出口ライン																	
SIS低温側ほう酸注入ライン																	
SIS低温側注入ライン																	
SISほう酸注入タンク~RCS低温側注入ライン																	
主蒸気ライン																	
主給水ライン																	

第2検査間隔から検査計画策定(※3)

クラス2機器供用期間中検査で管理

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
(8)配管(4/5)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)				川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							備考			
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:21回)								
								21	22	23	24	25	26	27		
F 1.21	F-A	支持構造物						-	-	-	-	-	-	-		
		格納容器がレボソフ出口ライン														
		格納容器がレイ冷却器出口ライン														
		常設電動注入ポンプ出口配管														
		格納容器がレイ炉心注入ライン														
		格納容器換気空調ダクト														
		格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン														
		主蒸気逃がしライン														
		タービン動補助給水ポンプ入口ライン														
		タービン動補助給水ポンプ出口ライン														
		SIS補助注入ライン														
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン														
余熱除去ポンプ入口ライン																
余熱除去ポンプ出口ライン																
余熱除去冷却器出口ライン																
クラス2 機器供用期間中検査で管理																
第2検査問隔から検査計画策定(※3)																
クラス2 機器供用期間中検査で管理																

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (8)配管(5/5)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)		川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							備考					
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:21回)								
								21	22	23	24	25	26	27		
F 1.21	F-A	支持構造物			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		SIS高温側低圧注入ライン														
		SIS高温側補助注入ライン														
		SIS低温側補助注入ライン														
		SIS低温側低圧注入ライン														
		SIS低温側ほう酸注入ライン														
		SISほう酸注入ライン〜RCS低温側注入ライン														
		格納容器再循環サブ出口ライン (RRR)		VT-3	7.5%											
		燃料取替用水タンク出口ライン														
		格納容器がレイ停心注入ライン														
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン														
主蒸気ライン																
タービン補助給水ポンプ連絡ライン																
主給水ライン																

クラス2機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
(9)弁(1/2)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)				川内原子力発電所 第1号機 検査計画 (10年間)							備考				
		検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	21	22	23	24	25		26	27		
C 6.20	C-G	弁本体の溶接継手															
		SIS低温側補助注入ライン 1V-SI-098A~C	表面	代表1台の溶接継手数の7.5%													
		SIS高温側補助注入ライン 1V-SI-105A~C															
		1V-SI-086A~C															
		SISほう酸注入ライン~ RCS低温側注入ライン															
		1V-SI-047A~C															
		支持構造物															
		原子炉補機冷却水ライン				2箇所	AN	2箇所									
		格納容器換気空調ダクト (BS-I-700)				6箇所	RH	6箇所									
		格納容器換気空調ダクト (BS-I-600)				2箇所	RH	2箇所									
格納容器換気空調ダクト (BS-I-300)				2箇所	RH	2箇所											
主蒸気逃がしライン				6箇所	RH	3箇所											
タービン動補給水ポンプ入口 ライン				4箇所	HS	3箇所											
格納容器再循環サブ 出口ライン(C/Vサブレイ)				4箇所	HS	1箇所											
(1V-CP-001A, 001B)																	
格納容器サブレイ冷却器 出口ライン																	
(1V-CP-024A, 024B)																	
充てん/高圧注入 ポンプ 出口ライン																	
(1V-SI-023A, 023B)																	
余熱除去ポンプ 入口ライン																	
(1V-SI-191A, 191B)																	
余熱除去冷却器出口ライン																	
(1-HCV-603, 613)																	
余熱除去ポンプ 出口ライン																	
(1-FCV-604, 614)																	
F 1.43	F-A																

クラス2 機器供用期間中検査で管理

第2 検査間隔から検査計画策定 (※3)

クラス2 機器供用期間中検査で管理

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査.SN1-201(保全重要度:高)
(10)ポンプ(2/2)

原子炉補機冷却水ポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)					備考		
								定期検査の回数(起点となる回数:21回)							
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)	2箇所×2台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)	21	22	23	24	25	26	27	

格納容器スプレイポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)					備考		
								定期検査の回数(起点となる回数:21回)							
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%		VT-3	代表1台の7.5%	21	22	23	24	25	26	27	クラス2機器供用期間中検査で管理

常設電動注入ポンプ

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	設備数	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)					備考		
								定期検査の回数(起点となる回数:21回)							
F1.43	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	代表1台の7.5%	2箇所×1台	VT-3	代表1台の7.5%(1箇所)	21	22	23	24	25	26	27	1箇所

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(1/6)

項目番号	発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NA1-2008, 2012(※)	試験対象箇所		川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)							備考			
		系統名	ライン名称	定期検査の回数 (起点となる回数: 21回)										
				21	22	23	24	25	26	27				
B15.10	B-P	一次冷却材系統	原子炉容器	VT-2	●	●	●	●	●	○	○	○		
B15.20	B-P		加圧器	VT-2	●	●	●	●	●	○	○	○		
B15.30	B-P		蒸気発生器	VT-2	●	●	●	●	●	○	○	○		
B15.60	B-P		一次冷却材ポンプ	VT-2	●	●	●	●	●	○	○	○		
B15.70	B-P		クラス1弁	VT-2	●	●	●	●	●	○	○	○		
B15.50	B-P		クラス1配管	VT-2	●	●	●	●	●	○	○	○		
C7.30 C7.70	C-H	化学体積制御系統	B 充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水供給ライン	VT-2		●								
C7.30 C7.70	C-H		B 充てん/高圧注入ポンプ自己冷却水戻りライン	VT-2		●								
C7.10 C7.30 C7.70	C-H		体積制御タンク及び出入口ライン	VT-2									○	
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2							○			
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		B 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2					●					
C7.30 C7.70	C-H		C 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2								○		
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	ほう酸注入カク廻りライン	VT-2								○			
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A ほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●									
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	B ほう酸タンク及び出入口ライン	VT-2		●									
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A ほう酸ポンプ出口ライン (ほう酸混合器)	VT-2				●							
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B ほう酸ポンプ出口ライン	VT-2						●					

5.重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SN1-201(保全重要度:高)
 (11)重大事故等クラス2機器漏えい検査(6/6)

項目番号		カゴリ	試験対象箇所		川内原子力発電所第1号機検査計画(10年間)							備考
		系統名	ライン名称		定期検査の回数(起点となる回数:21回)							
					21	22	23	24	25	26	27	
C7.30	C7.70	C-H	アニュラス空気浄化ライン								○	
C7.30		C-H	換気空調システム 中央制御室換気空調ライン					●	●	○		技術基準規則第58条第2項のただし書による「他の方法」として外観検査を実施 複数定検回に分けて実施
C7.30		C-H	代替緊急時対策所加圧設備								○	
C7.30	C7.70	C-H	1次系サブリングシステム 事故後サブリングライン						●			

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SNI-201 (保全重要度：高)
 (12) クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	備考
--	--	配管の円周方向溶接部			川内原子力発電所1号機検査計画(10年間) クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査で管理
		充てんライン	体積	25%	
		再生熱交換器連絡管			
		充てんライン連絡管	体積	25%	

5. 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 SNI-201 (保全重要度：高)
 (13) クラスMC格納容器供用期間中検査

項目番号	カテゴリ	検査の対象箇所	検査方法	検査範囲	川内原子力発電所1号機検査計画(10年間)							備考			
					設備数	検査方法	検査範囲	定期検査の回数(起点となる回数:21回)							
E8.10	E-G	圧力保持用ボルト締付け部	VT-4	25%	56箇所	VT-4	100% (56箇所)	21	22	23	24	25	26	27	

5. 重大事故等クラス3機器漏えい検査 SNI-228(保全重要度:高)

発電用原子力設備規格 維持規格 JSME S NAI-2008, 2012 (※)		川内原子力発電所第1号機検査計画 (10年間)										備考						
項目番号	カテゴリ	施設名	試験対象箇所 機器名	検査方法	設備数	検査の年度 (起点となる年度: 2015)												
						2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025		
D2.30	D-B	核燃料物質の 取扱施設及び 貯蔵施設	可搬型ディーゼル注入ポンプ出口配管接続口～接続用中継ユニット出入口ライン使用済燃料ピットスプレイ用10mホース入口接続口(可搬型ポンプ側用)(1,2号機共用)	VT-2	3					●								
D2.30	D-B		可搬型電動底圧注入ポンプ～接続用中継ユニット出入口ライン使用済燃料ピットスプレイ用10mホース入口接続口(可搬型ポンプ側用)(1,2号機共用)	VT-2	5					●								
D2.30	D-B		接続用中継ユニット出入口ライン使用済燃料ピットスプレイ用10mホース出口接続口～接続用中継ユニット入口接続口(1,2号機共用)	VT-2	5						●							
D2.30	D-B		接続用中継ユニット出口接続口～接続用中継ユニット出入口ライン使用済燃料ピットスプレイ用10mホース入口接続口(使用済燃料ピット側用)(1,2号機共用)	VT-2	5							○						
D2.30	D-B		可搬型ポンプ出入口ライン給水用4mホース出口接続口～可搬型ディーゼル注入ポンプ(1,2号機共用)	VT-2	2								○					
D2.30	D-B		可搬型ポンプ出入口ライン給水用4mホース出口接続口～可搬型電動底圧注入ポンプ(1,2号機共用)	VT-2	4									○				
D2.30	D-B		可搬型ディーゼル注入ポンプ～可搬型ディーゼル注入ポンプ出口配管接続口(1,2号機共用)	VT-2	2						●							
D2.30	D-B		可搬型ディーゼル注入ポンプ出口配管接続口～可搬型ポンプ出口ライン送水用3mホース入口接続口(1,2号機共用)	VT-2	3						●							
D2.30	D-B		可搬型電動底圧注入ポンプ～可搬型ポンプ出口ライン送水用3mホース入口接続口(1,2号機共用)	VT-2	4							●						
D2.30	D-B		接続用中継ユニット(1,2号機共用)	VT-2	5									○				
D2.10	D-B	原子炉冷却系 配管施設	窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク用)	VT-2	4									○				
D2.10	D-B		窒素ポンプ(原子炉補機冷却水サージタンク用)～原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用 3mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	2										○			
D2.30	D-B		移動式大容量ポンプ車接続用フランジ(1,2号機共用)	VT-2	3										○			
D2.30	D-B		移動式大容量ポンプ車接続用ふた(1,2号機共用)	VT-2	3											○		
D2.10	D-B		窒素ポンプ(加圧器逃がし弁用)	VT-2	6									●				
D2.10	D-B		窒素ポンプ(アニュウス空気浄化ファン弁用)	VT-2	6									●				
D2.10	D-B		窒素ポンプ(事故後サンプリング設備弁用)	VT-2	2												●	
D2.30	D-B		窒素ポンプ(加圧器逃がし弁用)～加圧器逃がし弁制御用空気ライン窒素供給用3mフレキシブルホース入口接続口	VT-2	3												●	

※第26保全サイクル以降は維持規格JSME S NAI-2012(2013,2014年追補含む)を適用

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに従い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

表-1のうち、①、②の検査は、設備の点検にあわせて、または点検の完了後に実施するものであり、その実施頻度は設備の点検頻度や原子炉を停止する頻度に基づいている。(添付書類三 別紙1 点検計画(計画期間中における点検の実施状況等)参照)

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に点検を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とみなすことができる。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月※(定期事業者検査終了からの期間)である。

※：使用の状況等から別途点検を行う時期を評価し、定期事業者検査を実施すべき時期について原子力規制委員会の承認を受ける場合を除く。

なお、定期事業者検査の実施頻度の前提となるこれらの点検にあたっては、その対象設備が技術基準に適合する状態を維持するため、その点検頻度の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実に行う。

また、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する検査については、上記に係わらず、当該評価で判定に考慮する期間を一定の期間とする。これに該当する検査を(2)に示す。

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1) のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月（定期事業者検査終了からの期間）以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1 機器供用期間中検査
- ・クラス2 機器供用期間中検査
- ・クラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査
- ・重大事故等クラス1 機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2 機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3 機器漏えい検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・緊急時対策所の居住性確認検査
- ・構造健全性検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査

○また、第27サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等 に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査そ の他の各部の損傷、変形、 摩耗及び異常の発生状況 を確認するために十分な 方法	分解検査及び開放 検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗 等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形 跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持 規格」(JSME S NA1-2012/2013追 補/2014追補)に規定されている超音波探傷試験、 渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等によって、 機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、 漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び 作動の状況を確認するた めに十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定***、 校正、設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認 する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、イン ターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機能 ・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後、定格出力近傍で原子力発電所の 運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常であ ること及び各種パラメータが妥当な値であることを確 認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容(添付書類二、三、四)からの
変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法に関する変更（一定の期間を含む）

別紙－３のとおり

添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標の変更箇所

1. 保全活動管理指標（系統レベル）

No.	系統名	変更理由	該当ページ
1	化学体積制御系統	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更した。	3
2	安全注入系統	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更した。	3
3	余熱除去系統	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更した。	3
4	原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能（直接関連系）、事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更した。	4
5	所内電源系統（M/C、P/C）	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更した。	6
6	直流電源系統	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更した。	7
7	原子炉保護制御装置	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更した。	8
8	重大事故等対処設備	原子炉格納容器スプレイをするための設備、重大事故等の収束に必要な水の供給設備は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「低」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<1回/サイクルから<2回/サイクルへ変更した。	9
9	特定重大事故等対処施設	特定重大事故等対処施設の供用開始に伴い、保全活動管理指標を追加した。	11

2. 系統レベル

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	【系統共通箇所以外】 <240時間/2サイクル	
	未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	炉心冷却機能 (MS-1)			
	原子炉冷却材を内蔵する機能(ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
安全注入系統	炉心冷却機能(安全注入ライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル 【蓄圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	
	未臨界維持機能(ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(格納容器スプレイ系への供給機能) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能(余熱除去系統経由) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能(ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	—	
	未臨界維持機能(充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	原子炉冷却材を内蔵する機能(ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
原子炉格納容器スプレイ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう素除去薬品タンク】 <72時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能(MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(直接関連系) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取替用水系統	未臨界維持機能(MS-1)	<1回/サイクル	<1時間/2サイクル	
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)			
	燃料プール水の補給機能(MS-2)	<2回/サイクル	【燃料取替用水タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水タンク以外】 <240時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能(PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	—	
換気空調設備 (格納容器給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(直接関連系)(MS-1)	<1回/サイクル	—	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(情報提供系)(MS-2)	<2回/サイクル	—	
換気空調設備(格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能(MS-1)	<1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
炉内構造物	炉心形状の維持機能（炉心支持機能）（PS-1）	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能（制御棒クラスタ案内機能）（MS-1）	<1回/サイクル	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成品	炉心形状の維持機能（PS-1）	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能（MS-1）	<1回/サイクル	—	
	未臨界維持機能（MS-1）	<1回/サイクル	—	
原子炉格納施設	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能（MS-1）	<1回/サイクル	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	
1次系サンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能（1次冷却材ほう素濃度サンプリング機能）（MS-2）	<2回/サイクル	—	
主蒸気系統	原子炉停止後の除熱機能（MS-1）	<1回/サイクル	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能（MS-2）	<2回/サイクル	<8時間/2サイクル/基	
主給水系統	原子炉停止後の除熱機能（MS-1）	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
	異常状態の緩和機能（MS-2）	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能（補助給水による除熱機能）（MS-1）	<1回/サイクル	【タービン動補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプAトレイン】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプBトレイン】 <240時間/2サイクル 【復水タンク】 <168時間/2サイクル	
	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	—	
蒸気発生器ブローダウン系統	原子炉停止後の除熱機能（直接関連系）（MS-1）	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル/基	
原子炉補機冷却海水系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能（間接関連系）（MS-3）	<2回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）（MS-2）	<2回/サイクル	—	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
所内電源系統（M/C、P/C）	安全上特に重要な関連機能（非常用母線）（MS-1）	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
	母線の保護・計量機能（非常用母線計器用変圧器・変流器）（MS-1）	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）（MS-2）	<1回/サイクル	—	
所内電源系統（C/C）	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	<8時間/2サイクル/母線	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能（安全系への無停電交流電源の供給）（MS-1）	<1回/サイクル	<2時間/2サイクル/母線	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能（安全系への直流電源の供給）（MS-1）	<1回/サイクル	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	
	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）（MS-2）	<1回/サイクル	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能（MS-1）	<1回/サイクル	<6時間/2サイクル/チャンネル	
安全系ヒートトレース設備	未臨界維持機能（直接関連系）（MS-1）	<1回/サイクル	—	
制御棒駆動装置（機械系）	過剰反応度の印加防止機能（PS-1）	<1回/サイクル	—	
	原子炉の緊急停止機能（MS-1）	<1回/サイクル	—	
	未臨界維持機能（原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系）（MS-1）	<1回/サイクル	—	
制御棒駆動装置（電気系）	原子炉の緊急停止機能（MS-1）	<1回/サイクル	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	
	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）（MS-2）	<2回/サイクル	—	
ディーゼル発電機始動空気系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル/基	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能（MS-1）	<1回/サイクル	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能（PS-2）	<2回/サイクル	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	<p>【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン</p> <p>【原子炉保護系信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <2時間/2サイクル/チャンネル) <1時間/2サイクル/チャンネル (インターロック)</p>	
		<1回/サイクル	<p>【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン</p> <p>【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) <1時間/2サイクル/チャンネル (インターロック)</p> <p>【ディーゼル発電機起動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル</p> <p>【中央制御室非常用循環系論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル</p>	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	—	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	—	
中央制御室外原子炉停止盤	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	<720時間/2サイクル	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	
取水路設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<720時間/2サイクル	
	1次系フィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	充てん/高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	炉心注入 - 代替炉心注入 (B充てん/高圧注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型電動低圧注入ポンプ又は 可搬型ディーゼル注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環運転 <72時間/2サイクル	
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<2回/サイクル	原子炉格納容器スプレイ - 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	-	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	水素濃度低減<72時間/2サイクル 水素濃度監視<720時間/2サイクル	
	水素爆発による原子炉補助建屋等の損傷を防止する等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	<72時間/2サイクル	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	-	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	<240時間/2サイクル	
	重大事故等の収束に必要なとなる水の供給設備 (SA-2)	<2回/サイクル	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取替用水タンク、復水タンク <72時間/2サイクル	
	電源設備	<1回/サイクル	電源設備 (変圧器車、可搬型分電盤以外) <720時間/2サイクル 変圧器車、可搬型分電盤 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	
	計測設備	<1回/サイクル	<720時間/2サイクル 記録機能 -	
	中央制御室	<2回/サイクル	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	

系統名	要求機能	予防可能故障回数目標値	非待機時間目標値	備考
特定重大事故等対処施設		<1回/サイクル		
	代替注入（炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ）をするための設備(SA-1)	<1回/サイクル		
	フィルタベントをするための設備(SA-1)	<1回/サイクル		
	緊急時制御室(SA-1)	<1回/サイクル		
	電源設備	<1回/サイクル		
	計装設備	<1回/サイクル		
	通信連絡設備	<2回/サイクル		

添付書類三 施設管理の実施に関する計画の変更箇所

1. 点検計画 設計基準事故対処設備等

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	設計基準事故対処設備等 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 1A使用済燃料冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。	2/129
2	1B使用済燃料冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。	2/129
3	1C使用済燃料冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。	2/129
4	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 1V-MS-575A 1号 T/D AFWP A蒸気元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	10/129
5	1V-MS-575B 1号 T/D AFWP B蒸気元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	11/129
6	1V-FW-520A 1A 主給水隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	13/129
7	1V-FW-520B 1B 主給水隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	13/129
8	1V-FW-520C 1C 主給水隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	13/129
9	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 1V-SI-193A 1A RHRS C/V再循環弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	19/129
10	1V-SI-193B 1B RHRS C/V再循環弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	19/129
11	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 1V-CS-004A 1 A 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	23/129
12	1V-CS-004B 1 B 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	23/129
13	1V-CS-004C 1 C 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	23/129
14	1V-CS-270A 1A RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	24/129
15	1V-CS-270B 1B RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	24/129
16	1V-CS-270C 1C RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	24/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
17	1-FCV-138 1号 充てん流量調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	24/129
18	1-FCV-140 1号 封水注入流量調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	24/129
19	1-HCV-190 1号 余剰抽出流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	25/129
20	1-PCV-104 1号 抽出ライン圧力調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	26/129
21	1-TCV-104 1号 冷却材混床式脱塩塔入口3方弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	26/129
22	1V-CS-161A 1A CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	27/129
23	1V-CS-161B 1B CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	27/129
24	1V-CS-161C 1C CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	27/129
25	1V-CS-165A 1A, 1B CH/SIポンプ出口ヘッダ第1弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	28/129
26	1V-CS-165B 1B, 1C CH/SIポンプ出口ヘッダ第1弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	28/129
27	1V-CS-166A 1A, 1B CH/SIポンプ出口ヘッダ第2弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	28/129
28	1V-CS-166B 1B, 1C CH/SIポンプ出口ヘッダ第2弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	28/129
29	1V-CS-225 1号 加圧器補助スプレイ弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	28/129
30	1V-CS-301 1号 余剰抽出第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	29/129
31	1V-CS-090 1号 体積制御タンク入口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	30/129
32	1V-CS-151 1号 体積制御タンク出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	30/129
33	1V-CS-290A 1A RCP No. 1シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	31/129
34	1V-CS-290B 1B RCP No. 1シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	31/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
35	1V-CS-290C 1 C R C P N o. 1 シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	31/129
36	1V-CS-300 1号 R C P N o. 1 シールバイパス弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	31/129
37	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 1V-CC-482 1号 CRDM冷却水入口弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	33/129
38	1V-CC-489A 1号 CRDM冷却水A出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	33/129
39	1V-CC-489B 1号 CRDM冷却水B出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	34/129
40	1V-CC-544 1号 RCP冷却水第1出口弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	34/129
41	1-TCV-103 1号 非再生冷却器冷却水流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	34/129
42	1-FCV-1319 1A-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	41/129
43	1-FCV-1320 1B-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	41/129
44	1-FCV-1321 1C-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	41/129
45	1-LCV-1200 1号補機冷却水サージタンク水位制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	41/129
46	1V-CC-1301 1A 供給母管ケラ入口海水供給切替ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	41/129
47	1V-CC-1302A 1A C/V再循環エネット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	41/129
48	1V-CC-1302B 1B C/V再循環エネット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	41/129
49	1V-CC-1305 1B 余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
50	1V-CC-1306 1B 余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
51	1V-CC-1307 1B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
52	1V-CC-1308 1 B制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
53	1V-CC-1309 1A スプレイポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
54	1V-CC-1310 1A スプレイポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
55	1V-CC-1311 1A スプレイポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
56	1V-CC-1312 1A スプレイポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
57	1V-CC-1313 1B CH/SIポンプ 自己冷却水供給ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
58	1V-CC-1314 1B CH/SIポンプ 自己冷却水戻りライン第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
59	1V-CC-1315 1C CH/SIポンプ 冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
60	1V-CC-1316 1 Aスプレイポンプ自己冷却水供給ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
61	1V-CC-1317 1 Aスプレイポンプ自己冷却水戻りライン第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
62	1V-CC-016 1号補機冷却水補給水弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
63	1V-CC-017 1号補機冷却水補給水連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
64	1V-CC-021 1号補機冷却水サージタンクサージ弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
65	1V-CC-022 1号補機冷却水サージタンクサージ弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
66	1V-CC-043 1号補機冷却水戻りA・Bヘッド 第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
67	1V-CC-044 1号補機冷却水戻りBヘッド 第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
68	1V-CC-060 1号補機冷却水供給A・Bヘッダ第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
69	1V-CC-061 1号補機冷却水供給A・Bヘッダ第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
70	1V-CC-172A 1A ⁺ ヲト冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
71	1V-CC-172B 1B ⁺ ヲト冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
72	1V-CC-179A 1A ⁺ ヲト冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
73	1V-CC-179B 1B ⁺ ヲト冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
74	1V-CC-179C 1C ⁺ ヲト冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
75	1V-CC-194A 1A-1B-C/V再循環エツト冷却水入口逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
76	1V-CC-204A 1A-C/V再循環エツト冷却水流量制御弁後弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
77	1V-CC-204B 1B-C/V再循環エツト冷却水流量制御弁後弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
78	1V-CC-221A 1A余熱除去冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
79	1V-CC-221B 1B余熱除去冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
80	1V-CC-234A 1A余熱除去ポンプ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
81	1V-CC-234B 1B余熱除去ポンプ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	42/129
82	1V-CC-239A 1A余熱除去ポンプモータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
83	1V-CC-239B 1B余熱除去ポンプモータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
84	1V-CC-251B 1Bスプレッドポンプ冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
85	1V-CC-255B 1Bｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
86	1V-CC-286A 1A・B-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ等冷却水第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
87	1V-CC-295A 1A-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
88	1V-CC-295B 1B-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
89	1V-CC-295C 1C-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
90	1V-CC-298A 1A-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
91	1V-CC-298B 1B-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
92	1V-CC-298C 1C-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
93	1V-CC-301A 1A・B-CH/SIｽﾌﾟﾚｲﾝｸﾞ ﾓｰﾀ等冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
94	1V-CC-326 AM用1A-RHRポンプモータCCW第2入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
95	1V-CC-327 AM用1ARHRポンプモータCCWライン第1仕切弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
96	1V-CC-328 AM用1A-RHRポンプモータCCW第1出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
97	1V-CC-329 AM用1ARHRポンプモータCCWライン第2仕切弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
98	1V-CC-350A A事故後ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 冷却管冷却水供給第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
99	1V-CC-362A A事故後ﾌﾞﾗﾝｸﾞ 冷却管冷却水戻り第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
100	1V-CC-691A 1A・Ct 冷却器冷却水入口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
101	1V-CC-691B 1A・Ct 冷却器冷却水入口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
102	1V-CC-692A 1B・Ct 冷却器冷却水入口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
103	1V-CC-692B 1B・C冷却器冷却水入口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
104	1V-CC-693A 1A・C冷却器冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
105	1V-CC-693B 1A・C冷却器冷却水出口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
106	1V-CC-694A 1B・C冷却器冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
107	1V-CC-694B 1B・C冷却器冷却水出口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	43/129
108	1V-SW-509A 1Aストレーナ出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	46/129
109	1V-SW-509B 1Bストレーナ出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	46/129
110	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 1V-IA-508A 1A IAS格納容器隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	51/129
111	1V-IA-508B 1B IAS格納容器隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	51/129
112	1V-IA-501A 1号 IASヘッダ連絡管1Aヘッダ隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	52/129
113	1V-IA-501B 1号 IASヘッダ連絡管1Bヘッダ隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	52/129
114	計測制御系統施設 (その他設備) 1. パーミッシブロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. パーミッシブロジック回路 3回路 (安全防護系ロジック関連)	原子炉安全保護盤取替に伴い、SN1-111「安全保護系機能検査(パーミッシブロジック検査)」をSN1-33「安全保護系機能検査」に統合した。	54/129
115	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 1A, 1B 格納容器サンプポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	60/129
116	1A, 1B 格納容器サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	60/129
117	1A, 1B 補助建屋サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	60/129
118	1A, 1B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	60, 61/129
119	1A, 1B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	61/129
120	1A, 1B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	61/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
121	1A, 1B 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	62/129
122	1A, 1B, 1C 廃液給水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	62/129
123	1A, 1B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	62, 63/129
124	1A, 1B, 1C 洗浄排水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	63/129
125	1A, 1B 洗浄排水モニタポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	63, 64/129
126	1A, 1B 薬品ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	64/129
127	1A, 1B 薬品ドレン蒸留水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	64/129
128	洗浄排水濃縮液供給ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	65/129
129	1号 補助建屋サンプタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	65/129
130	1号 補助建屋機器ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	65/129
131	1号 格納容器冷却材ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	65/129
132	1V-WL-060 1号 CVD Tベントライン第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	66/129
133	1V-WL-354 1号 C/V サンプポンプ出口ライン第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	67/129
134	1V-WL-086 1号 A B D T 逃がし弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	67/129
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、漏えい試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更した。	67/129
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能・性能試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更した。	67/129
135	1A, 1B ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	68/129
136	1A, 1B モニタタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とした。	69/129
137	1 B 廃液蒸発装置 1式	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解・開放点検の点検頻度を「39M～130M」から「39M～143M」に変更した。	70/129
138	放射線管理施設(換気設備) 1号 キャビティ給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	74/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
139	1号 キャビティ排気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	74/129
140	1号 安全補機室給気ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	76/129
141	1F-VS-W2F 1B インバータ室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	77/129
142	1F-VS-W29R1 1B インバータ室排気第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	77/129
143	1F-VS-W56F 1A インバータ室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	77/129
144	1F-VS-W176F 1B 安全補機開閉器室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	77/129
145	1F-VS-W193F 1A 安全補機開閉器室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	77/129
146	1F-VS-W214F 1B 安全補機開閉器室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	77/129
147	1F-VS-W235F 1A 安全補機開閉器室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	77/129
148	1号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	78/129
149	1D-VS-605A,B 1A、1B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	79/129
150	1D-VS-606A,B 1A、1B 中央制御室非常用循環ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	79/129
151	1A、1B、1C、1D ディーゼル発電機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更した。	79/129
152	1号 使用済燃料ピット排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	80/129
153	1号 放射線管理室給気ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	80/129
154	1号 放射線管理室排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	80/129
155	1F-VS-T272F 1B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	81/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
156	1F-VS-T290F 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	81/129
157	原子炉格納施設(原子炉格納容器) T信号により隔離される弁 73個 P信号により隔離される弁 79個	第26保全サイクルより、P信号により隔離される弁の対象を79個から8個へ変更した。	83/129
158	配管貫通部	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	84/129
159	電線管貫通部	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	84/129
160	原子炉格納容器隔離弁	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	84/129
161	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 1-PCV-2334, 2344 1A, 1Bアニュラス戻り弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	92/129
162	1号 安全補機室排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更した。	92/129
163	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 1A, 1B, 1C 復水プースタポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	102, 103/129
164	1V-FW-557A 1号 M/D AFWP出口A流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	109/129
165	1V-FW-557B 1号 M/D AFWP出口B流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	109/129
166	1V-FW-557C 1号 M/D AFWP出口C流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更した。	109/129
167	1V-FW-568A 1 A T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	110/129
168	1V-FW-568B 1 B T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	110/129
169	1V-FW-568C 1 C T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	111/129
170	1V-FW-573A 1 A 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	111/129
171	1V-FW-573B 1 B 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	111/129
172	1V-FW-573C 1 C 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	111/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
173	1V-DW-108 1A電動補助給水ポンプ 給水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	111/129
174	1V-DW-111 1B電動補助給水ポンプ 給水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	111/129
175	1V-DW-115 1号タービン動補助給水ポンプ 給水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	111/129
176	1V-DW-130 タービン動補助給水ポンプ 油冷却器冷却水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	111/129
177	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 1 C 充電器盤	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直した。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映した。	123/129
178	火災防護設備 (その他設備) 1F-VS-N56F 1号 F H / B 出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
179	1F-VS-W13F 1号 CRDM開閉器室出口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
180	1F-VS-W37F 1 B インバータ室排気第2 防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
181	1F-VS-W40R1 1号 MGセット室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
182	1F-VS-W69F 1号 CRDM開閉器室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
183	1F-VS-W76R1 1 A インバータ室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
184	1F-VS-W82R 1号 MGセット室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
185	1F-VS-W103F 1 B 安全補機開閉器室出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
186	1F-VS-W121F 1 A 安全補機開閉器室出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
187	1F-VS-W245F 1号 原子炉コントロールセンタ室 (C) 排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
188	1F-VS-W251F 1号 原子炉コントロールセンタ室 (C) 給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
189	1F-VS-W321F 1 A 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
190	1F-VS-W336F 1 B 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	126/129
191	1F-VS-C23F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
192	1F-VS-C25F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
193	1F-VS-C28F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
194	1F-VS-T201-1F 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
195	1F-VS-T207-1F 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
196	1F-VS-T251F 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
197	1F-VS-T252F 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
198	1F-VS-T260F 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
199	1F-VS-T303F 1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
200	1F-VS-1F2F 事故後サンプリング系1号格納容器排気筒ライン防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
201	1F-VS-Y3F 1号 放射化学室給気系第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
202	1F-VS-Y8F 1号 第1計器室給気系第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
203	1F-VS-Y13F 1号 洗濯室給気系第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
204	1F-VS-Y712F 1号 放射線管理室給気系防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
205	1F-VS-Y723F 1号 保健物理室給気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
206	1F-VS-Y732F 1号 放射化学室給気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
207	1F-VS-Y738F 1号 一次系補機制御盤室給気系防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	127/129
208	1F-VS-Y746F 1号 第1計器室給気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	128/129
209	1F-VS-Y754F 1号 洗濯室給気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	128/129
210	1F-VS-Y964F 2号 中央制御室通常時放出ライン防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更した。	128/129
211	水素濃度検知器	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	128/129
212	浸水防護施設 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備) 1号 原子炉補助建屋 堰	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	128/129
213	浸水防護施設 (その他設備) 1V-SW-652 1号海水ポンプエリア排水エリア逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直した。 また、対象設備の号機を明確化した。	128/129
214	1V-SW-651A 1A海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直した。 また、対象設備の号機を明確化した。	128/129
215	1V-SW-651B 1B海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直した。 また、対象設備の号機を明確化した。	128/129
216	1V-SW-651C 1C海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直した。 また、対象設備の号機を明確化した。	128/129
217	1V-SW-651D 1D海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直した。 また、対象設備の号機を明確化した。	128/129

2. 点検計画 重大事故等対処設備

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1	重大事故等対処設備 計測制御系統施設(計測装置) 重大事故等対処用入出力盤 1式	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/15
2	非常用電源設備 大容量空冷式発電機用 燃料タンク	タンクの外観点検に加え、タンク内面点検を追加するため点検計画に反映した。	11/15
3	蓄電池(3系統目)	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	14/15
4	充電器盤(3系統目)	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	14/15
5	計装用電源装置(3系統目)	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	15/15
6	計装用分電盤(3系統目)(電源切替盤 含む) 1式	常設直流電源設備(3系統目)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	15/15

3. 特定重大事故等対処施設

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
1		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映した。	1/13
2		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
3		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
4		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
5		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
6		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
7		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
8		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
9		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	1/13
10		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	1/13
11		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	1/13
12		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	1/13
13		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	1/13
14		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	1/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
15		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	1/13
16		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
17		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
18		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
19		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
20		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
21		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
22		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
23		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
24		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
25		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
26		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
27		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
28		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
29		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	2/13
30		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
31		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
32		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
33		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
34		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
35		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
36		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
37		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
38		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
39		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
40		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	3/13
41		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
42		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
43		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
44		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
45		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
46		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
47		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
48		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
49		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
50		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
51		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映した。	4/13
52		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映した。	4/13
53		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
54		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	4/13
55		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	4/13
56		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
57		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
58		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
59		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
60		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13
61		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	4/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
62		新規基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	5/13
63		新規基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	5/13
64		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	5/13
65		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	5/13
66		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	5/13
67		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	5/13
68		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	5/13
69		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	5/13
70		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
71		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
72		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
73		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
74		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
75		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
76		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
77		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
78		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
79		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
80		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
81		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
82		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
83		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
84		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	6/13
85		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
86		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
87		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
88		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
89		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
90		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
91		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	7/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
92		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載した。	7/13
93		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
94		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
95		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
96		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	7/13
97		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
98		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
99		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
100		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
101		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
102		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
103		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
104		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
105		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
106		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
107		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	8/13
108		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
109		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
110		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
111		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
112		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
113		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
114		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
115		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
116		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
117		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
118		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
119		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
120		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
121		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
122		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
123		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
124		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
125		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
126		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
127		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
128		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	9/13
129		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
130		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
131		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
132		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
133		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
134		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
135		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
136		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
137		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
138		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
139		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
140		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
141		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
142		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
143		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
144		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	10/13
145		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
146		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
147		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
148		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
149		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
150		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
151		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
152		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
153		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
154		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
155		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
156		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
157		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
158		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
159		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
160		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
161		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
162		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
163		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
164		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
165		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
166		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	11/13
167		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
168		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
169		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
170		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
171		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
172		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
173		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
174		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
175		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
176		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
177		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
178		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
179		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
180		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
181		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
182		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
183		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
184		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
185		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
186		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13

No.	実施数(機器名)	変更理由	該当ページ
187		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
188		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
189		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
190		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
191		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映した。	12/13
192		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
193		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
194		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
195		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
196		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
197		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
198		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
199		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
200		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
201		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
202		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13
203		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映した。	13/13

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備)	使用済燃料ピット浄化・冷却設備	機能・性能試験	高	1C	SN1-202 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査	使用済燃料ピット他含む
	1 A 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中 (振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	1 A 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中 (振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	1 B 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中 (振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	1 B 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中 (振動診断: 1ヶ月)
		分解点検		4Y		
	1 C 使用済燃料ピットポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	1 C 使用済燃料ピットポンプ用電動機	簡易点検	低	1C		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	1号 使用済燃料ピットスキマポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y		プラント運転中
		分解点検		4Y		
	1号 使用済燃料ピットスキマポンプ用電動機	分解点検	低	2Y		プラント運転中
	1 A 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中
	1 B 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中
	1 C 使用済燃料ピット冷却器	開放点検	高	10Y		プラント運転中
	1 A 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
1 B 使用済燃料ピットフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中	
1号 使用済燃料ピットスキマフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中	
1 A 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C			
1 B 使用済燃料ピット脱塩塔	外観点検	低	1C			
IV-SF-059 1号 S F P D W供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (燃料取替用水設備)	1 A 燃料取替用水ポンプ	簡易点検(油入替他)	高	2Y	SN1-84 1次系ポンプ機能検査	プラント運転中 (振動診断: 切替毎)
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	IV-MS-533A 1 A 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		26M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		機能・性能試験		1C	SN1-29 主蒸気隔離弁機能検査		
	IV-MS-533B 1 B 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		26M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		機能・性能試験		1C	SN1-29 主蒸気隔離弁機能検査		
	IV-MS-533C 1 C 主蒸気隔離弁	駆動部点検	高	52M			
		分解点検		26M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		機能・性能試験		1C	SN1-29 主蒸気隔離弁機能検査		
	I-PCV-5085 1号 T/D AFWP 駆動用蒸気弁	簡易点検 (パランドパッキン取替)	高	26M			
		駆動部点検		52M			
		分解点検		52M	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		4C			
	IV-MS-620A 1 A T/D AFWP 蒸気入口弁	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機簡易点検		2C			
		電動機分解点検		130M			
IV-MS-620B 1 B T/D AFWP 蒸気入口弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M	SN1-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C				
	電動機簡易点検		2C				
	電動機分解点検		130M				
IV-MS-575A 1号 T/D AFWP A蒸気元弁	簡易点検 (パランドパッキン取替)	高	65M				
	駆動部点検		130M				
	分解点検		130M	SN1-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		10C				
	電動機簡易点検		2C				
	電動機分解点検		143M				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-MS-575B 1号 T/D AFWP B蒸気元弁	簡易点検（グランドバネ取替）	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-MS-583A 1 A 主蒸気サンプル弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバネ取替）	高	52M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-MS-583B 1 B 主蒸気サンプル弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバネ取替）	高	52M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-MS-583C 1 C 主蒸気サンプル弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバネ取替）	高	52M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-MS-584A 1 A C/V出口主蒸気管ドレン元弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバネ取替）	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-MS-584B 1 B C/V出口主蒸気管ドレン元弁（外隔離弁）	簡易点検（グランドバネ取替）	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
駆動部点検		130M				
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
電動機分解点検		130M				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
I-TCV-500G I G タービンバイパス弁		駆動部点検	低	52M		
		簡易点検 (グランドパッキン取替)		13M		
		分解点検		52M		
I-TCV-500H I H タービンバイパス弁		駆動部点検	低	52M		
		簡易点検 (グランドパッキン取替)		13M		
		分解点検		52M		
I V-MS-536A I A 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M		
I V-MS-536B I B 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M		
I V-MS-536C I C 主蒸気逆止弁		分解点検	高	26M		
I V-MS-576A I A T/D AFWP 蒸気逆止弁		分解点検	高	39M		
I V-MS-576B I B T/D AFWP 蒸気逆止弁		分解点検	高	39M		
I V-FW-520A I A 主給水隔離弁 (外隔離弁)		簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	39M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
I V-FW-520B I B 主給水隔離弁 (外隔離弁)		簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	39M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
I V-FW-520C I C 主給水隔離弁 (外隔離弁)		簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	39M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
I-FCV-460 I A 主給水制御弁		駆動部点検	高	26M		
		分解点検		13M		
I-FCV-470 I B 主給水制御弁		駆動部点検	高	26M		
		分解点検		13M		
I-FCV-480 I C 主給水制御弁		駆動部点検	高	26M		
		分解点検		13M		
I-FCV-461 I A 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M		
		分解点検				
I-FCV-471 I B 主給水バイパス制御弁		駆動部点検	高	52M		
		分解点検				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-SI-191A 1 A 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-SI-191B 1 B 余熱除去ポンプ供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-SI-193A 1 A R H R S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
IV-SI-193B 1 B R H R S C/V再循環弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機簡易点検		2C			
	電動機分解点検		130M			
IV-SI-197A 1 A 低温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
IV-SI-197B 1 B 低温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
IV-SI-206 1号 高温側低圧注入弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
IV-SI-132A 1 A 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-18 SN1-204	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
IV-SI-132B 1 B 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-18 SN1-204	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
IV-SI-132C 1 C 蓄圧タンク出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-18 SN1-204	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-SI-170C 1 C 蒸圧タンクN2供給弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	IV-SI-192A 1 A RHR供給ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
		IV-SI-192B 1 B RHR供給ライン逆止弁	分解点検	高		
	IV-SI-196A 1 A RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
		IV-SI-196B 1 B RHR S-C/V再循環ライン逆止弁	分解点検	高		
	IV-SI-199A 1 A 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高	130M		
		IV-SI-199B 1 B 低温側低圧注入ライン逆止弁	分解点検	高		
	1号 燃料取替用水タンク	開放点検	高	130M		
	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備)	化学体積制御系	機能・性能試験	高	1C	SN1-138 化学体積制御系機能検査
体積制御タンク		開放点検	高	130M		
1号 1次系薬品タンク		外観点検	低	1C		
非再生冷却器		開放点検	高	130M		
余剰抽出冷却器		開放点検	高	130M		
再生熱交換器		外観点検	高	1C		
封水冷却器		開放点検	高	130M		
冷却材フィルタ		開放点検	高	26M		
1 A 封水注入フィルタ		開放点検	高	39M		
1 B 封水注入フィルタ		開放点検	高	39M		
封水フィルタ		開放点検	高	26M		
1 A 冷却材混床式脱塩塔		外観点検	高	1C		
1 B 冷却材混床式脱塩塔		外観点検	高	1C		
冷却材陽イオン脱塩塔		外観点検	高	1C		
1 A ほう酸除去脱塩塔		外観点検	高	1C		
1 B ほう酸除去脱塩塔		外観点検	高	1C		
IV-CS-004A 1 A 抽出オリフィス隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	65M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		104M		
IV-CS-004B 1 B 抽出オリフィス隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	65M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		104M		
IV-CS-004C 1 C 抽出オリフィス隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	65M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		104M		
IV-CS-007 1号 抽出オリフィス出口隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
	IV-CS-219 1号 充てんライン第2隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		電動機分解点検		130M			
	IV-CS-270A 1A RCP封水注入ライン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		143M			
	IV-CS-270B 1B RCP封水注入ライン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		143M			
	IV-CS-270C 1C RCP封水注入ライン第1隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M	SN1-85 1次系弁検査		
		機能・性能試験		10C			
		電動機分解点検		143M			
	IV-CS-275A 1A RCP封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	IV-CS-275B 1B RCP封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	IV-CS-275C 1C RCP封水注入ライン第1逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	IV-CS-276A 1A RCP封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	IV-CS-276B 1B RCP封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	IV-CS-276C 1C RCP封水注入ライン第2逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
IV-CS-308 1号 RCP封水戻りライン第1隔離弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	電動機分解点検		130M				
IV-CS-310 1号 RCP封水戻りライン第2隔離弁	駆動部点検	高	130M				
	分解点検		130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	電動機分解点検		130M				
I-FCV-138 1号 充てん流量調節弁	駆動部点検	高	65M				
	分解点検		13M	SN1-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		1C				
I-FCV-140 1号 封水注入流量調節弁	駆動部点検	高	65M				
	分解点検		13M	SN1-85 1次系弁検査			
	機能・性能試験		1C				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	I-HCV-102 1号 低圧抽出流量制御弁	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	I-HCV-108 1号 冷却材陽イオン脱塩塔流量制御弁	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	I-HCV-190 1号 余剰抽出流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	I-LCV-121A 1号 体積制御タンク入口3方弁	簡易点検 (グランドパッキン取替)	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		130M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	I-LCV-121B 1号 体積制御タンク第1出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	I-LCV-121C 1号 体積制御タンク第2出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	I-LCV-121D 1号 CH/S 1 ポンプB 非常用補給弁	駆動部点検	高	130M	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	I-LCV-121E 1号 CH/S 1 ポンプA 非常用補給弁	駆動部点検	高	130M	SN1-18 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 SN1-204 その他原子炉注水系主要弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	I-LCV-451 1号 加圧器水位第1制御弁	駆動部点検	高	52M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		39M		
機能・性能試験		3C				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	I-LCV-452 1号 加圧器水位第2制御弁	駆動部点検	高	52M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C		
	I-PCV-104 1号 抽出ライン圧力調節弁	駆動部点検	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		13M		
		機能・性能試験		1C		
	I-TCV-104 1号 冷却材混床式脱塩塔入口3方弁	簡易点検 (パッドパッキン取替)	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-043A 1 A 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-043B 1 B 冷却材混床式脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-048A 1 A 冷却材混床式脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-048B 1 B 冷却材混床式脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-052 1号 冷却材陽イオン脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-057 1号 冷却材陽イオン脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
機能・性能試験		10C				
IV-CS-078 1号 ほう酸除去脱塩塔バイパス3方弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-CS-152A 1A, 1B CH/SIポンプ入口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CS-152B 1B, 1C CH/SIポンプ入口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CS-153A 1A, 1B CH/SIポンプ入口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CS-153B 1B, 1C CH/SIポンプ入口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CS-161A 1A CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CS-161B 1B CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CS-161C 1C CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CS-162 1号 CH/SIポンプミニマムフロー元弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-CS-165A 1A, 1B CH/SIポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CS-165B 1B, 1C CH/SIポンプ出口ヘッド第1弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CS-166A 1A, 1B CH/SIポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CS-166B 1B, 1C CH/SIポンプ出口ヘッド第2弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CS-213 1号 充てん流量調節補助弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-218 1号 充てんライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CS-225 1号 加圧器補助スプレイ弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		65M		
		分解点検		65M		
		機能・性能試験		5C		
	IV-CS-226 1号 加圧器補助スプレイ逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
	IV-CS-227 1号 Cループ充てん弁	簡易点検（ベローズ点検）	高	39M	SN1-85 1次系弁検査	
		駆動部点検		52M		
		分解点検		65M		
		機能・性能試験		5C		
	IV-CS-228 1号 Cループ充てん第1逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
	IV-CS-229 1号 Cループ充てん第2逆止弁	分解点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CS-301 1号 余剰抽出第1隔離弁	簡易点検（ペローズ点検）	高	39M	SN1-85 1次系弁検査	
		簡易点検（グラッドパッキン取替）		65M		
		駆動部点検		65M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-302 1号 余剰抽出第2隔離弁	簡易点検（ペローズ点検）	高	39M	SN1-85 1次系弁検査	
		簡易点検（グラッドパッキン取替）		65M		
		駆動部点検		52M		
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-305 1号 余剰抽出ライン3方弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-352A 1 A ほう酸除去脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-352B 1 B ほう酸除去脱塩塔入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-359A 1 A ほう酸除去脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
分解点検		130M				
機能・性能試験		10C				
IV-CS-359B 1 B ほう酸除去脱塩塔出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
IV-CS-005 1号 抽出オリフィス出口逃がし弁	分解点検	高	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
IV-CS-024 1号 抽出ライン逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
IV-CS-121 1号 体積制御タンク安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-CS-170A 1号 CH/S 1ポンプ入口逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-170B 1号 CH/S 1ポンプ入口逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-283 1号 RCPバージ水ヘッドタンク逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-306 1号 RCP封水戻りライン逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-321 1号 封水冷却器管側入口逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CS-127 1号 体積制御タンクガス供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
	ID-CS-121 1号 体積制御タンク安全弁前破壊板	分解点検	低	130M	SN1-89 1次系破壊板検査	
	IV-CS-041 1号 冷却材混床式脱塩塔入口逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-090 1号 体積制御タンク入口逆止弁	分解点検	高	143M		
	IV-CS-151 1号 体積制御タンク出口逆止弁	分解点検	高	143M		
	IV-CS-160A 1号 CH/S 1ポンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-160B 1号 CH/S 1ポンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-160C 1号 CH/S 1ポンプミニマムフロー逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-163A 1号 CH/S 1ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-163B 1号 CH/S 1ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-163C 1号 CH/S 1ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-221 1号 充てんライン逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CS-232 1号 Cループ充てんラインバイパス逆止弁	分解点検	高	65M		
	IV-CS-251 1号 RCP封水注入流量調節補助弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備)	IV-CS-290A 1A RCP No. 1シール出口弁	簡易点検（ペローズ点検）	高	39M			
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		104M			
	IV-CS-290B 1B RCP No. 1シール出口弁	簡易点検（ペローズ点検）	高	39M			
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		104M			
	IV-CS-290C 1C RCP No. 1シール出口弁	簡易点検（ペローズ点検）	高	39M			
		簡易点検（グランドパッキン取替）		65M			
		駆動部点検		65M			
		分解点検		104M			
	IV-CS-300 1号 RCP No. 1シールバイパス弁	駆動部点検	高	65M			
		分解点検		130M			
	IV-CS-774 1号 CH/S 1ポンプ入口ベントライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C			
	IV-CS-775A 1号 CH/S 1ポンプ入口ベントライン第2-A隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C			
	IV-CS-775B 1号 CH/S 1ポンプ入口ベントライン第2-B隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
		分解点検		130M			
		機能・性能試験		10C			
	IV-CS-775C 1号 CH/S 1ポンプ入口ベントライン第2-C隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
分解点検		130M					
機能・性能試験		10C					
原子炉補機冷却水設備	原子炉補機冷却水系 弁10個	機能・性能試験	高	1C	SN1-15 原子炉補機冷却系機能検査		
		1A 原子炉補機冷却水ポンプ	簡易点検（油入替他）	高	13M		(振動診断：切替毎)
			分解点検		52M		
	機能・性能試験		4C		SN1-84 1次系ポンプ機能検査		
	1A 原子炉補機冷却水ポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：切替毎)	
		普通点検		39M			
		分解点検		78M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-CC-192A 1 A 1 B C/V再循環ユニット冷却水入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-192B 1 C 1 D C/V再循環ユニット冷却水入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-199A 1 A C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-199B 1 B C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-199C 1 C C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-199D 1 D C/V再循環ユニット冷却水出口隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-482 1号CRDM冷却水入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
IV-CC-489A 1号CRDM冷却水A出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		143M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-CC-489B 1号 C R D M冷却水B出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CC-503 1号 余剰抽出冷却器冷却水第2入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
	IV-CC-509 1号 余剰抽出冷却器冷却水第1出口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
	IV-CC-521 1号 R C P冷却水第1入口弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-523 1号 R C P冷却水第2入口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-544 1号 R C P冷却水第1出口弁（内隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
	IV-CC-546 1号 R C P冷却水第2出口弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		130M		
	IV-CC-706 1号 冷却材ドレン冷却器冷却水隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	I-PCV-1202 1号 補機冷却水サージタンクN2供給圧力制御弁	駆動部点検	低	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	I-RCV-056 1号 補機冷却水サージタンクベント弁	駆動部点検	低	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	I-TCV-103 1号 非再生冷却器冷却水流量制御弁	駆動部点検	低	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
IV-CC-586 1号 非再生冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
IV-CC-596 1号 封水冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
IV-CC-602 1号 サンプル冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
IV-CC-612 1号 ブローダウンサンプル冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
IV-CC-624 1号 補助蒸気復水モニタ冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
IV-CC-704 1号 冷却材ドレン冷却器冷却水逃がし弁		取替	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
IV-CC-051A 1 A C C Wポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M		
IV-CC-051B 1 B C C Wポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M		
IV-CC-051C 1 C C C Wポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M		
IV-CC-051D 1 D C C Wポンプ出口逆止弁		分解点検	高	130M		
I-FCV-1319 1 A R C P熱しゃへい冷却水流量制御弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
I-FCV-1320 1 B R C P熱しゃへい冷却水流量制御弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
I-FCV-1321 1 C R C P熱しゃへい冷却水流量制御弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
I-LCV-1200 1号補機冷却水サージタンク水位制御弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
IV-CC-1301 1 A 供給母管クーラ人口海水供給切替ライン第2止め弁		分解点検	高	130M		
IV-CC-1302A 1 A C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁		分解点検	高	130M		
IV-CC-1302B 1 B C/V再循環ユニット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁		分解点検	高	130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-1305 1 B 余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1306 1 B 余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1307 1 B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1308 1 B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1309 1 A スプレイポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第2止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1310 1 A スプレイポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第1止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1311 1 A スプレイポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第2止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1312 1 A スプレイポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第1止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1313 1 B C/H/S 1ポンプ自己冷却水供給ライン第2止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1314 1 B C/H/S1ポンプ自己冷却水戻りライン第1止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1315 1 C C/H/S1ポンプ冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1316 1 A スプレイポンプ自己冷却水供給ライン第2止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-1317 1 A スプレイポンプ自己冷却水戻りライン第1止め弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-016 1号補機冷却水補給弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-017 1号補機冷却水補給水連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-021 1号補機冷却水サージタンクサージ弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-022 1号補機冷却水サージタンクサージ弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-043 1号補機冷却水戻りA・Bヘッド第1連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-044 1号補機冷却水戻りBヘッド第2連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-060 1号補機冷却水供給A・Bヘッド第1連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-061 1号補機冷却水供給A・Bヘッド第2連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-172A 1 A ビット冷却器冷却水入口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-172B 1 B ビット冷却器冷却水入口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-179A 1 A ビット冷却器冷却水第2出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-179B 1 B ビット冷却器冷却水第2出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-179C 1 C ビット冷却器冷却水第2出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-194A 1 A - 1 B C/V再循環ユニット冷却水入口逆止弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-204A 1 A C/V再循環ユニット冷却水流量制御弁後弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-204B 1 B C/V再循環ユニット冷却水流量制御弁後弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-221A 1 A 余熱除去冷却器冷却水入口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-221B 1 B 余熱除去冷却器冷却水入口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-234A 1 A 余熱除去ポンプ冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-234B 1 B 余熱除去ポンプ冷却水出口弁	分解点検	高	130M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-CC-239A 1 A 余熱除去ポンプモータ冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-239B 1 B 余熱除去ポンプモータ冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-251B 1 B スプレイポンプ冷却水入口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-255B 1 B スプレイポンプモータ冷却水入口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-286A 1 A・B CH/S 1 ポンプモータ等冷却水第2 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-295A 1 A CH/S 1 ポンプモータ冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-295B 1 B CH/S 1 ポンプモータ冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-295C 1 C CH/S 1 ポンプモータ冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-298A 1 A CH/S 1 ポンプモータ等冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-298B 1 B CH/S 1 ポンプモータ等冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-298C 1 C CH/S 1 ポンプモータ等冷却水出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-301A 1 A・B CH/S 1 ポンプモータ等冷却水出口第1 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-326 AM用 1 A-RHR ポンプモータCCW第2 入口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-327 AM用 1 A-RHR ポンプモータCCWライン第1 仕切弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-328 AM用 1 A-RHR ポンプモータCCW第1 出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-329 AM用 1 A-RHR ポンプモータCCWライン第2 仕切弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-350A A事故後サンプル冷却管冷却水供給第1 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-362A A事故後サンプル冷却管冷却水戻り第2 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-691A 1 A・C ビット冷却器冷却水入口第1 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-691B 1 A・C ビット冷却器冷却水入口第2 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-692A 1 B・C ビット冷却器冷却水入口第1 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-692B 1 B・C ビット冷却器冷却水入口第2 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-693A 1 A・C ビット冷却器冷却水出口第1 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-693B 1 A・C ビット冷却器冷却水出口第2 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-694A 1 B・C ビット冷却器冷却水出口第1 連絡弁	分解点検	高	130M		
	IV-CC-694B 1 B・C ビット冷却器冷却水出口第2 連絡弁	分解点検	高	130M		
原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却海水設備)	1 A 海水ポンプ	簡易点検 (グランドパッキン取替 他)	高	13M		(振動診断：切替毎)
		分解点検		26M	SN1-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		2C	SN1-122 2次系ポンプ機能検査	
	1 A 海水ポンプ用電動機	簡易点検(油入替他)	高	13M		(振動診断：切替毎)
		分解点検		52M		
	1 B 海水ポンプ	簡易点検 (グランドパッキン取替 他)	高	13M		(振動診断：切替毎)
		分解点検		26M	SN1-121 2次系ポンプ分解検査	
		機能・性能試験		2C	SN1-122 2次系ポンプ機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-SW-502A 1 A 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M		
	IV-SW-502B 1 B 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M		
	IV-SW-502C 1 C 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M		
	IV-SW-502D 1 D 海水ポンプ出口逆止弁	分解点検	高	65M		
	IV-SW-509A 1 A ストレーナ出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-SW-509B 1 B ストレーナ出口弁	分解点検	高	130M		
	IV-SW-602A 1 A、B 海水ポンプ軸冷海水供給逆止弁	取替	高	26M		
	IV-SW-602B 1 C、D 海水ポンプ軸冷海水供給逆止弁	取替	高	26M		
	IV-SW-612A 1 A 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M		
	IV-SW-612B 1 B 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M		
	IV-SW-612C 1 C 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M		
	IV-SW-612D 1 D 軸冷海水入口逆止弁	取替	高	26M		
	1号 A系海水供給母管（屋内）	開放点検	高	78M		
	1号 B系海水供給母管（屋内）	開放点検	高	78M		
	1号 A系海水供給母管（屋外）	開放点検	高	13M		
	1号 B系海水供給母管（屋外）	開放点検	高	13M		
	1号 A系C CWクーラ入口配管	開放点検	高	78M		
	1号 B系C CWクーラ入口配管	開放点検	高	78M		
	1号 C系C CWクーラ入口配管	開放点検	高	78M		
	1号 D系C CWクーラ入口配管	開放点検	高	78M		
	1号 A系海水管マンホール（クーラ入口側）	開放点検	高	13M		
	1号 B系海水管マンホール（クーラ入口側）	開放点検	高	13M		
原子炉冷却系統施設 (原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置)	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置	機能・性能試験	低	1C	SN1-79 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1 A 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検（油入替他）	高	13M		
		分解点検		52M		
	1 A 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	65M		
	1 B 制御用空気除湿装置送風機	簡易点検（油入替他）	高	13M		
		分解点検		52M		
	1 B 制御用空気除湿装置送風機用電動機	分解点検	高	65M		
	1 A 制御用空気ドレンセパレータ	開放点検	高	13M		
	1 B 制御用空気ドレンセパレータ	開放点検	高	13M		
	1V-1A-508A 1 A 1 A S 格納容器隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
	1V-1A-508B 1 B 1 A S 格納容器隔離弁（外隔離弁）	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
	1V-1A-212A 1 A インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	1V-1A-212B 1 B インタークーラ安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
1V-1A-217A 1 A ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
1V-1A-217B 1 B ドレンセパレータ安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
1V-1A-221A 1 A 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
1V-1A-221B 1 B 制御用空気だめ安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	LTAC-RV-1A 1 A 制御用空気除湿装置送風機 1 A 出口逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	LTAC-RV-1B 1 B 制御用空気除湿装置送風機 1 B 出口逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	1V-1A-501A 1号 1 A S ヘッド連絡管 1 A ヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
		電動機分解点検		143M		
1V-1A-501B 1号 1 A S ヘッド連絡管 1 B ヘッド隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		143M			
1V-1A-505A 1号 1 A S 主蒸気逃がし弁等A供給元弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
1V-1A-505B 1号 1 A S 主蒸気逃がし弁等B供給元弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
1V-1A-510A 1 A 1 A S 格納容器隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
1V-1A-510B 1 B 1 A S 格納容器隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
	電動機分解点検		130M			
1V-1A-825 事故時サンプリングライン隔離弁用制御用空気供給ライン安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
LTAC-CV-1A 1 A 制御用空気除湿装置 1 A 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	39M			
LTAC-CV-1B 1 B 制御用空気除湿装置 1 B 1 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	39M			
LTAC-CV-2A 1 A 制御用空気除湿装置 1 A 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	39M			
LTAC-CV-2B 1 B 制御用空気除湿装置 1 B 2 吸着塔出口逆止弁	分解点検	高	39M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1. 原子炉保護系ロジック回路 34回路 (原子炉トリップに係るもの) 2. 安全防護系ロジック回路 28回路	機能・性能試験	高	1C	SN1-33 安全保護系機能検査	
	1. パーミッシュロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. パーミッシュロジック回路 3回路 (安全防護系ロジック関連)	機能・性能試験	高	1C	SN1-33 安全保護系機能検査	
	1. 保安規定に定める原子炉トリップ、工学的安全施設の始動、 原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器 及び保護継電器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 62個 設定器(保護継電器含む) 172個 (2) 核計装装置 設定器 20個 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 中央制御室指示計 16個 現場指示計 9個 (2) 核計装装置 中央制御室指示計 8個	特性試験	高	13M	SN1-34 安全保護系設定値確認検査	
	事故時監視計器 指示計 48個	特性試験	高	13M	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査	
	事故時試料採取設備 格納容器雰囲気試料採取設備	機能・性能試験	低	1C		
	IV-SS-648A 自動遠隔試料採取装置 1 A入口元弁	駆動部点検 分解点検	高	130M 130M		
	IV-SS-648B 自動遠隔試料採取装置 1 B入口元弁	駆動部点検 分解点検	高	130M 130M		
	1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	機能・性能試験	高	1C	SN1-72 計測制御系機能検査	一部定検起動後
	1次系及び2次系計測制御装置	特性試験	高	13M	SN1-73 計測制御系監視機能検査	一部プラント運転中
	原子炉、タービンおよび発電機相互の停止インターロック機構	機能・性能試験	高	1C	SN1-113 総合インターロック検査	
	炉外核計測装置 1. 中性子源領域計測装置 2台 2. 中間領域計測装置 2台 3. 出力領域計測装置 4台	特性試験	高	13M	SN1-106 核計装設備検査	一部定検起動後
	炉内核計測装置 1式	機能・性能試験	低	1C	SN1-106 核計装設備検査	
	原子炉安全保護盤(中央盤ゲマルチプレクサ含む) 1式	機能・性能試験	高	1C		
	原子炉保護系計器ラック 1式	特性試験	高	13M		
	安全保護系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C		
	原子炉制御系計器ラック 1式	特性試験	高	13M		
	1次系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C		
	換気系補助リレーラック 1式	外観点検	高	1C		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-GC-007A 1 A ガス圧縮装置気水分離器安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-GC-007B 1 B ガス圧縮装置気水分離器安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-WG-040 1号 ガス圧縮装置塞きパージ逆止弁	分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
	1 A 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		3C		
	1 A 格納容器サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	1 B 格納容器サンプポンプ	分解点検	低	39M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		3C		
	1 B 格納容器サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	1 A 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	78M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		6C		
	1 A 補助建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	1 B 補助建屋サンプポンプ	分解点検	低	78M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		6C		
1 B 補助建屋サンプポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査		
	分解点検		52M			
	機能・性能試験		4C			
1 A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	分解点検	低	91M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査		
	機能・性能試験		7C			
1 A 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査		
	分解点検		52M			
	機能・性能試験		4C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ	分解点検	低	9M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		機能・性能試験		7C		
	1 B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	1 A 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
		機能・性能試験		6C		
	1 A 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	1 B 格納容器冷却材ドレンポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		78M		
		機能・性能試験		6C		
	1 B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
		分解点検		52M		
		機能・性能試験		4C		
	1 A 補助建屋冷却材ドレンポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	
分解点検		78M				
機能・性能試験		6C				
1 A 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査		
	分解点検		52M			
	機能・性能試験		4C			
1 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査		
	分解点検		78M			
	機能・性能試験		6C			
1 B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査		
	分解点検		52M			
	機能・性能試験		4C			
1 A 燃料取扱建屋サンプポンプ	分解点検	低	10Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	機能・性能試験		10F			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
1 A 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 B 燃料取扱建屋サンプポンプ		分解点検	低	10Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		機能・性能試験		10F		
1 B 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 A 廃液給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y		
		機能・性能試験		6F		
1 A 廃液給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 B 廃液給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y		
		機能・性能試験		6F		
1 B 廃液給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 C 廃液給水ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y		
		機能・性能試験		6F		
1 C 廃液給水ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 A 廃液蒸留水モニタタンクポンプ		簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		10F		
1 A 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1 B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		10F		
	1 B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
	1 A 洗浄排水ポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		10F		
	1 A 洗浄排水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 B 洗浄排水ポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		10Y			
	機能・性能試験		10F			
1 B 洗浄排水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		4Y			
	機能・性能試験		4F			
1 C 洗浄排水ポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		10Y			
	機能・性能試験		10F			
1 C 洗浄排水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		4Y			
	機能・性能試験		4F			
1 A 洗浄排水モニタポンプ	簡易点検(油入替他)	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		10Y			
	機能・性能試験		10F			
1 A 洗浄排水モニタポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		4Y			
	機能・性能試験		4F			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 B 洗浄排水モニタポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		10F		
	1 B 洗浄排水モニタポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
	1 A 薬品ドレンポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y		
		機能・性能試験		6F		
	1 A 薬品ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
	1 B 薬品ドレンポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y		
		機能・性能試験		6F		
	1 B 薬品ドレンポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
	1 A 薬品ドレン蒸留水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		10Y		
		機能・性能試験		10F		
	1 A 薬品ドレン蒸留水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 B 薬品ドレン蒸留水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		10Y			
	機能・性能試験		10F			
1 B 薬品ドレン蒸留水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	分解点検		4Y			
	機能・性能試験		4F			
酸液ドレンポンプ	分解点検	低	6Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中	
	機能・性能試験		6F			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
洗浄排水濃縮液供給ポンプ		簡易点検（油入替他）	低	1Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		2Y		
		機能・性能試験		2F		
洗浄排水濃縮液供給ポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 A 湧水サンプポンプ		分解点検	低	3Y		プラント運転中
1 A 湧水サンプポンプ用電動機		分解点検	低	4Y		プラント運転中
1 B 湧水サンプポンプ		分解点検	低	3Y		プラント運転中
1 B 湧水サンプポンプ用電動機		分解点検	低	4Y		プラント運転中
1号 補助建屋サンプタンク		開放点検	低	52M		
1号 補助建屋冷却材ドレンタンク		開放点検	低	39M		
1号 補助建屋機器ドレンタンク		開放点検	低	52M		
1 A 廃液貯蔵タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 B 廃液貯蔵タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 A 洗浄排水タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 B 洗浄排水タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 C 洗浄排水タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 A 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 B 洗浄排水モニタタンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1号 洗浄排水濃縮液タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1号 薬品ドレンタンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 A 薬品ドレン蒸留水タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 B 薬品ドレン蒸留水タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1号 酸液ドレンタンク		外観点検	低	1C		
1号 加圧器逃がしタンク		開放点検	低	52M		
1号 格納容器冷却材ドレンタンク		開放点検	低	52M		
1 A 廃液蒸留水モニタタンク		開放点検	低	5Y		プラント運転中
1 B 廃液蒸留水モニタタンク		開放点検	低	5Y		プラント運転中
1 A ドラム詰バッチタンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 B ドラム詰バッチタンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	1号 燃料取扱建屋サブタンク	開放点検	低	10Y		プラント運転中
	1号 格納容器冷却材ドレン冷却器	開放点検	低	130M		
	1 A 廃液フィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1 B 廃液フィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1号 廃液蒸留水モニタフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1号 薬品ドレンフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1号 薬品ドレン蒸留水フィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1号 洗浄排水フィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1号 洗浄排水蒸留水フィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1号 補助建屋サブフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1号 燃料取扱建屋サブフィルタ	開放点検	低	5Y		プラント運転中
	1 A 廃液蒸留水モニタ脱塩塔	外観点検	低	1C		
	1 B 廃液蒸留水モニタ脱塩塔	外観点検	低	1C		
	1 A 薬品ドレン蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C		
	1 B 薬品ドレン蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C		
	1 A 洗浄排水蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C		
	1 B 洗浄排水蒸留水脱塩塔	外観点検	低	1C		
IV-WL-018 1号 C/V冷却材ドレン冷却器出口第1隔離弁	駆動部点検	高	52M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		130M			
IV-WL-019 1号 C/V冷却材ドレン冷却器出口第2隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	分解点検		130M			
IV-WL-055 1号 CVD TGAライン第1隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
IV-WL-056 1号 CVD TGAライン第2隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
IV-WL-060 1号 CVD Tベントライン第1隔離弁	駆動部点検	高	65M			
	分解点検		130M			
IV-WL-061 1号 CVD Tベントライン第2隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
IV-WL-070 1号 CVD T窒素供給隔離弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
1V-WL-354 1号 C/V サンプポンプ出口ライン第1隔離弁		駆動部点検	高	65M		
		分解点検		130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1V-WL-355 1号 C/V サンプポンプ出口ライン第2隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M	SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査	
1-FCV-1034 1号 廃棄物処理設備排水モニタ出口流量制御弁		駆動部点検	低	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y	SN1-85	
		機能・性能試験		10F	1次系弁検査	
1-RCV-0035 1号 廃棄物処理設備排水モニタ出口隔離弁		駆動部点検	低	10Y		プラント運転中
		分解点検		10Y	SN1-85	
		機能・性能試験		10F	1次系弁検査	
1V-WL-044 1号 CVD T逃がし弁		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	SN1-86	
		機能・性能試験		10C	1次系安全弁検査	
1V-WL-049 1号 C/V冷却材ドレンポンプ入口逃がし弁		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	SN1-86	
		機能・性能試験		10C	1次系安全弁検査	
1V-WL-086 1号 ABD T逃がし弁		分解点検	低	143M		
		漏えい試験		11C	SN1-86	
		機能・性能試験		11C	1次系安全弁検査	
1V-WL-220 1A ドラム話バッチタンク安全弁		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	SN1-86	
		機能・性能試験		10C	1次系安全弁検査	
1V-WL-327 洗浄排水濃縮液供給ポンプ出口逃がし弁		取替	低	10Y		プラント運転中
		漏えい試験		10F	SN1-86	
		機能・性能試験		10F	1次系安全弁検査	
1V-WL-564 1B ドラム話バッチタンク安全弁		分解点検	低	130M		
		漏えい試験		10C	SN1-86	
		機能・性能試験		10C	1次系安全弁検査	
1V-WL-736 洗浄排水濃縮液タンク安全弁		取替	低	10Y		プラント運転中
		漏えい試験		10F	SN1-86	
		機能・性能試験		10F	1次系安全弁検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-4A 1 A 廃液蒸留水モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	IV-4B 1 B 廃液蒸留水モニタタンクバキュームリリーフ弁	分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	IV-5A 1 A 廃液蒸留水モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	IV-5B 1 B 廃液蒸留水モニタタンクアトモス弁	分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
	IV-WL-067 1号 C V D T 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
	IV-WL-084 1号 A B D T 窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
	IV-WL-212 1 A ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
	IV-WL-556 1 B ドラム詰バッチタンク窒素供給逆止弁	分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
	1 A ほう酸回収装置給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
分解点検		6Y				
機能・性能試験		6F				
	1 A ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
分解点検		4Y				
機能・性能試験		4F				
	1 B ほう酸回収装置給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
分解点検		6Y				
機能・性能試験		6F				
	1 B ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
分解点検		4Y				
機能・性能試験		4F				
	1号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M		
分解点検		78M				
	1号 冷却材貯蔵タンク循環ポンプ用電動機	分解点検	低	52M		
	1 A ほう酸濃縮液ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y		プラント運転中
分解点検		10Y				
	1 A ほう酸濃縮液ポンプ用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	1 B ほう酸濃縮液ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y		プラント運転中
分解点検		10Y				
	1 B ほう酸濃縮液ポンプ用電動機	分解点検	低	4Y		プラント運転中
	1 A モニタタンクポンプ	簡易点検（油入替他）	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
分解点検		6Y				
機能・性能試験		6F				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
1 A モニタタンクポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 B モニタタンクポンプ		簡易点検(油入替他)	低	2Y	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		6Y		
		機能・性能試験		6F		
1 B モニタタンクポンプ用電動機		簡易点検	低	1C	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査	プラント運転中
		分解点検		4Y		
		機能・性能試験		4F		
1 A 冷却材貯蔵タンク		開放点検	低	130M		
1 B 冷却材貯蔵タンク		開放点検	低	130M		
1 C 冷却材貯蔵タンク		開放点検	低	130M		
1号 ほう酸濃縮液タンク		開放点検	低	10Y		プラント運転中
1 A モニタタンク		開放点検	低	5Y		プラント運転中
1 B モニタタンク		開放点検	低	5Y		プラント運転中
1号 ほう酸濃縮液フィルタ		開放点検	低	5Y		プラント運転中
1号 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ		開放点検	低	5Y		プラント運転中
1号 ほう酸蒸留水フィルタ		開放点検	低	5Y		プラント運転中
1 A ほう酸回収装置混床式脱塩塔		外観点検	低	1C		
1 B ほう酸回収装置混床式脱塩塔		外観点検	低	1C		
1号 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔		外観点検	低	1C		
1 A ほう酸蒸留水脱塩塔		外観点検	低	1C		
1 B ほう酸蒸留水脱塩塔		外観点検	低	1C		
IV-4A 1 A モニタタンクバキュームリリーフ弁		分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
IV-4B 1 B モニタタンクバキュームリリーフ弁		分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
IV-6A 1 A モニタタンクアトモス弁		分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
IV-6B 1 B モニタタンクアトモス弁		分解点検	低	10Y	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	プラント運転中
ほう酸回収装置 1基		機能・性能試験	低	1C	SN1-65 液体廃棄物処理系機能検査	
1号 ほう酸回収装置 1式		分解・開放点検	低	3Y~10Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
LV-BE-035 1号 ほう酸回収装置ほう酸蒸発器コンデンサ安全弁		分解点検	低	10Y	SN1-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
LV-BE-028 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁		分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
LV-BE-037 窒素供給逆止弁		分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
廃液蒸発装置 2基		機能・性能試験	低	1C	SN1-65 液体廃棄物処理系機能検査	定検停止中又はプラント運転中
1 A 廃液蒸発装置 1式		分解・開放点検	低	39M~130M		
1 B 廃液蒸発装置 1式		分解・開放点検	低	39M~143M		
1号 廃液蒸発装置中和剤注入装置 1式		分解・開放点検	低	10Y		プラント運転中
1号 廃液蒸発装置消泡剤注入装置 1式		分解・開放点検	低	10Y		プラント運転中
LV-WE-135 1 A 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
LV-WE-174 か性ソーダ注入ポンプ逃がし弁		取替	低	10Y	SN1-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
LV-WE-233 1 B 廃液蒸発装置コンデンサ安全弁		分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
LV-WE-274 消泡剤注入ポンプ逃がし弁		取替	低	10Y	SN1-86 1次系安全弁検査	プラント運転中
		漏えい試験		10F		
		機能・性能試験		10F		
LV-WE-127 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁		分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
LV-WE-137 A 廃液蒸発装置窒素供給逆止弁		分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
LV-WE-175 か性ソーダ注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	低	10Y	SN1-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
LV-WE-222 濃度計ブリズム洗浄蒸気逆止弁		分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
LV-WE-235 B 廃液蒸発装置窒素供給逆止弁		分解点検	低	130M	SN1-87 1次系逆止弁検査	
LV-WE-275 消泡剤注入ポンプ出口逆止弁		分解点検	低	10Y	SN1-87 1次系逆止弁検査	プラント運転中
洗浄排水処理装置 1式		分解・開放点検	低	3Y~10Y		プラント運転中
洗浄排水処理装置消泡剤注入装置 1式		分解・開放点検	低	5Y, 10Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
1V-VS-062 1号 格納容器排気外側隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
1V-VS-071 1号 格納容器内作業用排気内側隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
1V-VS-072 1号 格納容器内作業用排気外側隔離弁		駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
ID-VS-063A 1 A 格納容器排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M		
ID-VS-063B 1 B 格納容器排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M		
格納容器再循環装置		機能・性能試験	低	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	
格納容器空気浄化装置		機能・性能試験	低	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	
1 A 格納容器空気浄化ファン		分解点検	低	78M		
1 A 格納容器空気浄化ファン用電動機		簡易点検	低	1C		
		分解点検		78M		
1 B 格納容器空気浄化ファン		分解点検	低	78M		
1 B 格納容器空気浄化ファン用電動機		簡易点検	低	1C		
		分解点検		78M		
1 A 格納容器空気浄化フィルタユニット		開放点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C		
1 B 格納容器空気浄化フィルタユニット		開放点検	低	26M		
		機能・性能試験		2C		
原子炉キャビティ換気装置		機能・性能試験	低	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	
1号 キャビティ給気ファン		分解点検	低	65M		
1号 キャビティ給気ファン用電動機		簡易点検	低	1C		
		分解点検		52M		
1号 キャビティ排気ファン		分解点検	低	65M		
1号 キャビティ排気ファン用電動機		簡易点検	低	1C		
		分解点検		52M		
事故後サンプリングエリア空調系		機能・性能試験	高	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	
ID-VS-365 1号 格納容器排気筒放出第1ダンパ		駆動部点検	高	52M		
ID-VS-366 1号 格納容器排気筒放出第2ダンパ		駆動部点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1 A 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y		プラント運転中
		機能・性能試験		5C		
	1 B 補助建屋排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y		プラント運転中
		機能・性能試験		5C		
	1 A 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	1Y		プラント運転中
	1 B 補助建屋給気ユニット	開放点検	低	1Y		プラント運転中
	安全補機室空調装置	機能・性能試験	高	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	
	1 A 安全補機室給気ファン	分解点検	高	39M		
	1 A 安全補機室給気ファン用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
	1 B 安全補機室給気ファン	分解点検	高	39M		
	1 B 安全補機室給気ファン用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：切替毎)
		分解点検		39M		
	1号 安全補機室給気ユニット	開放点検	高	39M		
	1 A 安全補機室排気フィルタヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
	1 B 安全補機室排気フィルタヒータ	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C		
	ID-VS-203 1 A 安全補機室補助建屋側排気ダンパ	駆動部点検	高	78M		
	ID-VS-204 1 B 安全補機室補助建屋側排気ダンパ	駆動部点検	高	78M		
	ID-VS-301A 1 A 安全補機室給気ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-301B 1 B 安全補機室給気ユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-304A 1 A 安全補機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-304B 1 B 安全補機室給気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-305A 1 A 安全補機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-305B 1 B 安全補機室給気ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-306A 1 A 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-306B 1 B 安全補機室排気フィルタユニット入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	IF-VS-Q1F 1 B 余熱除去ポンプ室排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	1 A 安全補機開閉器室空調ファン	分解点検	高	52M		
	1 A 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M		
	1 B 安全補機開閉器室空調ファン	分解点検	高	52M		
	1 B 安全補機開閉器室空調ファン用電動機	分解点検	高	39M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 A 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	1 B 安全補機開閉器室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	1D-VS-532A 1 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-532B 1 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-533A 1 A 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-533B 1 B 安全補機開閉器室空調ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-534A 1 A 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-534B 1 B 安全補機開閉器室空調ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-535A 1 A 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-535B 1 B 安全補機開閉器室連絡ダクト隔離ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1F-VS-W2F 1 B インバータ室給気防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	1F-VS-W29R1 1 B インバータ室排気第1防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	1F-VS-W56F 1 A インバータ室給気防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	1F-VS-W176F 1 B 安全補機開閉器室排気防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	1F-VS-W193F 1 A 安全補機開閉器室排気防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	1F-VS-W214F 1 B 安全補機開閉器室給気防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	1F-VS-W235F 1 A 安全補機開閉器室給気防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	中央制御室	漏えい試験	高	6F	SN1-214 中央制御室の居住性確認検査	
	中央制御室空調装置	機能・性能試験	高	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	
	1 A 中央制御室空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M 52M		(振動診断：切替毎)
	1 A 中央制御室空調ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 65M		(振動診断：切替毎)
	1 B 中央制御室空調ファン	簡易点検（油入替他） 分解点検	高	26M 52M		(振動診断：切替毎)
	1 B 中央制御室空調ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 65M		(振動診断：切替毎)
	1 A 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M		
	1 A 中央制御室循環ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 52M		
	1 B 中央制御室循環ファン	分解点検	高	52M		
	1 B 中央制御室循環ファン用電動機	簡易点検 分解点検	高	1C 52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 A 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	1 B 中央制御室空調ユニット	開放点検	高	39M		
	1D-VS-601A 1 A 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-601B 1 B 中央制御室外気取入ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-602A 1 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-602B 1 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-607A 1 A 中央制御室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-607B 1 B 中央制御室空調ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-608A 1 A 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-608B 1 B 中央制御室空調ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-609A 1 A 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-609B 1 B 中央制御室循環ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-610A 1 A 中央制御室循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-610B 1 B 中央制御室循環ファン出口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-613A 1 A 中央制御室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-613B 1 B 中央制御室排気ファン入口ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1F-VS-U117F 1号 配線処理室給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	1F-VS-U139F 1号 中央制御室給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	1F-VS-U148F 1号 一次系継電器室入口給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	中央制御室非常用循環系	機能・性能試験	高	1C	SN1-40 中央制御室非常用循環系機能検査	
	1 A 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	78M		
	1 A 中央制御室非常用循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		78M		
	1 B 中央制御室非常用循環ファン	分解点検	高	78M		
	1 B 中央制御室非常用循環ファン用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断：1ヶ月)
		分解点検		78M		
	1号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	開放点検	高	39M		
		機能・性能試験		1C		
	1D-VS-603A 1 A 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-603B 1 B 中央制御室外気取入事故時切換ダンパ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-604A 1 A 中央制御室外気取入事故時循環ダンパ	駆動部点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1D-VS-604B 1 B 中央制御室外気取入事故時循環ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-605A 1 A 中央制御室非常用循環ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	65M		
	1D-VS-605B 1 B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	65M		
	1D-VS-606A 1 A 中央制御室非常用循環ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	65M		
	1D-VS-606B 1 B 中央制御室非常用循環ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	65M		
	1D-VS-611A 1 A 中央制御室通常時放出ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-611B 1 B 中央制御室通常時放出ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-612A 1 A 中央制御室事故時放出ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-612B 1 B 中央制御室事故時放出ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-614A 1 A 中央制御室排気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1D-VS-614B 1 B 中央制御室排気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	1F-VS-V101F 1 A 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンバ	機能点検	高	26M		
	1F-VS-V118F 1 B 中央制御室非常用循環ファン出口防火ダンバ	機能点検	高	26M		
	1F-VS-V147F 1号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第1防火ダンバ	機能点検	高	26M		
	1 A ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	65M		
	1 A ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 B ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	65M		
	1 B ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 C ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	65M		
	1 C ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 D ディーゼル発電機室給気ファン	分解点検	高	65M		
	1 D ディーゼル発電機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1D-VS-401A 1 A ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	39M		
	1D-VS-401B 1 B ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	39M		
	1D-VS-401C 1 C ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	39M		
	1D-VS-401D 1 D ディーゼル発電機室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	39M		
	1D-VS-402A 1 A ディーゼル発電機室排気ダンバ	駆動部点検	高	78M		
	1D-VS-402B 1 B ディーゼル発電機室排気ダンバ	駆動部点検	高	78M		
	使用済燃料ピット換気装置	機能・性能試験	低	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	
	1号 使用済燃料ピット給気ファン	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	1号 使用済燃料ピット給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		3Y		プラント運転中

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	1 A 使用済燃料ピット排気ファン	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	1 A 使用済燃料ピット排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		プラント運転中
	1 B 使用済燃料ピット排気ファン	分解点検	低	6Y		プラント運転中
	1 B 使用済燃料ピット排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		プラント運転中
	1号 使用済燃料ピット排気フィルタユニット	開放点検	低	39M		
		機能・性能試験		1C		
				5C		
	放射線管理室空調装置	機能・性能試験	低	1C	SN1-78 1次系換気空調設備検査	定検停止中又はプラント運転中
	1 A 放射線管理室給気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	1 A 放射線管理室給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		プラント運転中
	1 B 放射線管理室給気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	1 B 放射線管理室給気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		プラント運転中
	1 A 放射線管理室排気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	1 A 放射線管理室排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		プラント運転中
	1 B 放射線管理室排気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	1 B 放射線管理室排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		プラント運転中
	1号 放射線管理室給気ユニット	開放点検	低	39M		
	1号 放射線管理室排気フィルタユニット	開放点検	低	39M		
		機能・性能試験		1C		
				5C		
	ベイヤ排気系	機能・性能試験	低	4F	SN1-78 1次系換気空調設備検査	プラント運転中
	1号 ベイヤ排気ファン	分解点検	低	8Y		プラント運転中
	1号 ベイヤ排気ファン用電動機	簡易点検	低	1C		
		分解点検		4Y		プラント運転中
	1号 ベイヤ排気フィルタユニット	開放点検	低	4Y		プラント運転中
	1 C 補助給水ポンプ室給気ファン	分解点検	高	52M		
	1 C 補助給水ポンプ室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1 D 補助給水ポンプ室給気ファン	分解点検	高	52M		
	1 D 補助給水ポンプ室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 C 補助給水ポンプ室排気ファン	分解点検	高	52M		
	1 C 補助給水ポンプ室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 D 補助給水ポンプ室排気ファン	分解点検	高	52M		
	1 D 補助給水ポンプ室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	ID-VS-411C 1 C 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-411D 1 D 補助給水ポンプ室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-412C 1 C 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-412D 1 D 補助給水ポンプ室排気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	IF-VS-IC169F 1 D 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンバ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-IC179F 1 C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第1防火ダンバ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-IC181F 1 C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第2防火ダンバ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-IC191F 1 C 補助給水ポンプ室排気ファン出口第3防火ダンバ	機能点検	高	39M		
	1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン	分解点検	高	52M		
	1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン	分解点検	高	52M		
	1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン	分解点検	高	52M		
	1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン	分解点検	高	52M		
	1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン用電動機	分解点検	高	52M		
	ID-VS-431A 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-431B 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-432A 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-432B 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-433A 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-433B 1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-434A 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	ID-VS-434B 1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口ダンバ	駆動部点検	高	52M		
	IF-VS-T272F 1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンバ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-T290F 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンバ	機能点検	高	52M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	IV-CH-353 1号 DRPI 盤冷水系入口C/V隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CH-360 1号 DRPI 盤冷水系出口C/V隔離弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CH-253A 1A 空調用冷水膨張タンク逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CH-253B 1B 空調用冷水膨張タンク逃がし弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-CH-358 1号 制御棒位置指示装置盤冷却ユニット逃がし弁	取替	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	I-TCV-2780 1A SWGR室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M		
		分解点検		130M		
	I-TCV-2790 1B SWGR室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M		
分解点検		130M				
I-TCV-2847 1A 中央制御室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
I-TCV-2857 1B 中央制御室空調ユニット冷水流量制御弁	駆動部点検	高	130M			
	分解点検		130M			
原子炉格納施設 (原子炉格納容器)	T信号により隔離される弁 73個 P信号により隔離される弁 8個	機能・性能試験	高	1C	SN1-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査	
		原子炉格納容器	高	3C	SN1-43 原子炉格納容器全体漏えい率検査	
	通常用エアロック	外観点検 (Yニラステーを含む)	高	1C	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		漏えい試験		13M		
		開放点検 分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M		
	非常用エアロック	漏えい試験	高	1C	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施
		開放点検		13M		
		分解点検(タイミングギア及び駆動部)		65M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術	
	アニュラスシール	外観点検	高	1C			
		機能・性能試験		1C			
	機器搬入口	漏えい試験	高	1C	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
	配管貫通部 29個、電線貫通部 52個	漏えい試験	高	1C	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
	燃料移送管	漏えい試験	高	1C	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
		開放点検		13M			
	原子炉格納容器隔離弁 87個	漏えい試験	高	1C	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査	定期事業者検査は3Cで2回実施	
	1V-PP-005 1号 C/V貫通部加圧試験装置第1安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C			
		機能・性能試験		10C			
	1V-PP-009 1号 C/V貫通部加圧試験装置第2安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
		漏えい試験		10C			
機能・性能試験		10C					
1V-PP-031 1号 C/V貫通部加圧試験装置電線PEN加圧ライン安全弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査			
	漏えい試験		10C				
	機能・性能試験		10C				
原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備)	原子炉格納容器スプレイ系及び代替原子炉格納容器スプレイ系 格納容器スプレイポンプ: 2台 常設電動注入ポンプ モード切替弁 8個	機能・性能試験	高	1C	SN1-48 原子炉格納容器安全系機能検査	(振動診断: 1ヶ月)	
		1A 格納容器スプレイポンプ	簡易点検(油入替他)	高	13M		SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査
			分解点検		130M		
	1A 格納容器スプレイポンプ用電動機	簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)	
		普通点検		39M			
		分解点検		78M			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術	
1V-VS-106B 1 B アンニュラス少量排気弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		52M			SN1-219 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査
1-PCV-2334 1 A アンニュラス戻り弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		39M			
1-PCV-2344 1 B アンニュラス戻り弁		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		39M			
1V-DP-001A 1 A C/V圧力逃がし装置第1隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		電動機分解点検		130M			
1V-DP-001B 1 B C/V圧力逃がし装置第1隔離弁(内隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
		電動機分解点検		130M			
1V-DP-003A 1 A C/V圧力逃がし装置第2隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
1V-DP-003B 1 B C/V圧力逃がし装置第2隔離弁(外隔離弁)		駆動部点検	高	130M			
		分解点検		130M			SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査
1 A 安全補機室排気ファン		分解点検	高	52M			
1 A 安全補機室排気ファン用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)	
		分解点検		52M			
1 B 安全補機室排気ファン		分解点検	高	52M			
1 B 安全補機室排気ファン用電動機		簡易点検	高	1C		(振動診断: 1ヶ月)	
		分解点検		52M			
1号 安全補機室排気フィルタユニット		開放点検	高	39M			
		機能・性能試験		1C			SN1-94 1次系換気空調設備検査(換気空調系の分解等)
				5C			
1D-VS-307A 1 A 安全補機室排気ファン入口ダンパ		駆動部点検	高	52M			
1D-VS-307B 1 B 安全補機室排気ファン入口ダンパ		駆動部点検	高	52M			
1D-VS-308A 1 A 安全補機室排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M			
1D-VS-308B 1 B 安全補機室排気ファン出口ダンパ		駆動部点検	高	52M			
1V-VR-001A 1号 格納容器真空逃がし装置A第1弁		作動確認	高	1C			
		機能・性能試験		1C			SN1-47 原子炉格納容器真空逃がし弁機能検査
		分解点検		130M			SN1-46 原子炉格納容器隔離弁分解検査

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1 B 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	SN1-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	1 C 低圧第4給水加熱器	開放点検(目視)	低	39M	SN1-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		78M		
	1号 グランド蒸気復水器	開放点検(目視)	低	39M	SN1-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		39M		
	1号 脱気器	開放点検	低	13M	SN1-125 2次系容器検査	
	1 A 高圧第6給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	SN1-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		104M		
	1 B 高圧第6給水加熱器	開放点検(目視)	低	26M	SN1-126 2次系熱交換器検査	開放点検(非破壊)については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検(非破壊)		104M		
	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び 貯水設備並びに給水処理設備)	1 A 復水ポンプ	簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査
分解点検			39M			
機能・性能試験			3C			
1 A 復水ポンプ用電動機		分解点検	低	39M		(振動診断:切替毎)
1 B 復水ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C		
1 B 復水ポンプ用電動機		分解点検	低	39M		(振動診断:切替毎)
1 C 復水ポンプ		簡易点検(グランドパッキン取替他)	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C		
1 C 復水ポンプ用電動機		分解点検	低	39M		(振動診断:切替毎)
1 A 復水プースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M		
		機能・性能試験		3C		
1 A 復水プースタポンプ用電動機		分解点検	低	52M		(振動診断:切替毎)
1 B 復水プースタポンプ		簡易点検(油入替他)	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断:切替毎)
		分解点検		39M		
	機能・性能試験	3C				
	分解点検	39M				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1 B 復水ブースタポンプ用電動機	分解点検	低	52M		(振動診断：切替毎)
	1 C 復水ブースタポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
分解点検		39M				
機能・性能試験		39M				
		3C				
	1 C 復水ブースタポンプ用電動機	分解点検	低	52M		(振動診断：切替毎)
	1 A 復水器真空ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
分解点検		39M				
機能・性能試験		3C				
	1 A 復水器真空ポンプ用電動機	分解点検	低	52M		(振動診断：切替毎)
	1 B 復水器真空ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
分解点検		39M				
機能・性能試験		3C				
	1 B 復水器真空ポンプ用電動機	分解点検	低	52M		(振動診断：切替毎)
	1 C 復水器真空ポンプ	簡易点検（グランドパッキン取替他）	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：切替毎)
分解点検		39M				
機能・性能試験		3C				
		3C				
	1 C 復水器真空ポンプ用電動機	分解点検	低	52M		(振動診断：切替毎)
	A 復水脱塩装置脱塩塔	開放点検	低	26M	SN1-125 2次系容器検査	
	B 復水脱塩装置脱塩塔	開放点検	低	26M	SN1-125 2次系容器検査	
	C 復水脱塩装置脱塩塔	開放点検	低	26M	SN1-125 2次系容器検査	
	D 復水脱塩装置脱塩塔	開放点検	低	26M	SN1-125 2次系容器検査	
	E 復水脱塩装置脱塩塔	開放点検	低	26M	SN1-125 2次系容器検査	
	1号 復水フィルタ	開放点検	低	195M		
	1号 電動主給水ポンプ	簡易点検（油入替他）	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)
分解点検		39M				
機能・性能試験		3C				
	1号 電動主給水ポンプ用電動機	分解点検	低	65M		(振動診断：1ヶ月)
	1 A タービン動主給水ポンプ	簡易点検（ストレーナ清掃他）	低	13M	SN1-137 蒸気タービン附属設備機能検査	(振動診断：1ヶ月)
分解点検		26M				
機能・性能試験		2C				

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重 要 度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	I-HCV-3715 1号 T/D AFWP 出口A 流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		8C		
	I-HCV-3725 1号 T/D AFWP 出口B 流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		8C		
	I-HCV-3735 1号 T/D AFWP 出口C 流量制御弁	駆動部点検	高	65M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		104M		
		機能・性能試験		8C		
	IV-FW-557A 1号 M/D AFWP 出口A 流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-FW-557B 1号 M/D AFWP 出口B 流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
	IV-FW-557C 1号 M/D AFWP 出口C 流量制御弁	駆動部点検	高	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		143M		
IV-DW-100 1 A 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			
IV-DW-102 1 B 電動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	SN1-85 1次系弁検査		
	分解点検		130M			
	機能・性能試験		10C			
	電動機分解点検		130M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IV-DW-104 1号 タービン動補助給水ポンプ純水入口弁	駆動部点検	低	130M	SN1-85 1次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-DW-106 1号 電動補助給水ポンプ復水タンク元弁	駆動部点検	高	130M	SN1-123 2次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-DW-113 1号 タービン動補助給水ポンプ復水タンク元弁	駆動部点検	高	130M	SN1-123 2次系弁検査	
		分解点検		130M		
		機能・性能試験		10C		
		電動機簡易点検		2C		
		電動機分解点検		130M		
	IV-DW-117 1 A 電動補助給水ポンプ給水リリーフ弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	IV-DW-118 1 B 電動補助給水ポンプ給水リリーフ弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査	
		漏えい試験		10C		
機能・性能試験		10C				
IV-DW-119 1号 タービン動補助給水ポンプ給水リリーフ弁	分解点検	低	130M	SN1-86 1次系安全弁検査		
	漏えい試験		10C			
	機能・性能試験		10C			
IV-FW-553A 1 A M/D AFWP出口逆止弁	分解点検	高	39M			
IV-FW-553B 1 B M/D AFWP出口逆止弁	分解点検	高	39M			
IV-FW-559A 1 A M/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	39M			
IV-FW-559B 1 B M/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	39M			
IV-FW-559C 1 C M/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	39M			
IV-FW-568A 1 A T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	52M			
IV-FW-568B 1 B T/D AFWP出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	52M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	1V-FW-568C 1 C T/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁	分解点検	高	52M		
	1V-FW-573A 1 A 補助給水逆止弁	分解点検	高	52M		
	1V-FW-573B 1 B 補助給水逆止弁	分解点検	高	52M		
	1V-FW-573C 1 C 補助給水逆止弁	分解点検	高	52M		
	1V-DW-108 1 A 電動補助給水ポンプ給水逆止弁	分解点検	高	130M		
	1V-DW-111 1 B 電動補助給水ポンプ給水逆止弁	分解点検	高	130M		
	1V-DW-115 1 号タービン動補助給水ポンプ給水逆止弁	分解点検	高	130M		
	1V-DW-130 タービン動補助給水ポンプ油冷却器冷却水逆止弁	分解点検	高	130M		
	スチームコンバータ	開放点検	低	13M		
蒸気タービン (蒸気タービンに附属する管等)	主蒸気管	開放点検（目視）	低	13M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		39M		
	低温再熱蒸気管（A 湿分離器左側）	開放点検（目視）	低	13M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	低温再熱蒸気管（A 湿分離器右側）	開放点検（目視）	低	13M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	低温再熱蒸気管（B 湿分離器左側）	開放点検（目視）	低	13M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	低温再熱蒸気管（B 湿分離器右側）	開放点検（目視）	低	13M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	開放点検（非破壊）については、補修を伴う場合に定期事業者検査として実施
		開放点検（非破壊）		52M		
	高温再熱蒸気管	開放点検（目視）	低	13M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第1 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第1 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第1 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第2 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第2 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第2 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第3 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第3 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第3 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第4 抽気管（LP-1）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第4 抽気管（LP-2）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第4 抽気管（LP-3）	外観点検	低	3C	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第5 抽気管	開放点検（目視）	低	39M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	
	第6 抽気管	開放点検（目視）	低	39M	SN1-129 蒸気タービン開放検査	

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
	1 B 蓄電池（安全防護系用）	普通点検	高	13M		
		機能・性能試験		1C	SN1-222 直流電源系機能検査	
		1C		SN1-223 直流電源系作動検査		
	1 C 充電器盤	普通点検	高	26M		
	タービン動補助給水ポンプ電動弁盤	普通点検	高	1C		
	電動補助給水ポンプ電動弁盤	普通点検	高	1C		
	計装用インバータ 4台	機能・性能試験	高	1C	SN1-112 インバータ機能検査	
無停電電源装置（照明用） 2台	特性試験	低	26M			
火災防護設備 （消火設備）	電動消火ポンプ（1,2号機共用）	簡易点検	低	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		2Y		
	電動消火ポンプ用電動機（1,2号機共用）	分解点検	低	2Y		定検停止中又はプラント運転中
	ディーゼル消火ポンプ（1,2号機共用）	簡易点検	低	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		分解点検		2Y		
	泡消火設備（SW）	機能・性能試験	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	海水ポンプ用二酸化炭素自動消火設備	機能・性能試験	低	1C		
	ハロン消火設備（選択弁、ポンベ等含む）	機能・性能試験	低	1C		
	V-FS-456A 固体廃棄物貯蔵庫泡消火設備逃がし弁A	分解点検	低	130M		SN1-86 1次系安全弁検査
		漏えい試験		10C		
		機能・性能試験		10C		
	V-FS-456B 固体廃棄物貯蔵庫泡消火設備逃がし弁B	分解点検	低	130M		SN1-86 1次系安全弁検査
漏えい試験		10C				
機能・性能試験		10C				
火災防護設備 （その他設備）	IF-VS-V145F 1号 中央制御室非常用循環フィルタユニット出口防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	IF-VS-V152F 1号 中央制御室非常用循環フィルタユニット入口第2防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	IF-VS-K100F 1 A アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	IF-VS-K101F 1 A アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	IF-VS-K102F 1 B アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット入口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	IF-VS-K103F 1 B アンユラス空気浄化よう素除去フィルタユニット出口防火ダンパ	機能点検	高	13M		
	IF-VS-Q25F 1 A 余熱除去ポンプ室排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	IF-VS-Q313R1 1 A 充てん/高圧注入ポンプ室排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	IF-VS-Q329F 1 B 充てん/高圧注入ポンプ室排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		
	IF-VS-Q344R1 1 C 充てん/高圧注入ポンプ室排気防火ダンパ	機能点検	高	26M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IF-VS-P406F 1号B余熱除去冷却器室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-P407F 1号B C/Vスプレイ冷却器室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-P408F 1号A余熱除去冷却器室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-P409F 1号RHR配管室給気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-X126F 1号 海水管室排気防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-X127F 1号 海水管室給気防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-X202F 1号 中間建屋給気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-X204F 1号 中間建屋給気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-X213F 1号 中間建屋排気第1防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-X217F 1号 中間建屋排気第2防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-Y238F 1号 格納容器漏洩率試験室排気防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-X254F 1号 炭酸ガスポンプ室給気防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-X302F 1号 蓄電池室（重大事故等対処用）出口防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IFPD-023 1号 空調用冷凍機室給気系ガス圧運動ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-N56F 1号 F H / B 出口排気防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-W13F 1号 CRDM開閉器室出口給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W37F 1 B インバータ室排気第2防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W40R1 1号 MGセット室排気防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-W69F 1号 CRDM開閉器室給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W76R1 1 A インバータ室排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W82R 1号 MGセット室給気防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-W103F 1 B 安全補機開閉器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W121F 1 A 安全補機開閉器室出口排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W245F 1号 原子炉コントロールセンタ室（C）排気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W251F 1号 原子炉コントロールセンタ室（C）給気防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W321F 1 A 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-W336F 1 B 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-U9F 1号 通信機械室出口排気系防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-U33F 1号 通信機械室入口給気系防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-U115F 1号 配線処理室出口排気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U131F 1号 中央制御室空調系第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U145F 1号 中央制御室入口給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
	IF-VS-U166F 1号 中央制御室空調系第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U169F 1号 一次系継電器室排気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U178F 1号 中央制御室出口排気系第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U190F 1号 中央制御室空調系第3防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U504F 1号 運転員控室入口給気系防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-U133F 1号 配線処理室入口給気系防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U806F 1号 運転工具倉庫入口給気系防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-U270F 1号 中央制御室空調系2号連絡第1防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U278F 1号 中央制御室空調系2号連絡第2防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U281F 1号 中央制御室空調系2号連絡第3防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U284F 1号 中央制御室空調系2号連絡第4防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U901F 1号 中央制御室空調系第4防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-U902F 1号 中央制御室空調系第5防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-C23F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-C25F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-C28F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット出口防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-T201-F 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-T207-F 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-T251F 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-T252F 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-T260F 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-T303F 1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-Z101F 1号 放射線管理室排気系第3防火ダンパ	機能点検	低	39M		
	IF-VS-Z701F 1号 放管待機室排気防火ダンパ	機能点検	高	39M		
	IF-VS-IF2F 事故後サンプリング系I号格納容器排気筒ライン防火ダンパ	機能点検	高	52M		
	IF-VS-Y3F 1号 放射化学室給気系第2防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-Y8F 1号 第1計器室給気系第2防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-Y13F 1号 洗濯室給気系第2防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-Y712F 1号 放射線管理室給気系防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-Y723F 1号 保健物理室給気系第1防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-Y732F 1号 放射化学室給気系第1防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	IF-VS-Y738F 1号 一次系補機制御室給気系防火ダンパ	機能点検	低	52M		

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全重要度	保全方式 又は 頻度	検査名	備考 ()内は適用する設備診断技術
	1F-VS-Y746F 1号 第1計器室給気系第1防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	1F-VS-Y754F 1号 洗濯室給気系第1防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	1F-VS-Y964F 2号 中央制御室通常時放出ライン防火ダンパ	機能点検	低	52M		
	水素濃度検知器	装置点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 原子炉建屋 防火扉 2箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 原子炉補助建屋 防火扉 6箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 制御建屋 防火扉 1箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 中間建屋 防火扉 2箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 燃料取扱建屋 防火扉 6箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (外部浸水防護設備) (内部浸水防護設備)	1号 海水管ダクト堅坑蓋	外観点検	低	1C		
	1号 原子炉補助建屋 水密扉 2箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 中間建屋 水密扉 3箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	制御建屋 水密扉(1,2号機共用)	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 原子炉補助建屋 堰	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 燃料取扱建屋 堰	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 原子炉補助建屋 管理区域外伝は防止堰 8箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	1号 燃料取扱建屋 管理区域外伝は防止堰 4箇所	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	海水ポンプエリア水密扉(1,2号機共用) 8箇所 海水ポンプエリア防護壁(1,2号機共用)	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
浸水防護施設 (その他設備)	1V-SW-652 1号海水ポンプエリア排水ライン逆止弁	分解点検	低	104M		
	1V-SW-651A 1A海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	分解点検	低	104M		
	1V-SW-651B 1B海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	分解点検	低	104M		
	1V-SW-651C 1C海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	分解点検	低	104M		
	1V-SW-651D 1D海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	分解点検	低	104M		
	床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエリア)(1,2号機共用) 10台	分解点検	低	40V		定検停止中又はプラント運転中
	1号 床ドレンライン逆止弁(中間建屋) 1式	分解点検	低	10V		定検停止中又はプラント運転中
	防護堤(1,2号機共用)	外観点検	低	1F		定検停止中又はプラント運転中
	非常用取水設備 (取水設備)	取水口(1,2号機共用)	外観点検	高	1C	
1号 取水路 1式		外観点検	高	1C		
		非破壊試験		3C		
1号 取水ビット		外観点検	高	1C		
	非破壊試験	3C				
貯留堰(1,2号機共用)	外観点検	高	1C			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検 査 名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉冷却系統施設（原子炉補機冷却設備）	N o . 1 移動式大容量ポンプ車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y	SN1-226 可搬型注水等設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
		分解点検		10Y			
		機能・性能試験		1F			
	N o . 2 移動式大容量ポンプ車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y	SN1-226 可搬型注水等設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
		分解点検		10Y			
		機能・性能試験		1F			
	N o . 3 移動式大容量ポンプ車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y	SN1-226 可搬型注水等設備機能検査	定検停止中又はプラント運転中	
		分解点検		10Y			
		機能・性能試験		1F			
	N o . 1	原子炉補機冷却水サージタンク用窒素ポンベ	外観点検	高	1C		
	N o . 2	原子炉補機冷却水サージタンク用窒素ポンベ	外観点検	高	1C		
		原子炉補機冷却水サージタンク用予備窒素ポンベ（N o . 1） （1,2号機共用）	外観点検	高	1C		
		原子炉補機冷却水サージタンク用予備窒素ポンベ（N o . 2） （1,2号機共用）	外観点検	高	1C		
		原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン窒素供給用3m フレキシブルホース 2本（予備含む）	外観点検	高	1C		
		原子炉補機海水冷却ライン排水用5mフレキシブルホース （オス型継手） 2本（予備含む）	外観点検	高	1C		
		原子炉補機海水冷却ライン排水用5mフレキシブルホース （メス型継手） 2本（予備含む）	外観点検	高	1C		
		移動式大容量ポンプ車出口ライン送水用0.5m, 1m, 2m, 3.5m, 5m, 10m, 20m, 50mホース（1,2号機共用） 1式（予備含む）	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
		移動式大容量ポンプ車入口ライン送水用5mホース（1,2号機共用） 9本（予備含む）	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
		移動式大容量ポンプ車入口ライン送水用10mホース（1,2号機共用） 13本（予備含む）	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
		移動式大容量ポンプ車接続用フランジ（1,2号機共用） 3個	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
	移動式大容量ポンプ車接続用ふた（1,2号機共用） 3個	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中	
計測制御系統施設（計測装置）	S A用低圧炉心注入及びスプレイ積算流量	特性試験	高	13M	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査		
	1 A 格納容器スプレイ冷却器出口積算流量	特性試験	高	13M			
	原子炉下部キャビティ水位	特性試験	高	13M			
	原子炉格納容器水位	特性試験	高	13M			
	重大事故等対処用入出力盤 1式	特性試験	高	13M			
	重大事故等対処用制御盤	特性試験	高	13M			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
原子炉施設（その他設備）	重大事故等クラス2機器（供用期間中検査対象） 1式	非破壊試験	高	7年間 10年間	SN1-201 重大事故等クラス2機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。[別紙-5]	
		漏えい試験					
	重大事故等クラス3機器（供用期間中検査対象） 1式	漏えい試験	高	10年間	SN1-228 重大事故等クラス3機器漏えい検査	ISIプログラムによる。[別紙-6] 定検停止中又はプラント運転中	
非常用電源設備	大容量空冷式発電機ガスタービン	簡易点検	高	1C			
		普通点検		39M			
		精密点検		130M			SN1-220 その他非常用発電装置の分解点検
		機能・性能試験		1C			SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機	簡易点検	高	1C			
		普通点検		65M			
		分解点検		130M			SN1-220 その他非常用発電装置の分解点検
		機能・性能試験		1C			SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査
	大容量空冷式発電機用燃料タンク	外観点検	高	1C			
		開放点検		130M			
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ	分解点検	高	130M		(振動診断：1ヶ月)	
	大容量空冷式発電機用給油ポンプ電動機	分解点検	高	52M		(振動診断：1ヶ月)	
	No. 1 中容量発電機車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y			
		精密点検		4Y			
		機能・性能試験		1F			SN1-227 可搬型代替電源設備検査
	No. 2 中容量発電機車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y			
		精密点検		4Y			
		機能・性能試験		1F			SN1-227 可搬型代替電源設備検査
	No. 1 高圧発電機車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y			
		精密点検		4Y			
		機能・性能試験		1F			SN1-227 可搬型代替電源設備検査
	No. 2 高圧発電機車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y			
		精密点検		4Y			
		機能・性能試験		1F			SN1-227 可搬型代替電源設備検査
No. 3 高圧発電機車（1,2号機共用）	簡易点検（油入替他）	高	1Y				
	精密点検		4Y				
	機能・性能試験		1F			SN1-227 可搬型代替電源設備検査	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 ()内は適用する設備診断技術
No. 3 取水用水中ポンプ用発電機(1,2号機共用)		簡易点検(油入替他)	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		精密点検		4Y		
		機能・性能試験		1F		
No. 4 取水用水中ポンプ用発電機(1,2号機共用)		簡易点検(油入替他)	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		精密点検		4Y		
		機能・性能試験		1F		
No. 5 取水用水中ポンプ用発電機兼No. 5 使用済燃料ピット及び復水タンク補給用水中ポンプ用発電機(1,2号機共用)		簡易点検(油入替他)	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		精密点検		4Y		
		機能・性能試験		1F		
No. 6 取水用水中ポンプ用発電機兼No. 6 使用済燃料ピット及び復水タンク補給用水中ポンプ用発電機(1,2号機共用)		簡易点検(油入替他)	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		精密点検		4Y		
		機能・性能試験		1F		
No. 1 使用済燃料ピット監視装置用空気供給システム(発電機)(1,2号機共用)		簡易点検(油入替他)	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		精密点検		4Y		
		機能・性能試験		1C		
No. 2 使用済燃料ピット監視装置用空気供給システム(発電機)(1,2号機共用)		簡易点検(油入替他)	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
		精密点検		4Y		
		機能・性能試験		1C		
No. 1 可搬型直流変換器(1,2号機共用)		普通点検	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
No. 5 可搬型直流変換器(1,2号機共用)		普通点検	高	1Y		定検停止中又はプラント運転中
蓄電池(重大事故等対処用)		普通点検	高	13M		
		機能・性能試験		1C		
蓄電池(3系統目)		普通点検	高	13M		
		機能・性能試験		1C		
充電器盤(3系統目)		普通点検	高	13M		
可搬型バッテリー(加圧器逃がし弁用)(1,2号機共用) 2個		簡易点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
重大事故等対処用変圧器盤		普通点検	高	1C		
重大事故等対処用変圧器受電盤		普通点検	高	13M		
号炉間電力融通ケーブル(1,2号機共用)		一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
No. 1 変圧器車(1,2号機共用)		一般点検(絶縁抵抗測定他)	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
		開放点検		10Y		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術	
	No. 2変圧器車（1,2号機共用）	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1F		定検停止中又はプラント運転中	
		開放点検		10Y			
	可搬型分電盤（1,2号機共用）	1 4 個（予備含む）	一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
	重大事故等対処用直流コントロールセンタ		普通点検	高	65M		
	1 A 直流コントロールセンタ電源盤		普通点検	高	65M		
	1 B 直流コントロールセンタ電源盤		普通点検	高	65M		
	計装用後備電源装置代替所内電源分電盤		簡易点検	高	1C		
	代替電源接続盤（A/B）（1,2号機共用）		簡易点検	高	1C		
	代替電源接続盤（D/G）		簡易点検	高	1C		
	代替電源接続盤（Cメタクラ）		簡易点検	高	1C		
	代替電源接続盤（Dメタクラ）（1,2号機共用）		簡易点検	高	1C		
	代替交流電源盤（1,2号機共用）	2 個	普通点検	高	1C		
	100V分電盤(1)（1,2号機共用）		普通点検	高	1C		
	100V分電盤(2)（1,2号機共用）		普通点検	高	1C		
	200V分電盤（1,2号機共用）		普通点検	高	1C		
	タンクローリ（1,2号機共用）	2 台（予備含む）	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
	タンクローリ給油ライン接続用4mホース（1,2号機共用）	4 8 本（予備含む）	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
	タンクローリ給油ライン接続用19.5mホース（1,2号機共用）	2 本（予備含む）	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中
	計装用電源装置（3系統口）		機能・性能試験	高	1C	SX1-112 インバータ機能検査	
	計装用分電盤（3系統口）（電源切替盤含む）	1 式	簡易点検	高	1C		
緊急時対策所	代替緊急時対策所（1,2号機共用）	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中	
		機能・性能試験		1C			SX1-216 緊急時対策所の居住性確認検査
	待機所（1,2号機共用）	1 式	外観点検	高	1F		定検停止中又はプラント運転中

3. 点検計画 特定重大事故等対処施設

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 (定検回数)	検査名	備 考 () 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備)		機能・性能試験	高	1C	○	—	SN1-205 その他原子炉注水系機能検査	第26回定検より追加
		簡易点検	高	13M	○	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		簡易点検	高	1C	○	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		普通点検		39M	—	—		
		分解点検		78M	—	—		
		簡易点検	高	13M	○	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		簡易点検	高	1C	○	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		普通点検		39M	—	—		
		分解点検		78M	—	—		
		簡易点検	高	13M	○	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		分解点検	高	65M	—	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		簡易点検	高	13M	○	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		分解点検		130M	—	—	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		分解点検	高	65M	—	—		(振動診断：1カ月) 第26回定検より追加
		開放点検	高	130M	—	—		第26回定検より追加
		分解点検	高	130M	—	—		第26回定検より追加
		駆動部点検		130M	—	—		
電動機分解点検	130M	—		—				
分解点検	高	130M	—	—	SN1-87 1次系逆止弁検査	第26回定検より追加		
分解点検	高	130M	—	—		第26回定検より追加		
分解点検	高	130M	—	—		第26回定検より追加		
分解点検	高	130M	—	—		第26回定検より追加		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術	
計測制御系統施設 （制御用空気設備）		特性試験	高	13M	○	---	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査	第2.6回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	---	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査	第2.6回定検より追加	
		特性試験	高	13M	○	---	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査	第2.6回定検より追加	
		外観点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加	
		外観点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加	
		分解点検	低	130M	---	---		SN1-86 1次系安全弁検査	第2.6回定検より追加
		漏えい試験		10C	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		分解点検	低	130M	---	---		SN1-86 1次系安全弁検査	第2.6回定検より追加
		漏えい試験		10C	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---		SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---		SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		機能・性能試験		10C	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---		SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
分解点検	130M	---		---					
機能・性能試験	10C	---		---					
電動機分解点検	130M	---		---					
駆動部点検	高	130M	---	---		SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加		
分解点検		130M	---	---					
機能・性能試験		10C	---	---					
電動機分解点検		130M	---	---					

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術
計測制御系統施設 （その他設備）		特性試験	高	13M	○	---	SN1-73計測制御系監視機能検査	第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	---		第2.6回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	---		第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	---		第2.6回定検より追加
放射線管理施設 （放射線管理用計測装置）		特性試験	高	13M	○	---	SN1-208 プロセスモニタ機能検査	第2.6回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	---	SN1-209 エリアモニタ機能検査	第2.6回定検より追加
放射線管理施設 （換気設備）		機能・性能試験	高	1C	○	---	SN1-215 緊急時制御室の居住性確認検査	第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---	SN1-210 緊急時制御室給気系機能検査	第2.6回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検	高	78M	---	---		(振動診断：1カ月) 第2.6回定検より追加
		分解点検	高	78M	---	---		(振動診断：1カ月) 第2.6回定検より追加
		開放点検	高	26M	○	---		第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---	SN1-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査	第2.6回定検より追加
		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検	高	52M	---	---		第2.6回定検より追加
		分解点検	低	130M	---	---		第2.6回定検より追加
		漏えい試験	低	10C	---	---	SN1-86 1次系安全弁検査	第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	低	10C	---	---		第2.6回定検より追加
分解点検	高	130M	---	---		第2.6回定検より追加		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術
原子炉格納施設 （圧力低減設備その他の安全設備）		機能・性能試験	高	1C	○	---	SN1-48 原子炉格納容器安全系機能検査	第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---	SN1-217 圧力逃がし系作動検査	第2.6回定検より追加
		駆動部点検	高	130M	---	---	SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---		
		機能・性能試験		10C	---	---		
		電動機簡易点検		2C	---	---		
		電動機分解点検		130M	---	---		
		駆動部点検		高	130M	---		
		分解点検	130M		---	---		
		機能・性能試験	10C		---	---		
		電動機簡易点検	2C		---	---		
		電動機分解点検	130M		---	---		
		駆動部点検	高		130M	---	---	SN1-85 1次系弁検査
		分解点検		130M	---	---		
		機能・性能試験		10C	---	---		
		電動機簡易点検		2C	---	---		
		電動機分解点検		130M	---	---		
		駆動部点検		高	130M	---	---	
		分解点検	130M		---	---		
		機能・性能試験	10C		---	---		
電動機簡易点検	2C	---	---					
電動機分解点検	130M	---	---					
分解点検	高	130M	---		---	SN1-87 1次系逆止弁検査	第2.6回定検より追加	
開放点検	高	130M	---	---		第2.6回定検より追加		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術		
		外観点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加		
		機能・性能試験		3C	---	---	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査			
		特性試験	低	13M	○	---	SN1-73 計測制御系監視機能検査	第2.6回定検より追加		
		特性試験	低	13M	○	---	SN1-73 計測制御系監視機能検査	第2.6回定検より追加		
		開放点検	高	130M	---	---		第2.6回定検より追加		
		開放点検	高	130M	---	---		第2.6回定検より追加		
		開放点検	高	65M	---	---		第2.6回定検より追加		
		機能・性能試験		5C	---	---	SN1-218 圧力逃がし系フィルター性能検査			
		簡易点検	高	13M	○	---		(振動診断：1カ月) 第2.6回定検より追加		
		分解点検		130M	---	---				
		分解点検	高	65M	---	---		(振動診断：1カ月) 第2.6回定検より追加		
		駆動部点検	高			130M	---	---	第2.6回定検より追加	
		分解点検				130M	---	---		
		機能・性能試験				10C	---	---		SN1-85 1次系弁検査
		電動機分解点検				130M	---	---		
		駆動部点検	高			130M	---	---	第2.6回定検より追加	
		分解点検				130M	---	---		SN1-85 1次系弁検査
		機能・性能試験				10C	---	---		
		電動機分解点検				130M	---	---		
		駆動部点検	高			130M	---	---	第2.6回定検より追加	
		分解点検				130M	---	---		SN1-85 1次系弁検査
		機能・性能試験				10C	---	---		
		電動機分解点検				130M	---	---		
		駆動部点検	高			130M	---	---	第2.6回定検より追加	
		分解点検				130M	---	---		SN1-85 1次系弁検査
		機能・性能試験				10C	---	---		
		電動機分解点検				130M	---	---		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術
		駆動部点検	高	130M	---	---	SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---		
		機能・性能試験		10C	---	---		
		電動機分解点検		130M	---	---		
		駆動部点検	高	130M	---	---	SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---		
		機能・性能試験		10C	---	---		
		電動機分解点検		130M	---	---		
		駆動部点検	高	130M	---	---	SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---		
		機能・性能試験		10C	---	---		
		電動機分解点検		130M	---	---		
		駆動部点検	高	130M	---	---	SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---		
		機能・性能試験		10C	---	---		
		電動機分解点検		130M	---	---		
		駆動部点検	高	130M	---	---	SN1-85 1次系弁検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---		
		機能・性能試験		10C	---	---		
		電動機分解点検		130M	---	---		
取替	低	130M	---	---	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	第2.6回定検より追加		
取替	低	130M	---	---	SN1-88 1次系真空破壊弁検査	第2.6回定検より追加		
原子炉施設（その他設備）		非破壊試験	高	7年間	○	---	SN1-200 重大事故等クラス1 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。[別紙-4] 第2.6回定検より追加
	漏えい試験	10年間		○	---			
その他発電用原子炉の附属施設 （非常用電源設備）		開放点検	高	78M	---	---		第2.6回定検より追加
		気密試験		2C	○	---		
		開放点検	高	78M	---	---		第2.6回定検より追加
		気密試験		2C	○	---		
		簡易点検	高	26M	---	---	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査	第2.6回定検より追加
		分解点検		169M	---	---		
機能・性能試験	1C	○		---	SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査			

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術
		簡易点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検		169M	---	---		
		分解点検	高	78M	---	---		第2.6回定検より追加
		分解点検	高	52M	---	---		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	13M	○	---		第2.6回定検より追加
		取替	高	117M	---	---		第2.6回定検より追加
		分解点検	高	117M	---	---		第2.6回定検より追加
		簡易点検	高	26M	---	---		第2.6回定検より追加
		分解点検		169M	---	---	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査	
		機能・性能試験		1C	○	---	SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検		169M	---	---		
		分解点検	高	78M	---	---		第2.6回定検より追加
		分解点検	高	52M	---	---		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	13M	○	---		第2.6回定検より追加
		取替	高	117M	---	---		第2.6回定検より追加
		分解点検	高	117M	---	---		第2.6回定検より追加
		簡易点検	高	13M	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検		65M	---	---		
		分解点検	高	65M	---	---		第2.6回定検より追加
		簡易点検	高	13M	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検		65M	---	---		
		分解点検	高	65M	---	---		第2.6回定検より追加
		取替	高	117M	---	---		第2.6回定検より追加
		簡易点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検		39M	---	---		
		取替	高	117M	---	---		第2.6回定検より追加
		簡易点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加
		分解点検		39M	---	---		

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術	
		簡易点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加	
		普通点検		26M	---	---			
		分解点検		104M	---	---	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査		
		機能・性能試験		高	1C	○	---	SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		簡易点検	高	1C	○	---		第2.6回定検より追加	
		普通点検		26M	---	---			
		分解点検		104M	---	---	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査		
		機能・性能試験		高	1C	○	---	SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査	
		機能・性能試験	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	---			第2.6回定検より追加
		特性試験	高	13M	○	---			第2.6回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		開放点検	高	130M	---	---			第2.6回定検より追加
		開放点検	高	130M	---	---			第2.6回定検より追加
		駆動部点検	高	130M	---	---			第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---			第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		駆動部点検	高	130M	---	---			第2.6回定検より追加
		分解点検		130M	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
駆動部点検	高	130M	---	---			第2.6回定検より追加		
分解点検		130M	---	---					
電動機分解点検		130M	---	---					

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術	
		駆動部点検	高	130M	---	---		第2.6回定検より追加	
		分解点検		130M	---	---			
		電動機分解点検		130M	---	---			
		分解点検	高	78M	---	---			第2.6回定検より追加
		分解点検	高	52M	---	---			第2.6回定検より追加
		分解点検	高	78M	---	---			第2.6回定検より追加
		分解点検	高	52M	---	---			第2.6回定検より追加
		取替	高	52M	---	---			第2.6回定検より追加
		取替	高	52M	---	---			第2.6回定検より追加
		取替	高	52M	---	---			第2.6回定検より追加
		取替	高	52M	---	---			第2.6回定検より追加
		機能・性能試験	高	1C	○	---	SN1-112 インバータ機能検査		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	13M	○	---			第2.6回定検より追加
		普通点検	高	13M	○	---			第2.6回定検より追加
		普通点検	高	13M	○	---			第2.6回定検より追加
		機能・性能試験		1C	○	---	SN1-222 直流電源系機能検査		
		機能・性能試験		1C	○	---	SN1-223 直流電源系作動検査		
		普通点検	高	13M	○	---			第2.6回定検より追加
		外観点検	高	3C	○	---			第2.6回定検より追加
		外観点検	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		普通点検	高	65M	---	---			第2.6回定検より追加
		普通点検	高	65M	---	---			第2.6回定検より追加
		普通点検	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		普通点検	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		簡易点検	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加
		普通点検		65M	---	---			
		普通点検	高	1C	○	---			第2.6回定検より追加

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術
		簡易点検	高	1C	○	—		第2.6回定検より追加
		精密点検		65M	—	—		
		普通点検	高	1C	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	26M	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	1C	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	26M	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	1C	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	26M	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	26M	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	26M	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	26M	○	—		第2.6回定検より追加
		普通点検	高	26M	○	—		第2.6回定検より追加
		大災防護設備 （消火設備）		一般点検（絶縁抵抗測定他）	高	1C	○	—
大災防護設備 （その他設備）		総合点検	低	1Y	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		機器点検		6ヶ月	○	2021年度		
大災防護設備 （その他設備）		機能点検	低	39M	○	—		第2.6回定検より追加
		機能点検		52M	○	—		
大災防護設備 （その他設備）		外観点検	低	1C	○	—		第2.6回定検より追加
大災防護設備 （その他設備）		外観点検	低	1F	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
大災防護設備 （その他設備）		分解点検	低	4Y	—	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	—	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	—	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	○	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	○	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	○	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	—	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	—	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
		分解点検	低	4Y	—	—		プラント運転中 第2.6回定検より追加
大災防護設備 （その他設備）		分解点検	低	130M	—	—		第2.6回定検より追加

機器又は系統名	実施数（機器名）	点検及び試験の項目	保 全 重要度	保全方式 又は 頻 度	今回の 実施計画	前回実施時期 （定検回数）	検査名	備 考 （ ）内は適用する設備診断技術
上木建築設備		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	高	1C	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		非破壊試験		3C	—	—		
		外観点検	低	1F	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
		外観点検	低	1F	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加
外観点検	低	1F	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加		
外観点検	低	1F	○	—		定検停止中又はプラント運転中 第2.6回定検より追加		

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

1 定期事業者検査の判定方法

No.	項目	変更理由	該当ページ
1	重大事故等クラス1 機器供用期間中検査	特定重大事故等対処施設の供用開始に伴い、追加した。	2
2	JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補	非破壊検査時の判定根拠に用いている「発電用原子力設備規格 維持規格」の適用年版の変更	3

(2) 一定の期間を考慮する定期事業者検査の判定について

定期事業者検査においては、(1) のとおり設定された頻度に基づき、設備が技術基準に適合していることを確認するが、機器の劣化、特性変化を定量的に評価し判定する以下の検査については、その判定に一定の期間を考慮する。

○原子炉を停止して実施する必要がある点検の最短の間隔に調整運転期間等を考慮した13ヶ月（定期事業者検査終了からの期間）以上を一定の期間として判定に考慮する検査

- ・原子炉格納容器全体漏えい率検査
- ・原子炉格納容器局部漏えい率検査
- ・クラス1機器供用期間中検査
- ・クラス2機器供用期間中検査
- ・クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査
- ・重大事故等クラス1機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス2機器供用期間中検査
- ・重大事故等クラス3機器漏えい検査
- ・中央制御室の居住性確認検査
- ・緊急時対策所の居住性確認検査
- ・構造健全性検査
- ・1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査
- ・炉内計装用シングルチューブ体積検査
- ・蒸気タービン開放検査
- ・2次系配管検査
- ・主蒸気・主給水配管検査

○また、第27サイクルの炉心設計に係わる以下の検査については、実運転期間（13ヶ月）に調整運転期間等を踏まえ、これに基づき判定を行う。

- ・原子炉停止余裕検査
- ・炉物理検査
- ・燃料集合体外観検査

なお、上記以外の検査については、その対象設備が技術基準に適合している状態を維持するため、その点検間隔の設定にあたって前提とされた部品取替等の行為を保全活動の中で確実にを行う。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条	検査の方法	
① 開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法	分解検査及び開放検査	機器等を分解、開放した状態で、き裂、変形及び摩耗等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又はその形跡、き裂、変形等の有無を目視等により確認する。
	非破壊検査	社団法人日本機械学会「発電用原子力設備規格 維持規格」(JSME S NA1-2012/2013 追補/2014 追補)に規定されている超音波探傷試験、渦流探傷試験、浸透探傷試験、目視試験等によって、機器等の内外表面及び内部欠陥の有無等を確認する。
	漏えい(率)検査	系統及び機器等の点検完了後、所定の圧力において、漏えいの有無又は漏えい率*を確認する。
② 試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測定***、校正、設定値確認検査等を行い、機器等の特性を確認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後、作動試験、試運転、インターロック試験等を行い、機器単体又は系統の機能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後、定格出力近傍で原子力発電所の運転を行い、発電用原子炉施設の運転状態が正常であること及び各種パラメータが妥当な値であることを確認する。

※：漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※※：絶縁抵抗測定には、「①開放、分解、非破壊検査その他の各部の損傷、変形、摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画(添付書類三 別紙1)のとおり。なお、当該点検計画に含まれる簡略点検は定期事業者検査として実施しないが、部品の定期的な取替え、運転経験・劣化の進展予測、使用環境及び設置環境等を考慮して実施内容、頻度を定めている。

添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容(添付書類二及び三)についての評価結果

川内原子力発電所 第1号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価の結果については添付-1のとおり。

また、これら評価の結果等を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは添付-2のとおり。

添付-1 保全の有効性評価結果

添付-2 保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

参 考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果

保安規定、保修基準、土木建築基準に基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類1	分類2	対象期間	
a. 保全活動管理指標の監視結果	①プラントレベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	2019.12.1 ～ 2021.6.30	プラントレベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
	②系統レベル 保全活動管理指標が目標値を超えたもの	MPFF 2019.12.1 ～ 2021.6.30 UA 2019.4.1 ～ 2021.6.30	系統レベルの保全活動管理指標が全て目標値以内であることから、保全は有効に機能していると評価した。
b. 保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績	③点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、点検報告書等	2019.12.1 ～ 2021.6.30	点検状況記録シート、工事記録（特記事項、気付き事項）、定期事業者検査評価・改善報告書等により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなく、保全は有効に機能していると評価した。
c. トラブルなど運転経験	④当該プラントのトラブル及び不適合	2019.12.1 ～ 2021.6.30	不適合・是正処置報告書により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
d. 高経年化技術評価及び安全性向上評価の結果	⑤高経年化技術評価及び安全性向上評価	2019.12.1 ～ 2021.6.30	川内1,2号機の高経年化技術評価（長期保守管理方針）及び安全性向上評価（安全性向上計画等）により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
e. 他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ	⑥社内他プラントの不適合情報	2019.12.1 ～ 2021.6.30	予防処置情報反映事項調査票により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項はなかった。
	⑦国内情報（NUCIA情報）		
	⑧海外情報		
	⑨通達等の文書		通達等の文書により評価を行った結果、保全へ反映すべき事項（設計及び工事の計画）として緊急時対策棟（指揮所）設置工事、高エネルギーアーク損傷に伴う火災発生防止対策工事及び廃棄物搬出設備設置工事を反映する。
f. リスク情報、科学的知見	⑩リスク情報	2019.12.1 ～ 2021.6.30	川内1/2号機確率的リスク評価（PRA）の実施に伴うリスク重要度の評価結果により評価を行った結果、保全活動管理指標、保全重要度等の変更を行う。 別紙－1参照
	⑪電力共通研究・技術開発		保全へ反映すべき情報はなかった。
g. その他	「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報	2019.12.1 ～ 2021.6.30	方針決定文書等によって、保全方式又は頻度等の変更を行う。 別紙－1参照

1. 方針決定文書等によって、保全への反映を行う事項

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
保全活動管理指標			
1	化学体積制御系統	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
2	安全注入系統	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
3	余熱除去系統	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
4	原子炉補機冷却水系統	事故時のプラント状態の把握機能（直接関連系）、事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
5	所内電源系統（M/C、P/C）	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
6	直流電源系統	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
7	原子炉保護制御装置	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<2回/サイクルから<1回/サイクルへ変更する。	
8	重大事故等対処設備	原子炉格納容器スプレイをするための設備（SA-2）と重大事故等の収束に必要となる水の供給設備（SA-2）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「低」になったことから、保全活動管理指標のMPFF回数を<1回/サイクルから<2回/サイクルへ変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
設計基準事故対処設備等			
1	設計基準事故対処設備等 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備) 1A使用済燃料ヒート冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	
2	1B使用済燃料ヒート冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	
3	1C使用済燃料ヒート冷却器	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。	
4	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設備) 1V-MS-575A 1号 T/D AFWP A蒸気元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
5	1V-MS-575B 1号 T/D AFWP B蒸気元弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
6	1V-FW-520A 1A 主給水隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
7	1V-FW-520B 1B 主給水隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
8	1V-FW-520C 1C 主給水隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
9	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備) 1V-SI-193A 1A RHRS C/V再循環弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
10	1V-SI-193B 1B RHRS C/V再循環弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
11	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 1V-CS-004A 1 A 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
12	1V-CS-004B 1 B 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
13	1V-CS-004C 1 C 抽出オリフィス隔離弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
14	1V-CS-270A 1A RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
15	1V-CS-270B 1B RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
16	1V-CS-270C 1C RCP封水注入ライン第1隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
17	1-FCV-138 1号 充てん流量調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
18	1-FCV-140 1号 封水注入流量調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
19	1-HCV-190 1号 余剰抽出流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
20	1-PCV-104 1号 抽出ライン圧力調節弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
21	1-TCV-104 1号 冷却材混床式脱塩塔入口3方弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
22	1V-CS-161A 1A CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
23	1V-CS-161B 1B CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
24	1V-CS-161C 1C CH/SIポンプミニマムフロー隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
25	1V-CS-165A 1A, 1B CH/SIポンプ出口ヘッダ第1弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
26	1V-CS-165B 1B, 1C CH/SIポンプ出口ヘッダ第1弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
27	1V-CS-166A 1A, 1B CH/SIポンプ出口ヘッダ第2弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
28	1V-CS-166B 1B, 1C CH/SIポンプ出口ヘッダ第2弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
29	1V-CS-225 1号 加圧器補助スプレイ弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
30	1V-CS-301 1号 余剰抽出第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
31	1V-CS-090 1号 体積制御タンク入口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
32	1V-CS-151 1号 体積制御タンク出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
33	1V-CS-290A 1 A R C P N o. 1 シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
34	1V-CS-290B 1 B R C P N o. 1 シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
35	1V-CS-290C 1 C R C P N o. 1 シール出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
36	1V-CS-300 1号 R C P N o. 1 シールバイパス弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
37	原子炉冷却系統施設 (原子炉補機冷却水設備) 1V-CC-482 1号 CRDM冷却水入口弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
38	1V-CC-489A 1号 CRDM冷却水A出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
39	1V-CC-489B 1号 CRDM冷却水B出口弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
40	1V-CC-544 1号 RCP冷却水第1出口弁 (内隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
41	1-TCV-103 1号 非再生冷却器冷却水流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
42	1-FCV-1319 1A-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
43	1-FCV-1320 1B-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
44	1-FCV-1321 1C-RCP熱しゃへい冷却水流量制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
45	1-LCV-1200 1号補機冷却水サージタンク水位制御弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
46	1V-CC-1301 1A 供給母管7-ラ入口海水供給切替ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
47	1V-CC-1302A 1A C/V再循環エット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
48	1V-CC-1302B 1B C/V再循環エット冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
49	1V-CC-1305 1B 余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
50	1V-CC-1306 1B 余熱除去ポンプ・モータ冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
51	1V-CC-1307 1B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン接続用切替弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
52	1V-CC-1308 1 B 制御用空気圧縮装置冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
53	1V-CC-1309 1A スプレイポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
54	1V-CC-1310 1A スプレイポンプ・モータ冷却水供給ライン切替用第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
55	1V-CC-1311 1A スプレイポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
56	1V-CC-1312 1A スプレイポンプ・モータ冷却水戻りライン切替用第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
57	1V-CC-1313 1B CH/SIポンプ 自己冷却水供給ライン第2止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
58	1V-CC-1314 1B CH/SIポンプ 自己冷却水戻りライン第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
59	1V-CC-1315 1C CH/SIポンプ 冷却水戻りライン海水排水ライン止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
60	1V-CC-1316 1 A スプレイポンプ自己冷却水供給ライン第 2 止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
61	1V-CC-1317 1 Aスプレイポンプ自己冷却水戻りライン第1止め弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
62	1V-CC-016 1号補機冷却水補給水弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
63	1V-CC-017 1号補機冷却水補給水連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
64	1V-CC-021 1号補機冷却水サージタンクサージ弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
65	1V-CC-022 1号補機冷却水サージタンクサージ弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
66	1V-CC-043 1号補機冷却水戻りA・Bヘッダ第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
67	1V-CC-044 1号補機冷却水戻りBヘッダ第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
68	1V-CC-060 1号補機冷却水供給A・Bヘッダ第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
69	1V-CC-061 1号補機冷却水供給A・Bヘッダ第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
70	1V-CC-172A 1Aピット冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
71	1V-CC-172B 1B冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
72	1V-CC-179A 1A冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
73	1V-CC-179B 1B冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
74	1V-CC-179C 1C冷却器冷却水第2出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
75	1V-CC-194A 1A-1B-C/V再循環エント冷却水入口逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
76	1V-CC-204A 1A-C/V再循環エント冷却水流量制御弁後弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
77	1V-CC-204B 1B-C/V再循環エント冷却水流量制御弁後弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
78	1V-CC-221A 1A余熱除去冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
79	1V-CC-221B 1B余熱除去冷却器冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
80	1V-CC-234A 1A余熱除去ポンプ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
81	1V-CC-234B 1B余熱除去ポンプ 冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
82	1V-CC-239A 1A余熱除去ポンプ モータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
83	1V-CC-239B 1B余熱除去ポンプ モータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
84	1V-CC-251B 1Bスプレッドポンプ 冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
85	1V-CC-255B 1Bスプレッドポンプ モータ冷却水入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
86	1V-CC-286A 1A・B-CH/SIポンプ モータ等冷却水第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
87	1V-CC-295A 1A-CH/SIポンプ モータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
88	1V-CC-295B 1B-CH/SIポンプ モータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
89	1V-CC-295C 1C-CH/SIポンプ モータ冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
90	1V-CC-298A 1A-CH/SIポンプ モータ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
91	1V-CC-298B 1B-CH/SIポンプモータ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
92	1V-CC-298C 1C-CH/SIポンプモータ等冷却水出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
93	1V-CC-301A 1A・B-CH/SIポンプモータ等冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
94	1V-CC-326 AM用1A-RHRポンプモータCCW第2入口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
95	1V-CC-327 AM用1ARHRポンプモータCCWライン第1仕切弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
96	1V-CC-328 AM用1A-RHRポンプモータCCW第1出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
97	1V-CC-329 AM用1ARHRポンプモータCCWライン第2仕切弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
98	1V-CC-350A A事故後サブ冷却管冷却水供給第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
99	1V-CC-362A A事故後サブ冷却管冷却水戻り第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
100	1V-CC-691A 1A・C冷却器冷却水入口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
101	1V-CC-691B 1A・Ct ^レ ット冷却器冷却水入口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
102	1V-CC-692A 1B・Ct ^レ ット冷却器冷却水入口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
103	1V-CC-692B 1B・Ct ^レ ット冷却器冷却水入口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
104	1V-CC-693A 1A・Ct ^レ ット冷却器冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
105	1V-CC-693B 1A・Ct ^レ ット冷却器冷却水出口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
106	1V-CC-694A 1B・Ct ^レ ット冷却器冷却水出口第1連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
107	1V-CC-694B 1B・Ct ^レ ット冷却器冷却水出口第2連絡弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
108	1V-SW-509A 1Aストレナ出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
109	1V-SW-509B 1Bストレナ出口弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
110	計測制御系統施設 (制御用空気設備) 1V-IA-508A 1A IAS格納容器隔離弁 (外隔離弁)	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
111	1V-IA-508B 1B IAS格納容器隔離弁（外隔離弁）	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
112	1V-IA-501A 1号 IASヘッダ連絡管1Aヘッダ隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
113	1V-IA-501B 1号 IASヘッダ連絡管1Bヘッダ隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
114	計測制御系統施設 (その他設備) 1. パーミッシブロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック関連) 2. パーミッシブロジック回路 3回路 (安全防護系ロジック関連)	原子炉安全保護盤取替に伴い、SN1-111「安全保護系機能検査（パーミッシブロジック検査）」をSN1-33「安全保護系機能検査」に統合する。	SN1-33 安全保護系機能検査
115	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体廃棄物処理設備) 1A, 1B 格納容器サンプポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
116	1A, 1B 格納容器サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
117	1A, 1B 補助建屋サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
118	1A, 1B 補助建屋機器ドレンタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
119	1A, 1B 格納容器冷却材ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
120	1A, 1B 補助建屋冷却材ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
121	1A, 1B 燃料取扱建屋サンプポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
122	1A, 1B, 1C 廃液給水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
123	1A, 1B 廃液蒸留水モニタタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
124	1A, 1B, 1C 洗浄排水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
125	1A, 1B 洗浄排水モニタポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
126	1A, 1B 薬品ドレンポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
127	1A, 1B 薬品ドレン蒸留水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
128	洗浄排水濃縮液供給ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
129	1号 補助建屋サンプタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
130	1号 補助建屋機器ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
131	1号 格納容器冷却材ドレンタンク	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
132	1V-WL-060 1号 C V D Tベントライン第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
133	1V-WL-354 1号 C/Vサンプポンプ出口ライン第1隔離弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
134	1V-WL-086 1号 A B D T逃がし弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、漏えい試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更する。	SN1-86 1次系安全弁検査
		過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能・性能試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更する。	SN1-86 1次系安全弁検査
135	1A, 1B ほう酸回収装置給水ポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
136	1A, 1B モニタタンクポンプ用電動機	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	SN1-97 液体廃棄物処理系設備検査
137	1 B 廃液蒸発装置 1式	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解・開放点検の点検頻度を「39M～130M」から「39M～143M」に変更する。	
138	放射線管理施設(換気設備) 1号 キャビティ給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
139	1号 キャビティ排気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
140	1号 安全補機室給気ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
141	1F-VS-W2F 1 B インバータ室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
142	1F-VS-W29R1 1 B インバータ室排気第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
143	1F-VS-W56F 1 A インバータ室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
144	1F-VS-W176F 1 B 安全補機開閉器室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
145	1F-VS-W193F 1 A 安全補機開閉器室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
146	1F-VS-W214F 1 B 安全補機開閉器室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
147	1F-VS-W235F 1 A 安全補機開閉器室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
148	1号 中央制御室非常用循環フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
149	1D-VS-605A,B 1A、1B 中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
150	1D-VS-606A,B 1A、1B 中央制御室非常用循環ファン出口ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
151	1A、1B、1C、1D ディーゼル発電機室給気ファン	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	
152	1号 使用済燃料ピット排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
153	1号 放射線管理室給気ユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
154	1号 放射線管理室排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
155	1F-VS-T272F 1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
156	1F-VS-T290F 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
157	原子炉格納施設（原子炉格納容器） T信号により隔離される弁 73個 P信号により隔離される弁 79個	第26保全サイクルより、P信号により隔離される弁の対象を79個から8個へ変更する。	SN1-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査
158	配管貫通部	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
159	電線管貫通部	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
160	原子炉格納容器隔離弁	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
161	原子炉格納施設 (圧力低減設備その他の安全設備) 1-PCV-2334, 2344 1A, 1Bアニュラス戻り弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
162	1号 安全補機室排気フィルタユニット	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	
163	蒸気タービン (蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備) 1A, 1B, 1C 復水ブースタポンプ用電動機	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
164	1V-FW-557A 1号 M/D AFWP出口A流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
165	1V-FW-557B 1号 M/D AFWP出口B流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
166	1V-FW-557C 1号 M/D AFWP出口C流量制御弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	
167	1V-FW-568A 1 A T/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
168	1V-FW-568B 1 B T/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
169	1V-FW-568C 1 C T/D AFWP 出口流量制御弁出口逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
170	1V-FW-573A 1 A 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
171	1V-FW-573B 1 B 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
172	1V-FW-573C 1 C 補助給水逆止弁	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
173	1V-DW-108 1A 電動補助給水ポンプ 給水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
174	1V-DW-111 1B 電動補助給水ポンプ 給水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
175	1V-DW-115 1号タービン動補助給水ポンプ 給水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
176	1V-DW-130 タービン動補助給水ポンプ 油冷却器冷却水逆止弁	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
177	その他発電用原子炉の附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 1 C 充電器盤	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	
178	火災防護設備 (その他設備) 1F-VS-N56F 1号 FH/B 出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
179	1F-VS-W13F 1号 CRDM開閉器室出口給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
180	1F-VS-W37F 1号 インバータ室排気第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
181	1F-VS-W40R1 1号 MGセット室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
182	1F-VS-W69F 1号 CRDM開閉器室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
183	1F-VS-W76R1 1号 インバータ室排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
184	1F-VS-W82R 1号 MGセット室給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
185	1F-VS-W103F 1号 安全補機開閉器室出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
186	1F-VS-W121F 1号 安全補機開閉器室出口排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
187	1F-VS-W245F 1号 原子炉コントロールセンタ室（C）排気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
188	1F-VS-W251F 1号 原子炉コントロールセンタ室（C）給気防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
189	1F-VS-W321F 1 A 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
190	1F-VS-W336F 1 B 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
191	1F-VS-C23F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
192	1F-VS-C25F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
193	1F-VS-C28F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
194	1F-VS-T201-1F 1 A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
195	1F-VS-T207-1F 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
196	1F-VS-T251F 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
197	1F-VS-T252F 1 B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
198	1F-VS-T260F 1 A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
199	1F-VS-T303F 1 B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
200	1F-VS-1F2F 事故後サンプリング系1号格納容器排気筒ライン防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
201	1F-VS-Y3F 1号 放射化学室給気系第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
202	1F-VS-Y8F 1号 第1計器室給気系第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
203	1F-VS-Y13F 1号 洗濯室給気系第2防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
204	1F-VS-Y712F 1号 放射線管理室給気系防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
205	1F-VS-Y723F 1号 保健物理室給気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
206	1F-VS-Y732F 1号 放射化学室給気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
207	1F-VS-Y738F 1号 一次系補機制御盤室給気系防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
208	1F-VS-Y746F 1号 第1計器室給気系第1防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
209	1F-VS-Y754F 1号 洗濯室給気系第1 防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
210	1F-VS-Y964F 2号 中央制御室通常時放出ライン防火ダンパ	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	
211	水素濃度検知器	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
212	浸水防護施設 (外郭浸水防護設備) (内郭浸水防護設備) 1号 原子炉補助建屋 堰	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
213	浸水防護施設 (その他設備) 1V-SW-652 1号海水ポンプエリア排水エリア逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	
214	1V-SW-651A 1A海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	
215	1V-SW-651B 1B海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	
216	1V-SW-651C 1C海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	
217	1V-SW-651D 1D海水ポンプモータ冷却水ドレンライン逆止弁	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又はプラント運転中」から「定検停止中」に見直し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
重大事故等対処設備			
1	重大事故等対処設備 計測制御系統施設（計測装置） 重大事故等対処用入出力盤 1式	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
2	非常用電源設備 大容量空冷式発電機用 燃料タンク	タンクの外観点検に加え、タンク内面点検を追加するため、点検計画に反映する。	
3	蓄電池（3系統目）	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-222 直流電源系機能検査 SN1-223 直流電源系作動検査
4	充電器盤（3系統目）	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
5	計装用電源装置（3系統目）	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-112 インバータ機能検査
6	計装用分電盤（3系統目）（電源切替盤含む） 1式	常設直流電源設備（3系統目）設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
特定重大事故等対処施設			
1		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN1-205 その他原子炉注水系機能検査
2		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
3		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
4		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
5		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
6		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
7		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
8		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
9		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。</p>	(振動診断：1カ月)
10		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	
11		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	
12		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	SN1-87 1次系逆止弁検査
13		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	
14		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	
15		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	
16		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	
17		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	SN1-85 1次系弁検査
18		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	SN1-85 1次系弁検査
19		<p>特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。</p>	SN1-85 1次系弁検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
20		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
21		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
22		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
23		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
24		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
25		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
26		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
27		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
28		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
29		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
30		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
31		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
32		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
33		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
34		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
35		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-86 1次系安全弁検査
36		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-86 1次系安全弁検査
37		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
38		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
39		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
40		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
41		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-73 計測制御系監視機能検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
42		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
43		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
44		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
45		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
46		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
47		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
48		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
49		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-208 プロセスモニタ機能検査
50		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-209 エリアモニタ機能検査
51		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN1-215 緊急時制御室の居住性確認検査
52		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	SN1-210 緊急時制御室給気系機能検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
53		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
54		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
55		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
56		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査
57		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
58		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
59		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
60		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-86 1次系安全弁検査
61		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
62		新規制基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	SN1-48 原子炉格納容器安全系機能検査
63		新規制基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	SN1-217 圧力逃がし系作動検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
64		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
65		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
66		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
67		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
68		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-87 1次系逆止弁検査
69		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
70		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
71		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
72		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
73		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
74		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
75		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
76		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
77		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
78		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
79		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
80		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
81		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
82		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
83		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
84		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
85		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置機能検査
86		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-73 計測制御系監視機能検査

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
87		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-73 計測制御系監視機能検査
88		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
89		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
90		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-218 圧力逃がし系フィルター性能検査
91		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
92		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。 また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	(振動診断：1カ月)
93		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
94		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
95		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
96		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
97	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
98		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
99		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
100		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
101		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-85 1次系弁検査
102		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-88 1次系真空破壊弁検査
103		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-88 1次系真空破壊弁検査
104		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-200 重大事故等クラス1機器供用期間中検査
105		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
106		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
107		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査
108		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
109		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
110		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
111		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
112		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
113		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
114		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査
115		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
116		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
117		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
118		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
119		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
120		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
121		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
122		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
123		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
124		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
125		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
126		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
127		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
128		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
129		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査
130		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-220 その他非常用発電装置の分解検査 SN1-221 その他非常用発電装置の機能検査
131		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
132		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
133		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
134		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
135		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
136		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
137		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
138		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
139		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
140		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
141		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
142		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
143		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
144		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
145		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
146		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
147		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
148		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
149		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
150		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
151		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
152		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
153		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
154		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-112 インバータ機能検査
155		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
156		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
157		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	SN1-222 直流電源系機能検査 SN1-223 直流電源系作動検査
158		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
159		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
160		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
161		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
162		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
163		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
164		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
165		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
166		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
167		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
168		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
169		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
170		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
171		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
172		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
173		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
174		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
175		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
176		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
177		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
178		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
179		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
180		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
181		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
182		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
183		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
184		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
185		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
186		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
187		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
188		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
189		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
190		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
191		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	
192		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
193		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
194		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
195		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
196		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
197		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
198		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
199		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	

No.	系統・機器名	評価結果又は理由	備考 (関連する定期事業者検査等)
200		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
201		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
202		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	
203		特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	

保全の有効性評価の結果等より保全へ反映した事項

※インプット情報の項目は、添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応 但し、「a～f」以外の保全の有効性評価に必要と判断される情報については、「その他」とする

※※点検頻度の変更に応じた評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③類似機器等のベンチマークによる評価
- ④研究成果等による評価

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後	インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	
1	化学体積制御系統	MPPF回数	< 2回/サイクル	< 1回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
2	安全注入系統	MPPF回数	< 2回/サイクル	< 1回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
3	余熱除去系統	MPPF回数	< 2回/サイクル	< 1回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	原子炉冷却材を内蔵する機能（ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
4	原子炉補機冷却水系統	MPPF回数	< 2回/サイクル	< 1回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	事故時のプラント状態の把握機能（直接関連系）、事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
5	所内電源系統（M/C、P/C）	MPPF回数	< 2回/サイクル	< 1回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
6	直流電源系統	MPPF回数	< 2回/サイクル	< 1回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	安全上特に重要な関連機能（情報提供系）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
7	原子炉保護制御装置	MPPF回数	< 2回/サイクル	< 1回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	事故時のプラント状態の把握機能（PAM機能）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「高」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 2回/サイクルから< 1回/サイクルへ変更する。	
8	重大事故等対処設備	MPPF回数	< 1回/サイクル	< 2回/サイクル	「リスク情報」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	原子炉格納容器スプレイをするための設備（SA-2）と重大事故等の取束に必要な水の供給設備（SA-2）は、今回のリスク重要度評価によりリスク重要度が「低」になったことから、保全活動管理指標のMPPF回数を< 1回/サイクルから< 2回/サイクルへ変更する。	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
1	設計基準事故対処設備等 核燃料物質の取扱施設 及び貯蔵施設 (使用済燃料貯蔵槽冷却 浄化設備) 1A使用済燃料ピット冷 却器	保全重要度	低	高	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。	-	
2	1B使用済燃料ピット冷 却器	保全重要度	低	高	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。	-	
3	1C使用済燃料ピット冷 却器	保全重要度	低	高	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価(PRA)によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。	-	
4	原子炉冷却系統施設 (主蒸気・主給水設 備) 1V-MS-575A 1号 T/D AFWP A蒸気 元弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
5	1V-MS-575B 1号 T/D AFWP B蒸気 元弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
6	1V-FW-520A 1A 主給水隔離弁(外 隔離弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
7	1V-FW-520B 1B 主給水隔離弁(外 隔離弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
8	1V-FW-520C 1C 主給水隔離弁(外 隔離弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
9	原子炉冷却系統施設 (非常用炉心冷却設 備その他原子炉注水 設備) 1V-SI-193A 1A RHRS C/V再循環弁 (外隔離弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
10	1V-SI-193B 1B RHRS C/V再循環弁 (外隔離弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
11	原子炉冷却系統施設 (化学体積制御設備) 1V-CS-004A 1A 抽出オリフィス 隔離弁(内隔離弁)	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」 に変更する。	①	
12	1V-CS-004B 1B 抽出オリフィス 隔離弁(内隔離弁)	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」 に変更する。	①	
13	1V-CS-004C 1C 抽出オリフィス 隔離弁(内隔離弁)	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」 に変更する。	①	
14	1V-CS-270A 1A RCP封水注入ライ ン第1隔離弁(外隔離 弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
15	1V-CS-270B 1B RCP封水注入ライ ン第1隔離弁(外隔離 弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
16	1V-CS-270C 1C RCP封水注入ライ ン第1隔離弁(外隔離 弁)	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から 「143M」に変更する。	①	
17	1-PCV-138 1号 充てん流量調節 弁	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」 に変更する。	①	
18	1-PCV-140 1号 封水注入流量調 節弁	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」 に変更する。	①	
19	1-HCV-190 1号 余剰抽出流量制 御弁	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」 に変更する。	①	
20	1-PCV-104 1号 抽出ライン圧力 調節弁	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見 直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にト ラブルがなかったこと等を総合的に評価した結 果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」 に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
21	1-TCV-104 1号 冷却材泥床式脱 塩塔入口3方弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
22	IV-CS-161A 1A CH/SIポンプミニ マムフロー隔離弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
23	IV-CS-161B 1B CH/SIポンプミニ マムフロー隔離弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
24	IV-CS-161C 1C CH/SIポンプミニ マムフロー隔離弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
25	IV-CS-165A 1A, 1B CH/SIポンプ出 口ヘッダ第1弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
26	IV-CS-165B 1B, 1C CH/SIポンプ出 口ヘッダ第1弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
27	IV-CS-166A 1A, 1B CH/SIポンプ出 口ヘッダ第2弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
28	IV-CS-166B 1B, 1C CH/SIポンプ出 口ヘッダ第2弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
29	IV-CS-225 1号 加圧器補助スプ レイ弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
30	IV-CS-301 1号 余剰抽出第1隔 離弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
31	IV-CS-090 1号 体積制御タンク 入口逆止弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
32	IV-CS-151 1号 体積制御タンク 出口逆止弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
33	IV-CS-290A 1A RCP No. 1シール出口弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
34	IV-CS-290B 1B RCP No. 1シール出口弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
35	IV-CS-290C 1C RCP No. 1シール出口弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
36	IV-CS-300 1号 RCP No. 1シールバイパス弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
37	原子炉冷却系施設 (原子炉補機冷却水 設備) IV-CC-482 1号 CRDM冷却水入口 弁 (外隔離弁)	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
38	IV-CC-489A 1号 CRDM冷却水A出口 弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
39	IV-CC-489B 1号 CRDM冷却水B出口 弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
40	IV-CC-544 1号 RCP冷却水第1出 口弁 (内隔離弁)	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
41	1-TCV-103 1号 非再生冷却器冷 却水流量制御弁	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
42	1-FCV-1319 1A-RCP熟しゅへい冷 却水流重制御弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
		点検及び試 験の項目	—	駆動部点検					
43	1-FCV-1320 1B-RCP熟しゅへい冷 却水流重制御弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
		点検及び試 験の項目	—	駆動部点検					
44	1-FCV-1321 1C-RCP熟しゅへい冷 却水流重制御弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
		点検及び試 験の項目	—	駆動部点検					
45	1-LCV-1290 1号補機冷却水サー ジタンク水位制御弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					
		点検及び試 験の項目	—	駆動部点検					
46	1V-CC-1301 1A 供給母管7号入口 海水戻りライン第2 止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
47	1V-CC-1302A 1A C/V再循環環状冷 却水戻りライン海水排水 ライン止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
48	1V-CC-1302B 1B C/V再循環環状冷 却水戻りライン海水排水 ライン止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
49	1V-CC-1305 1B 余熱除去ポンプ・ モータ冷却水戻りライン海 水排水ライン接続用切替 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
50	1V-CC-1306 1B 余熱除去ポンプ・ モータ冷却水戻りライン海 水排水ライン止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
51	1V-CC-1307 1B 制御用空気圧縮 装置冷却水戻りライン海 水排水ライン接続用切替 弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
52	1V-CC-1308 1B 制御用空気圧縮 装置冷却水戻りライン 海水排水ライン止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
53	1V-CC-1309 1A スプレッドポンプ・モ ータ冷却水供給ライン切替 弁第2止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
54	1V-CC-1310 1A スプレッドポンプ・モ ータ冷却水供給ライン切替 弁第1止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
55	1V-CC-1311 1A スプレッドポンプ・モ ータ冷却水供給ライン切替 弁第2止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
56	1V-CC-1312 1A スプレッドポンプ・モ ータ冷却水供給ライン切替 弁第1止め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
57	1V-CC-1313 1B CH/SIポンプ自己 冷却水供給ライン第2止 め弁	点検及び試 験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率的リスク評価 (PRA) によって、リスク 重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク 重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要 度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計 画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	130M					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
98	IV-CC-350A A事故後シブ冷却管 冷却水供給第1連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
99	IV-CC-362A A事故後シブ冷却管 冷却水戻り第2連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
100	IV-CC-691A IA・CC 外冷却器冷却 水入口第1連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
101	IV-CC-691B IA・CC 外冷却器冷却 水入口第2連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
102	IV-CC-692A IB・CC 外冷却器冷却 水入口第1連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
103	IV-CC-692B IB・CC 外冷却器冷却 水入口第2連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
104	IV-CC-693A IA・CC 外冷却器冷却 水出口第1連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
105	IV-CC-693B IA・CC 外冷却器冷却 水出口第2連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
106	IV-CC-694A IB・CC 外冷却器冷却 水出口第1連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
107	IV-CC-694B IB・CC 外冷却器冷却 水出口第2連絡弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
108	IV-SW-509A IAストロブ出口弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
109	IV-SW-509B IBストロブ出口弁	点検及び試験の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
110	計測制御系統施設 (制御用空気設備) IV-IA-508A IA IAS格納容器隔離弁 (外隔離弁)	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
111	IV-IA-508B IB IAS格納容器隔離弁 (外隔離弁)	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
112	IV-IA-501A 1号 IASヘッダ連絡管 IAヘッダ隔離弁	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
113	IV-IA-501B 1号 IASヘッダ連絡管 IBヘッダ隔離弁	保全方式又は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
114	計測制御系統施設 (その他設備) 1. パーミッシブロジック回路 5回路 (原子炉保護系ロジック回路) 2. パーミッシブロジック回路 3回路 (安全防護系ロジック回路)	検査名	SN1-111 安全保護系機能検査 (パーミッシブロジック検査)	SN1-33 安全保護系機能検査	「その他」	原子炉安全保護盤取替に伴う、点検計画の見直しを検討した。	原子炉安全保護盤取替に伴い、SN1-111「安全保護系機能検査（パーミッシブロジック検査）」をSN1-33「安全保護系機能検査」に統合する。	—	SN1-33 安全保護系機能検査
115	放射性廃棄物の廃棄施設 (気体、液体又は固体 廃棄物処理設備) IA, IB 格納容器サン プポンプ用電動機	保全方式又は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
116	1A, 1B 格納容器サン プポンプ用電動機	機能・性能 試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
117	1A, 1B 補助建屋サン プポンプ用電動機	機能・性能 試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
118	1A, 1B 補助建屋機器 ドレンタンクポン プ用電動機	機能・性能 試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
119	1A, 1B 格納容器冷却 材ドレンポンプ用電 動機	機能・性能 試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
120	1A, 1B 補助建屋冷却 材ドレンポンプ用電 動機	機能・性能 試験	4C	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
121	1A, 1B 燃料取扱建屋 サンポンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
122	1A, 1B, 1C 廃液給水ポ ンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
123	1A, 1B 廃液蒸留水モ ニタタンクポンプ用 電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
124	1A, 1B, 1C 洗浄排水ポ ンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
125	1A, 1B 洗浄排水モニ タポンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
126	1A, 1B 薬品ドレンボ ンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
127	1A, 1B 薬品ドレン蒸 留水ポンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
128	洗浄排水濃縮液供給 ポンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
129	1号 補助建屋サン プタンク	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
130	1号 補助建屋機器ド レンタンク	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
131	1号 格納容器冷却材 ドレンタンク	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
132	1V-WL-060 1号 CVD Tペ ントライン第1 隔離弁	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
133	1V-WL-354 1号 C/Vサン プ出口ライン第 1隔離弁	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
134	1V-WL-086 1号 ABD T逃がし 弁	保全方式又 は頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
		保全方式又 は頻度	10C	11C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、漏えい試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更する。	①	SN1-86 1次系安全弁検査
134	1V-WL-086 1号 ABD T逃がし 弁	保全方式又 は頻度	10C	11C	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能・性能試験の点検頻度を「10C」から「11C」に変更する。	①	SN1-86 1次系安全弁検査
		機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
136	1A, 1B モニタタンク ポンプ用電動機	機能・性能 試験	4F	—	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として定期事業者検査の扱いを検討した。	電動機単体での定期事業者検査については、技術基準の要求事項が間接要求のみであることから、検査対象外とする。	—	SN1-97 液体廃棄物処理施設設備検査
137	1 B 廃液蒸発装置 1式	保全方式又 は頻度	39M~130M	39M~143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解・開放点検の点検頻度を「39M~130M」から「39M~143M」に変更する。	①	
138	放射線管理施設(換気 設備) 1号 キャピティ給気 ファン	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
139	1号 キャピティ排気 ファン	保全方式又 は頻度	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
140	1号 安全補機室給気 ユニット	保全方式又 は頻度	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
141	1F-VS-W2F 1 B インバータ室給 気防火ダンパ	保全方式又 は頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
142	1F-VS-R29R1 1 B インバータ室排 気第1防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
143	1F-VS-R56F 1 A インバータ室給 気防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
144	1F-VS-W176F 1 B 安全補機閉器 室排気防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
145	1F-VS-W193F 1 A 安全補機閉器 室排気防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
146	1F-VS-W214F 1 B 安全補機閉器 室給気防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
147	1F-VS-W235F 1 A 安全補機閉器 室給気防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
148	1号 中央制御室非常 用循環フィルタユ ニット	保全方式又は 頻度は	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
149	1D-VS-605A,B 1A, 1B 中央制御室非 常用循環ファン入 口ダンパ	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
150	1D-VS-606A,B 1A, 1B 中央制御室非 常用循環ファン出 口ダンパ	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、駆動部点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
151	1A, 1B, 1C, 1D ディーゼル発電機室 給気ファン	保全方式又は 頻度は	52M	65M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「52M」から「65M」に変更する。	①	
152	1号 使用済燃料ピ ット排気フィルタ ユニット	保全方式又は 頻度は	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
153	1号 放射線管理室給 気ユニット	保全方式又は 頻度は	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
154	1号 放射線管理室排 気フィルタユニット	保全方式又は 頻度は	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
155	1F-VS-T272F 1 B 制御用空圧縮 機室排気ファン出 口防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
156	1F-VS-T290F 1 A 制御用空圧縮 機室排気ファン出 口防火ダンパ	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
157	原子炉格納施設 (原 子炉格納容器) T信号により隔離 される弁 7 3個 P信号により隔離 される弁 7 9個	実施数 (機器名)	79個	8個	「その他」	原子炉安全保護更新に伴う検査内容の見直しにより、P信号により隔離される弁のうち、T信号により隔離される弁は対象外となったため、P信号により隔離される弁の個数を変更する。	第26保全サイクルより、P信号により隔離される弁の対象を7 9個から8 個へ変更する。	-	SN1-45 原子炉格納容器隔離弁機能検査
158	配管貫通部	実施数 (機器名)	28個	29個	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	SN1-44 原子炉格納容器局部漏えい率検査
159	電線貫通部	実施数 (機器名)	50個	52個					
160	原子炉格納容器隔離 弁	実施数 (機器名)	79個	87個					
161	原子炉格納施設 (圧力低減設備その 他の安全設備) 1-PCV-2334, 2344 1A, 1Bアニュラス戻 り弁	保全方式又は 頻度は	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
162	1号 安全補機室排気 フィルタユニット	保全方式又は 頻度は	26M	39M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、開放点検の点検頻度を「26M」から「39M」に変更する。	①	
163	蒸気タービン (蒸気タービンに附 属する給水ポンプ及 び貯水設備並びに給 水処理設備) 1A, 1B, 1C 復水プー ズポンプ用電動機	保全方式又は 頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
164	1V-FW-557A 1号 M/D AFWP出口A流 量制御弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
165	1V-FW-557B 1号 M/D AFWP出口B流 量制御弁	保全方式又は 頻度は	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
166	1V-FW-557C 1号 M/D AFW出口流量制御弁	保全方式又は 頻度	130M	143M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、電動機分解点検の点検頻度を「130M」から「143M」に変更する。	①	
167	1V-FW-568A 1 A T/D AFW P出口流量制御弁出口逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
168	1V-FW-568B 1 B T/D AFW P出口流量制御弁出口逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
169	1V-FW-568C 1 C T/D AFW P出口流量制御弁出口逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
170	1V-FW-573A 1 A 補助給水逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
171	1V-FW-573B 1 B 補助給水逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
172	1V-FW-573C 1 C 補助給水逆止弁	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、分解点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
173	1V-DW-108 1A電動補助給水ポンプ 給水逆止弁	点検及び試験 の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は 頻度	—	130M					
174	1V-DW-111 1B電動補助給水ポンプ 給水逆止弁	点検及び試験 の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は 頻度	—	130M					
175	1V-DW-115 1号カテナ動補助給水 ポンプ給水逆止弁	点検及び試験 の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は 頻度	—	130M					
176	1V-DW-130 カテナ動補助給水ポンプ 油冷却器冷却水逆止弁	点検及び試験 の項目	—	分解点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は 頻度	—	130M					
177	その他発電用原子炉の 附属施設 (非常用電源設備) (その他の電源装置) 1 C 充電器盤	点検及び試験 の項目	—	普通点検	「リスク情報」 「その他」	確率論的リスク評価（PRA）によって、リスク重要度の評価が行われた。	今回のリスク重要度評価により当該機器のリスク重要度が「高」となったことを考慮し、保全重要度を「低」から「高」に見直す。 また、見直しに伴い、左記機器について、点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は 頻度	—	26M					
178	火災防護設備 (その他設備) 1F-VS-N56F 1号 F H/B 出口排 気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
179	1F-VS-N13F 1号 CRDM開閉器 室出口給気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
180	1F-VS-N37F 1 B インバータ室排 気第2防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
181	1F-VS-N40R1 1号 MGセット室排 気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
182	1F-VS-N69F 1号 CRDM開閉器 室給気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
183	1F-VS-N76R1 1 A インバータ室排 気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
184	1F-VS-N82R 1号 MGセット室給 気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
185	1F-VS-N103F 1 B 安全補機開閉器 室出口排気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
186	1F-VS-N121F 1 A 安全補機開閉器 室出口排気防火ダンパ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
187	1F-VS-N245F 1号 原子炉コント ロールセンタ室 (C) 排気防火ダン パ	保全方式又は 頻度	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット情報の項目名	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
188	1F-VS-W251F 1号 原子炉コントロールセンタ室(C) 給気防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
189	1F-VS-W321F 1A 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
190	1F-VS-W336F 1B 安全補機開閉器室空調ファン出口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
191	1F-VS-C23F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第1防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
192	1F-VS-C25F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット入口第2防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
193	1F-VS-C28F 1号 格納容器内作業用排気フィルタユニット出口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
194	1F-VS-T201-1F 1A 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
195	1F-VS-T207-1F 1A 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
196	1F-VS-T251F 1B 制御用空気圧縮機室給気ファン出口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
197	1F-VS-T252F 1B 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
198	1F-VS-T260F 1A 制御用空気圧縮機室給気ファン入口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
199	1F-VS-T303F 1B 制御用空気圧縮機室排気ファン入口防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
200	1F-VS-1P2F 事故後サンプリング系1号格納容器排気筒ライン防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
201	1F-VS-V3F 1号 放射化学室給気系第2防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
202	1F-VS-V8F 1号 第1計器室給気系第2防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
203	1F-VS-V13F 1号 洗濯室給気系第2防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
204	1F-VS-V712F 1号 放射線管理室給気系防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
205	1F-VS-V723F 1号 保健物理室給気系第1防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
206	1F-VS-V732F 1号 放射化学室給気系第1防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
207	1F-VS-V738F 1号 一次系補機制御盤室給気系防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
208	1F-VS-V746F 1号 第1計器室給気系第1防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
209	1F-VS-V754F 1号 洗濯室給気系第1防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
210	1F-VS-V964F 2号 中央制御室通常時放出ライン防火ダンパ	保全方式又は頻度は	39M	52M	「その他」	左記機器の保全計画の最適化として点検頻度の見直しを検討した。	過去の点検結果に問題がなかったこと、過去にトラブルがなかったこと等を総合的に評価した結果、機能点検の点検頻度を「39M」から「52M」に変更する。	①	
211	水素濃度検知器	点検及び試験の項目	—	装置点検	「その他」	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴う、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度は	—	1F					
212	浸水防護施設(外郭浸水防護設備)(内郭浸水防護設備) 1号 原子炉補助建屋 煙	点検及び試験項目	—	外観点検	「その他」	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い設置した左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度は	—	1F					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更							
		項目	変更前	変更後					
213	浸水防護施設 (その他設備) IV-SW-652 1号海水ポンプエリア 排水エリア逆止弁	保全方式又は 頻度	10Y	104M	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエリア) (1, 2号機共用)10台」の保全計画の最適化と して点検時期の見直しを実施した。	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又は プラント運転中」から「定検停止中」に見直 し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見 直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	—	
214	IV-SW-651A 1A海水ポンプモータ 冷却水ドレンライン 逆止弁	保全方式又は 頻度	10Y	104M	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエリア) (1, 2号機共用)10台」の保全計画の最適化と して点検時期の見直しを実施した。	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又は プラント運転中」から「定検停止中」に見直 し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見 直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	—	
215	IV-SW-651B 1B海水ポンプモータ 冷却水ドレンライン 逆止弁	保全方式又は 頻度	10Y	104M	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエリア) (1, 2号機共用)10台」の保全計画の最適化と して点検時期の見直しを実施した。	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又は プラント運転中」から「定検停止中」に見直 し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見 直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	—	
216	IV-SW-651C 1C海水ポンプモータ 冷却水ドレンライン 逆止弁	保全方式又は 頻度	10Y	104M	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエリア) (1, 2号機共用)10台」の保全計画の最適化と して点検時期の見直しを実施した。	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又は プラント運転中」から「定検停止中」に見直 し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見 直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	—	
217	IV-SW-651D 1D海水ポンプモータ 冷却水ドレンライン 逆止弁	保全方式又は 頻度	10Y	104M	「その他」	「床ドレンライン逆止弁(海水ポンプエリア) (1, 2号機共用)10台」の保全計画の最適化と して点検時期の見直しを実施した。	作業性を考慮し、分解点検時期を「定検停止中又は プラント運転中」から「定検停止中」に見直 し、点検頻度についても「10Y」から「104M」に見 直す。 また、対象設備の号機を明確化する。	—	

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
218	重大事故等対処設備 計測制御系統施設 (計測装置) 重大事故等対処用入 出力盤 1式	実施数(機 器名)	重大事故等 対処用入出 力盤	重大事故等 対処用入出 力盤 1 式	「その他」	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴う、 点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い設 置した左記機器について、今後の健全性確保及び 機能維持を図るため、今回の点検計画に反映す る。	—	
219	非常用電源設備 大容量空冷式発電機 用燃料タンク	点検及び試 験の項目	—	開放点検	「その他」	タンクの外観点検に加え、タンク内面点検を追加 するため、点検項目を見直しした。	タンクの外観点検に加え、タンク内面点検を追加 するため、今回の点検計画に反映する。	—	
220	蓄電池(3系統日)	点検及び試 験の項目	—	普通点検 機能・性能 試験	「その他」	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴う、 点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い設 置した左記機器について、今後の健全性確保及び 機能維持を図るため、今回の点検計画に反映す る。	—	SN1-222 直流電源系機能検査 SN1-223 直流電源系作動検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	13M 1C					
221	充電器(3系統 日)	点検及び試 験の項目	—	普通点検	「その他」	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴う、 点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い設 置した左記機器について、今後の健全性確保及び 機能維持を図るため、今回の点検計画に反映す る。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	13M					
222	計装用電源装置(3 系統日)	点検及び試 験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴う、 点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い設 置した左記機器について、今後の健全性確保及び 機能維持を図るため、今回の点検計画に反映す る。	—	SN1-112 インバータ機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	1C					
223	計装用分電盤(3系 統日)(電源切替盤 含む) 1式	点検及び試 験の項目	—	簡易点検	「その他」	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴う、 点検計画の見直しを検討した。	常設直流電源設備(3系統日)設置工事に伴い設 置した左記機器について、今後の健全性確保及び 機能維持を図るため、今回の点検計画に反映す る。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又 は頻度	—	1C					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目※※	備考 (関連する定期事業者検査等)
		項目	変更前	変更後					
224		点検及び試験の項目	-	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	-	SN1-205 その他原子炉注水系統機能検査
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	1C					
225		点検及び試験の項目	-	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	13M 130M					
226		点検及び試験の項目	-	簡易点検 普通点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	1C 30M 78M					
227		点検及び試験の項目	-	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	13M 130M					
228		点検及び試験の項目	-	簡易点検 普通点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	1C 30M 78M					
229		点検及び試験の項目	-	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	13M 130M					
230		点検及び試験の項目	-	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	65M					
231		点検及び試験の項目	-	簡易点検 分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	SN1-49 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 SN1-203 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査 (振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	13M 130M					
232		点検及び試験の項目	-	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	-	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	65M					
233		点検及び試験の項目	-	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	130M					
234		点検及び試験の項目	-	分解点検 駆動部点検 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	130M 130M 130M					
235		点検及び試験の項目	-	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	SN1-87 1次系逆止弁検査
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	130M					
236		点検及び試験の項目	-	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	130M					
237		点検及び試験の項目	-	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	130M					
238		点検及び試験の項目	-	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	130M					
239		点検及び試験の項目	-	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	-	
		保全重要度	-	高					
		保全方式又は頻度	-	130M					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
254		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
255		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-35 プラント状態監視設備機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
256		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
257		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
258		点検及び試験の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-86 1次系安全弁検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	130M 10C 10C					
259		点検及び試験の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-86 1次系安全弁検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	130M 10C 10C					
260		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
261		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
262		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
263		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
264		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-73 計制御系監視機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
265		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
266		点検及び試験の項目	—	機能・性能 試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
267		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考 (関連する定期事業者検査等)	
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容		4つの 評価項目 ※※
		項目	変更前	変更後					
268		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
269		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
270		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
271		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
272		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-208 プロセスモニタ機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
273		点検及び試験の項目	—	特性試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-209 エリアモニタ機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	13M					
274		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-215 緊急時制御室の居住性確認検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
275		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い実施する定期事業者検査について検討した結果、左記の系統・機器に関連する定期事業者検査を、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-210 緊急時制御室給気系機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
276		点検及び試験の項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
277		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	78M					
278		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	78M					
279		点検及び試験の項目	—	開放点検 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-212 緊急時制御室給気系フィルター性能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	26M 1C					
280		点検及び試験の項目	—	一般点検 (絶縁抵抗測定他)	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
281		点検及び試験の項目	—	一般点検 (絶縁抵抗測定他)	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
282		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	52M					
283		点検及び試験の項目	—	分解点検 漏えい試験 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-86 1次系安全弁検査
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	130M 10C 10C					
284		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
285		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	新規制基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	新規制基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	—	SN1-48 原子炉格納容器安全系機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
286		点検及び試験の項目	—	機能・性能試験	「その他」	新規制基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	新規制基準対応に伴う適合性確認検査の内容を確認し、次サイクル以降に継続して実施する定期事業者検査整理の結果、関連する定期事業者検査の対象とする。	—	SN1-217 圧力逃がし系作動検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C					
287		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能試験 電動機簡易点検 電動機分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 2C 130M					
288		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能試験 電動機簡易点検 電動機分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 2C 130M					
289		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能試験 電動機簡易点検 電動機分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 2C 130M					
290		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能試験 電動機簡易点検 電動機分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 2C 130M					
291		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-87 1次系逆止弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
292		点検及び試験の項目	—	開放点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M					
293		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
294		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
295		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					
296		点検及び試験の項目	—	外観点検 機能・性能試験	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-51 原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	1C 3C					

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
315		点検及び試験の項目	—	分解点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。また、振動診断実施要領に基づき、振動診断を実施することとしたため、備考欄へ振動診断を記載する。	—	(振動診断：1カ月)
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	65M					
316		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
317		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
318		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
319		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
320		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
321		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
322		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
323		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					
324		点検及び試験の項目	—	分解点検 駆動部点検 機能・性能 試験 電動機分解 点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い設置した左記機器について、今後の健全性確保及び機能維持を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	SN1-85 1次系弁検査
		保全重要度	—	高					
		保全方式又は頻度	—	130M 130M 10C 130M					

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考 (関連する定期事業者検査等)
		点検計画の保全方式 又は点検内容の変更			インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの 評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
425		点検及び試験項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	1F					
426		点検及び試験項目	—	外観点検	「その他」	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い、点検計画の見直しを検討した。	特定重大事故等対処施設設置工事に伴い左記設備について、今後の健全性確保を図るため、今回の点検計画に反映する。	—	
		保全重要度	—	低					
		保全方式又は頻度	—	1F					

3. 設計及び工事の計画への反映

No.	系統・機器名	保安への反映内容		評価		備考 (関連する定期事業者検査等)
		設計及び工事の計画 (設計及び工事計画認可・届出対象工事 又はその他主要工事)	インプット 情報の項目※	事象の概要	評価内容	
1	重大事故等対処設備 緊急時対策所	緊急時対策棟設置工事	「通達等の文書」	代替緊急時対策所を緊急時対策棟（休憩所）とし、緊急時対策棟（指揮所）と緊急時対策棟（休憩所）を接続する連絡通路を新たに設置することで、緊急時対策棟（指揮所）、緊急時対策棟（休憩所）及び連絡通路を一体として緊急時対策棟とする。	第26保安サイクルにて工事実施予定（緊急時対策棟連絡通路設置工事含む）のため、今回の工事の計画に反映する。	
2	非常用電源設備 非常用ディーゼル発電機	高エネルギーアーク損傷に伴う火災発生防止対策工事	「通達等の文書」	川内原子力発電所第1号機その他発電用原子炉の付属施設のうち非常用電源設備において、高エネルギーのアーク放電による非常用ディーゼル発電機に接続される電気盤の損傷の拡大を防止するために必要な措置を講じる。	第26保安サイクルにて工事実施予定のため、今回の工事の計画に反映する。	
3	廃棄物搬出設備	廃棄物搬出設備設置工事	「通達等の文書」	川内原子力発電所1号機及び2号機の運転に伴って発生する雑固体廃棄物を、所外の埋設施設に搬出することを目的として、固体廃棄物の圧縮減容を行う設備、搬出検査前後の貯蔵保管を行う設備等で構成する廃棄物搬出設備を設置する。	第26保安サイクルにて工事実施予定のため、今回の工事の計画に反映する。	

保全活動管理指標の実績

1. プラントレベル（評価対象期間：2019年12月1日～2021年6月30日）

項目	目標値	実績値
計画外自動・手動停止回数	1回／7000臨界時間未満	0回
計画外出力変動回数	2回／7000臨界時間未満	0回
工学的安全施設の 計画外作動回数	1回未満	0回

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (UA時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次冷却材系統	原子炉冷却材圧力バウンダリ機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉圧力上昇の緩和機能 (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能 (PS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
化学体積制御系統	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【系統共通箇所以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (MS-1)					
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
安全注入系統	炉心冷却機能 (安全注入ライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル 【蓄圧注入系】 <1時間/2サイクル/基	0時間	
	未臨界維持機能 (ほう酸注入タンク経由ほう酸水を原子炉へ注入) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【ほう酸注入タンク】 <1時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉停止後の除熱機能、炉心冷却機能 (余熱除去系統経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (充てんライン経由) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
余熱除去系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	炉心冷却機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし、原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く) (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
原子炉格納容器スプレイ系統	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル 【よう薬除生薬品タンク】 <72時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉補機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (直接関連系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
制御用空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <1時間/2サイクル Bトレイン <1時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取替用水系統	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<1時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能、放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)					
	燃料プール水の補給機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	【燃料取替用水タンク】 <1時間/2サイクル 【燃料取替用水タンク以外】 <240時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
燃料取扱設備構築物	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって、放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	燃料を安全に取り扱う機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (アニュラス空気浄化系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (格納容器排気筒)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非 待 機 時 間 (U A 時 間)		備 考
		目標値	実績	目標値	実績	
換気空調設備 (安全補機室給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心冷却機能 (直接関連系) (MS-1) 未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1) 原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1) 放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <72時間/2サイクル	0時間	
	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
換気空調設備 (事故時サンプリングエリア給・排気系)	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (補助給水ポンプ室換気系)	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (制御用空気圧縮機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (安全補機開閉器室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <8時間/2サイクル Bトレイン <8時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (ディーゼル発電機室換気系)	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
換気空調設備 (中央制御室空調系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)					
換気空調設備 (中央制御室非常用循環系)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <720時間/2サイクル Bトレイン <720時間/2サイクル トレイン共通、2トレイン同時故障 <240時間/2サイクル	0時間	
空調用冷水系統	安全上特に重要な関連機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
炉内構造物	炉心形状の維持機能 (炉心支持機能) (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (制御棒クラスター案内機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
燃料集合体及び非核燃料炉心構成部品	炉心形状の維持機能 (PS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
原子炉格納施設	放射性物質の閉じ込め機能、放射線の遮へい及び放出低減機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<4時間/2サイクル/弁 <24時間/2サイクル/エアロック	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非 待 機 時 間 (U A 時 間)		備 考
		目標値	実績	目標値	実績	
1次系サンプリング系統	事故時のプラント状態の把握機能 (1次冷却材ほう棄濃度サンプリング機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
主蒸気系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【主蒸気安全弁】 <6時間/2サイクル/基 【主蒸気隔離弁】 <8時間/2サイクル/基 【主蒸気逃がし弁】 <168時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/基	0時間	
主給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
	異常状態の緩和機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
補助給水系統	原子炉停止後の除熱機能 (補助給水による除熱機能) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【タービン動補助給水ポンプ】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプAトレイン】 <240時間/2サイクル 【電動補助給水ポンプBトレイン】 <240時間/2サイクル 【復水タンク】 <168時間/2サイクル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
蒸気発生器ブローダウン系統	原子炉停止後の除熱機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル/基	0時間	
原子炉補機冷却海水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (間接関連系) (MS-3)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
非常用ディーゼル発電機設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
所内電源系統 (M/C、P/C)	安全上特に重要な関連機能 (非常用母線) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
	母線の保護・計量機能 (非常用母線計器用変圧器・変流器) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
所内電源系統 (C/C)	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<8時間/2サイクル/母線	0時間	
計装用電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への無停電交流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<2時間/2サイクル/母線	0時間	
直流電源系統	安全上特に重要な関連機能 (安全系への直流電源の供給) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【直流母線】 <2時間/2サイクル/母線 【蓄電池】 <240時間/2サイクル/基 【蓄電池・充電器同時故障】 <2時間/2サイクル/基	0時間	
	安全上特に重要な関連機能 (情報提供系) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
所内保護・計量設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	工学的安全施設及び原子炉停止系の作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<6時間/2サイクル/チャンネル	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
安全系ヒートレース設備	未臨界維持機能 (直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置 (機械系)	過剰反応度の印加防止機能 (FS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	未臨界維持機能 (原子炉停止系のうち制御棒による系の直接関連系) (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
制御棒駆動装置 (電気系)	原子炉の緊急停止機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【原子炉トリップ遮断器】 <1時間/2サイクル/トレイン	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
ディーゼル発電機始動空気系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機燃料油系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機潤滑油系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル/基	0時間	
ディーゼル発電機冷却水系統	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	Aトレイン <240時間/2サイクル Bトレイン <240時間/2サイクル	0時間	
気体廃棄物処理系統	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能 (PS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
原子炉保護制御装置	工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	【原子炉保護系論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【原子炉保護系信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動トリップ) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動トリップ) (ただし、中間領域による自動トリップは <2時間/2サイクル/チャンネル) <1時間/2サイクル/チャンネル (インターロック)	0時間	
		<1回/サイクル	0回	【工学的安全施設等作動論理回路】 <6時間/2サイクル/トレイン 【工学的安全施設等作動信号部】 <48時間/2サイクル/チャンネル (手動起動) <6時間/2サイクル/チャンネル (自動起動) <1時間/2サイクル/チャンネル (インターロック) 【ディーゼル発電機駆動論理回路への信号発信】 <6時間/2サイクル/チャンネル 【中央制御室非常用循環系論理回路への信号発信】 <720時間/2サイクル/チャンネル	0時間	
	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
炉外核計装装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
エリア・プロセスモニタ装置	事故時のプラント状態の把握機能 (PAM機能) (MS-2)	<2回/サイクル	0回	—	—	
中央制御室外原子炉停止盤	制御室外からの安全停止機能 (MS-2)	<2回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
原子炉補助建屋	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	
取水路設備	安全上特に重要な関連機能 (MS-1)	<1回/サイクル	0回	—	—	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
重大事故等対処設備	緊急停止失敗時に原子炉を未臨界にするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル	0時間	
	1次系フィードアンドブリードをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	充てん/高圧注入ポンプ <240時間/2サイクル 加圧器逃がし弁 <72時間/2サイクル	0時間	
	炉心注入をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	炉心注入 代替炉心注入 (B充てん/高圧注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替炉心注入 (可搬型電動低圧注入ポンプ又は 可搬型ディーゼル注入ポンプ) <720時間/2サイクル 代替再循環運転 <72時間/2サイクル	0時間	
	1次冷却系統の減圧をするための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	加圧器逃がし弁による減圧 <240時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器スプレイをするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	原子炉格納容器スプレイ 代替原子炉格納容器スプレイ <720時間/2サイクル	0時間	
	原子炉格納容器内自然対流冷却をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル 移動式大容量ポンプ車による 原子炉格納容器内自然対流冷却 <720時間/2サイクル	0時間	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	—	—	
	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)をするための設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	水素濃度低減<72時間/2サイクル 水素濃度監視<720時間/2サイクル	0時間	
	水素爆発による原子炉補助建屋等の損傷を防止する等のための設備 (SA-3)	<1回/サイクル	0回	<72時間/2サイクル	0時間	
	使用済燃料ピットの冷却等のための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	—	—	
	発電所外への放射性物質の拡散を抑制するための設備 (SA-3)	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	重大事故等の収束に必要な水の供給設備 (SA-2)	<1回/サイクル	0回	中間受槽、取水用水中ポンプ、 復水タンク補給用水中ポンプ <720時間/2サイクル 燃料取替用水タンク、復水タンク <72時間/2サイクル	0時間	
	電源設備	<1回/サイクル	0回	電源設備 (変圧器車、可搬型発電機以外) <720時間/2サイクル 変圧器車、可搬型発電機 <240時間/2サイクル 燃料油貯蔵タンク、タンクローリ <48時間/2サイクル	0時間	
	計測設備	<1回/サイクル	0回	<720時間/2サイクル 記録機能	0時間	
	中央制御室	<2回/サイクル	0回	中央制御室非常用循環系 <72時間/2サイクル 可搬型照明、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計 <240時間/2サイクル	0時間	
	監視測定設備	<2回/サイクル	0回	—	—	
	緊急時対策所 (代替緊急時対策所) (SA-3)	<2回/サイクル	0回	代替電源からの給電 <720時間/2サイクル 居住性 <240時間/2サイクル 代替緊急時対策所エリアモニタ —	0時間	
	通信連絡を行うために必要な設備	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	
	その他の設備	<2回/サイクル	0回	<240時間/2サイクル	0時間	

系統名	要求機能	予防可能故障回数 (MPFF回数)		非待機時間 (U A 時間)		備考
		目標値	実績	目標値	実績	
特定重大事故等対処施設		<1回/サイクル	0回		0時間	監視期間：2020年11月11日～
	代替注入（炉心注入及び原子炉格納容器スプレイ）をするための設備(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	フィルタベントをするための設備(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	緊急時制御室(SA-1)	<1回/サイクル	0回		0時間	
	電源設備	<1回/サイクル	0回		0時間	
	計装設備	<1回/サイクル	0回		0時間	
	通信連絡設備	<2回/サイクル	0回		0時間	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法(一定の期間に限る)の変更

なし